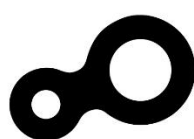


令和7年度

事業計画



公益財団法人

静岡市文化振興財団

Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

令和7年度 公益財団法人静岡市文化振興財団事業計画

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

I 法人の目的（定款第4条）

当法人は、演劇・舞踊・美術・音楽・科学・歴史・生涯学習等の文化振興に関する事業を行い、市民が各種文化に触れる環境の整備と市民自身による文化創造活動を促進し、もって魅力ある静岡文化の創造、継承、発信に寄与することを目的とする。

II 事業の方針

当法人では、法人の目的を自主的、主体的に達成していくため、「基本理念」及び「基本方針」を策定し、各種事業の実施に取り組んでいる。この「基本理念」は、法人目的達成のための手段として実施する各種文化事業の基幹となる概念であり、その「基本理念」を具現化するために必要と考えられる様々な方策から共通概念を抽出し、それらを端的に表したものが「5つの基本方針」である。

また、当法人を取り巻く環境を踏まえ、令和5年度から8年間で行うべき行動の指針として「中長期経営方針書（2023-2030）」及びその実施計画である「経営計画書」を定め、当法人の強みである「専門性、地域性、総合性」を活かした事業展開に努めている。

【基本理念】

「魅力ある静岡文化の継承、創造、発信に寄与する」

【5つの基本方針】

「協働」： 市民とともに

「事業」： 感動を生み出す

「育成」： とともに学び、育つ

「環境」： 文化活動をしやすい環境整備

「情報」： 文化情報の拠点

III 事業（定款第5条）

当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 文化に関する講座、セミナー及びシンポジウム
- (2) 文化に関する体験活動
- (3) 文化に関する相談及び助言
- (4) 文化に関する調査研究及び資料収集
- (5) ミュージアム等における展示事業
- (6) 文化に関する助成
- (7) 文化に関する表彰及びコンクール
- (8) 文化に関する公演
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

IV 事業内容

令和7年度の事業計画立案にあたっては、「中長期経営方針書」及び「経営計画書」にも掲げている当法人の強み、「専門性、地域性、総合性」を活かして事業立案を行った。また、公益法人として事業の公益性に配慮して立案した。

令和6年度、法人設立30周年を契機に、当法人の強みである「専門性、地域性、総合性」を内外に打ち出すことのできる事業群、「笑顔 デ カケル プロジェクト」を展開した。今後、これらの取り組みを次代に伝えるべくまとめるとともに、プロジェクトにより得られた知見を礎にし、次なる10年を見据えた事業を推進していく。

令和7年5月に開館30周年を迎える静岡音楽館AOIは、ラストイヤーとなる野平一郎芸術監督の集大成として選りすぐりの演奏家によるコンサートを開催する。また、令和7年度からの指定管理者として再度の指定を受けた静岡市美術館は、開館15周年を迎える。多様で質が高く魅力的な展覧会と、静岡ならではの企画や普及事業を両輪に、これまで以上に新しい「しずおか文化」の醸成に努めていく。

令和7年度は、健康文化交流館「来・て・こ」の指定管理期間延長（1年）や、静岡市民文化会館の休館など大きな変化もあり、これまでの取り組みを検証し、新たな挑戦を推進していくターニングポイントの年となることが予想されるが、日々変化していく社会情勢に柔軟に対応するとともに、「誰一人取り残さない」社会的包摂の重要性を認識し、誰もが参加可能な文化体験機会の提供を引き続き積極的に進めていく。

令和7年度の特徴的な取組（主なもの）

- 1 法人30周年記念事業の成果を活かした事業
 - ・笑顔 デ カケル プロジェクト事業 30周年記念誌編纂
 - ・しずおか産直!おいしいものパネル展（葵生涯学習センター）
- 2 静岡音楽館AOI開館30周年を記念した事業
 - ・R.シュトラウス:歌劇《ナクソス島のアリアドネ》(演奏会形式)（静岡音楽館）
 - ・AOI・レジデンス・クワルテット（静岡音楽館）
 - ・子どものためのコンサート 野平一郎:音の旅（静岡音楽館）
- 3 静岡市美術館開館15周年を記念した事業
 - ・パウル・クレー展 創造をめぐる星座（静岡市美術館）
 - ・柚木沙弥郎 永遠のいま（静岡市美術館）
- 4 当法人の強み“専門性・地域性・総合性”を活かした事業
 - ・古生代の地球と生きもの（仮）（静岡科学館）
 - ・田安德川家史料寄託記念 徳川御三卿 田安德川家
～静岡藩主家達の生家～（静岡市歴史博物館）
 - ・静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業・駅前3館プラス1共同事業

■ 公益目的事業

公1 演劇、舞踊、美術、音楽、科学、歴史、生涯学習等の文化振興に関する事業

当法人は、文化鑑賞事業、普及啓発事業、市民の自発的な文化活動促進事業、支援育成事業、連携事業、調査研究事業の6つの事業区分により、各々特徴ある文化事業を実施している。

1 文化鑑賞事業（全40事業）

広く市民に対して、演劇・舞踊・美術・音楽・科学・歴史・生涯学習等の各種文化に触れる機会を提供し、市民の文化レベルの向上を図ることにより魅力ある静岡文化の創造・継承・発信に寄与することを目的とする事業である。

指定管理者として管理運営する公共施設のほか、静岡市役所や駅前広場などの公共のコミュニティ空間を会場に文化鑑賞事業を実施している。幅広い市民層に対して、質の高い文化鑑賞の機会を提供すべく、演劇・舞踊・美術・音楽・科学・歴史・生涯学習等の各種文化事業プログラムの提供に努めている。また、静岡文化の発信等のため、市外、県外で実施する場合もある。

2 普及啓発事業（全600事業）

広く市民に対して、演劇・舞踊・美術・音楽・科学・歴史・生涯学習等の各種文化について、理解と関心を深める機会を提供し、市民の文化レベルの向上を図ることにより、魅力ある静岡文化の創造・継承・発信に寄与することを目的とする事業である。

国内外で活躍する研究者や演奏家、有識者等を講師として招聘して実施するのみならず、当法人の学芸員等をはじめとする専門スタッフが講師を務め、地域の学校や各文化施設等の現場に赴き、講演会等を実施するアウトリーチ型の事業を開催するなど、積極的に地域へアプローチし、新たな文化の受容層の拡充を図っている。また、静岡文化の発信等のため、市外、県外で実施する場合もある。

3 市民の自発的な文化活動促進事業（全36事業）

広く市民に対して、様々な文化活動や地域文化に触れる機会を提供するとともに、日頃の活動成果を発表する場を提供し、市民の文化レベルの向上を図ることにより、魅力ある静岡文化の創造・継承・発信に寄与することを目的とする事業である。

発表会当日は会場を一般開放しており、普段利用の少ない若年層や、これまで利用したことのない市民等にも施設を広くPRする機会とし、施設の活性化及び新規利用者の拡充を図っている。

4 支援育成事業（全60事業）

将来性のある新進気鋭の演奏家、伝統文化・地域文化の継承者、市民と科学技術をつなぐ新たな科学技術文化の担い手、まちづくりを推進するための人材や市民団体等、静岡文化の担い手となる人や団体の発掘、育成、支援を行い、静岡文化の発展を促すことにより、魅力ある静岡文化の創造・継承・発信に寄与することを目的とする事業である。

5 連携事業（全18事業）

演劇・舞踊・美術・音楽・科学・歴史・生涯学習等の各種文化活動を行う市民団体、NPO法人、専門機関、学校機関、企業等との連携体制及び人的ネットワークを構築することにより、広く市民に対して様々な文化活動や地域文化に触れる機会を創出し、市民の文化レベルの向上を図り、魅力ある静岡文化の創造・継承・発信に寄与することを目的とする事業である。

また、当法人の学芸員等をはじめとする専門スタッフが講師を務め、地域の学校や各文化施設等の現場に赴き、講演会等を実施するアウトリーチ型の事業を開催するなど、積極的に地域へアプローチし、新たな文化の受容層の拡充を図っている。

6 調査研究事業（全8事業）

広く市民に対して、研究成果を公表し、芸術、地域文化等全般に関する知識を普及するとともに新しい知見の誕生を促すことで、市民の文化レベルの向上を図り、魅力ある静岡文化の創造・継承・発信に寄与することを目的とする事業である。

当法人の学芸員等がそれぞれの専門性を活かし、国内外の美術館や博物館、大学、研究機関等との連携や学校教員、芸術文化等の教育普及担当者等との交流を行いながら、調査研究を実施している。得られた成果については、展覧会、教育普及事業等の内容に反映させることで広く社会に還元し、作品等の魅力的かつ多角的な展示又は紹介に活かしている。また、展覧会図録、各種記録集、年報等への掲載を行い、それを媒介として、全国の美術館や博物館、大学等研究機関等と情報交換をし、さらなる資料の収集にも努めている。

■ 収益事業

収1 公益目的で実施しているミュージアムショップ設置及びCD頒布等

- (1) ミュージアムショップの設置
- (2) オリジナルCDの頒布等
- (3) 事務スペース貸与

収2 公益目的で実施している利用料金徴収事務

V 事業内容 附属明細書

1 文化鑑賞事業(全40事業)

(事務局)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	日韓文化交流公演事業	朝鮮通信使が果たした文化交流の役割を現在に体现。朝鮮通信使の価値の発信、市民の誇りの醸成につなげる。	静岡市主催の日韓文化交流・発信事業において、日韓文化交流公演を実施する。	10月 (全1回)
2	竹久夢二展	市が所蔵する竹久夢二作品の鑑賞機会を提供する。	竹久夢二に関する展覧会を開催する。	11月 (全1回)
3	平野富山作品等の保管及び展示	市が所蔵する平野富山寄贈作品等の鑑賞機会を提供する。	清水文化会館にて平野富山寄贈作品等の展示及び展示替えを行う。	通年 (全3回)
4	まちかどコンサート	街中や身近なオープンスペースにおいて、生演奏を気軽に鑑賞する機会を提供する。	市街地等を会場とし、生演奏を鑑賞する機会を提供する。	通年 (全7回)
5	静岡市文化振興財団30周年記念笑顔 デ カケル プロジェクト事業	「表情、笑顔、外出」をキーワードにした事業の実施を通して法人ブランドの向上、連携事業モデル構築を目指す。	30周年を契機に法人の記念誌を作成する。	通年

(清水文化会館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	静岡市清水文化会館マリナート“響きのある街”プロジェクト マリナートBRASSカップ in Shizuoka City 2025	吹奏楽による街のにぎわい創出を目的とする「響きのある街プロジェクト」の一環として、若年層の育成を図る。	静岡市中学・高校の吹奏楽部技術向上を図るためのコンクールを開催する。	6/7 (全1回)
2	キボリノコンノ展(仮)	優れた芸術作品の鑑賞機会を提供する。	木からリアルな食べ物、飲み物など「あつと驚くもの」をつくり出す新鋭木彫アーティスト、キボリノコンノ氏の作品展。	7/26～8/31 (35日間)
3	静岡・室内楽フェスティバル 2025DEPAPEPE&押尾コータロー	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	2人組のギター・ユニットDEPAPEPEとギタリスト押尾コータローによる公演を開催する。	9/6 (全1回)
4	LEO×CLASSIC with 宮田大	質の高い音楽文化を享受できる機会と選択肢を提供する。	箏の新たな魅力を追求する若き実力派LEOと、人気チェリスト宮田大の共演。2つの楽器の魅力を存分に響かせるプログラム。	1/17 (全1回)
5	静岡市清水文化会館マリナート“響きのある街”プロジェクト 市民吹奏楽団マリナート・ウインズ×須川展也	音楽による街のにぎわい創出を目指す「響きのある街プロジェクト」の一環で、市民が日常的に吹奏楽に取り組み、また親しむ機会を創出する。	マリナート音楽監督 須川展也と市民吹奏楽団“マリナート・ウインズ”のコンサートを開催する。	3/20 (全1回)
6	静岡・室内楽フェスティバル2025 アウトリーチ・コンサート(仮)	市民に音楽を楽しんでいただくとともに、清水の街のにぎわいを創出する。	静岡・室内楽フェスティバルの一環として、小編成のクラシックコンサートを行う。	秋～初冬 (全1回)
7	静岡・室内楽フェスティバル2025 ドリプラ・クラシック・コンサート	市民に音楽を楽しんでいただくとともに、清水の街のにぎわいを創出する。	静岡・室内楽フェスティバルの一環として、エスパルスドリームプラザを会場にクラシックコンサートを行う。	秋 (全1回)

(静岡音楽館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	静岡音楽館開館30周年記念式典	「開館30周年」を前面に出したPR活動を通じて、さらなる館の知名度の向上を図る。	開館30周年を記念して、式典及びAOI・レジデンス・クワルテットによる特別演奏を行う。	5/10 (全1回)
2	R.シュトラウス:歌劇《ナクソス島のアリアドネ》(演奏会形式)	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	開館30周年記念公演として、特別編成の静岡祝祭管弦楽団及び新進気鋭の歌手たちによる演奏会形式のオペラ。	5/11 (全1回)
3	ランチタイム・コンサート 片岡リサ-箏の音色と響きを探して	伝統芸能や民俗芸能に触れる機会の充実、伝統文化に対する意識の向上。	日本音楽のバイオニア宮城道雄の「水」にまつわる作品を、片岡リサが十七絃と尺八に華やかな共演者を迎えて奏でるトーク&ライブ。	6/4 (全1回)
4	大西順子 JAZZ PIANO LIVE	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(海外のアーティストの積極的な招聘)。	幅広く質の高い音楽の提供として、ジャズの第一人者である大西順子によるジャズライブ。	6/12 (全1回)
5	子どものためのコンサート 古楽器木管八重奏で楽しむ《フィガロの結婚》	子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創出。	普段耳にする機会の少ない古楽器のやさしい響きで子どもたちに贈る音楽とおはなしのコンサート。	7/5 (全1回)
6	務川慧悟ピアノ・リサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	生誕150年を迎える作曲家のM.ラヴェルの真髓をピアノ・ソロで演奏するリサイタル。	7/18 (全1回)
7	静岡音楽館AOI×東京文化会館 協力事業 井出壮志朗バリトン・リサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(海外のアーティストの積極的な招聘)。	東京文化会館と連携して行う連携企画。新進気鋭のバリトン歌手井出壮志朗によるドイツ歌曲のリサイタル。	9/6 (全1回)
8	静岡・室内楽フェスティバル2025 前田妃奈ヴァイオリン・リサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	卓越した表現と技術で世界の聴衆を魅了する若きヴァイオリニストによるオール・ベートーヴェン・プログラムのリサイタル。	10/19 (全1回)
9	静岡・室内楽フェスティバル2025 第15回アマチュア・アンサンブルの日 ♪	地域のアマチュア演奏家への発表の機会の提供(特色ある事業の実施)。	静岡のアマチュア・アンサンブルを公募し、抽選(無審査)で24組が出演する6～8時間にもおよぶコンサート。	11/24 (全1回)
10	芝祐靖と伶楽舎～古譜の訳譜・復曲と古代復元楽器の演奏～	伝統芸能や民俗芸能に触れる機会の充実、伝統文化に対する意識の向上。	現代の雅楽界を切り拓いた多様で豊かな芝祐靖の世界から、自らが率い創立40周年を迎えた伶楽舎の演奏による「古譜の訳譜・復曲と古代復元楽器の演奏」。	12/13 (全1回)
11	AOI・レジデンス・クワルテット	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(海外のアーティストの積極的な招聘)。	30年にわたって極上の響きを紡いだAOIの至宝、聴き逃せない最後のステージ。ベートーヴェンの弦楽四重奏曲を完結。	1/17 (全1回)
12	ジョン・ダウランドtoベンジャミン・ブリテン～その室内楽・器楽作品を集めて～	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	イギリス・バロックの作曲家ダウランドから20世紀のブリテンの室内楽、器楽作品をギター、リュートに歌をのせて届ける。	1/24 (全1回)
13	ザイール・サクソフォン・カルテット	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	フランスのサクソフォン四重奏団(ザイール・サクソフォン・カルテット)による演奏会。野平芸術監督のサクソフォン四重奏曲第2番の世界初演を予定。	2/14 (全1回)
14	子どものためのコンサート 野平一郎:音の旅	子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創出。	野平一郎がAOIの芸術監督として最後に贈るコンサート。未来を創る子どもたちのために、ピアノ演奏とお話を通じて音楽の魅力を伝える。	3/7 (全1回)
15	オルガン¥500コンサート 夏休みコンサート 平野由衣	静岡音楽館AOIのオルガンを活用し、より親しみやすい事業を展開する。	オルガンのコンサートを低料金で提供。夏休み企画として、3歳児から入場できるコンサートとする。	7/30 (全1回)
16	オルガン¥500コンサート クリスマス★コンサート 近藤岳	静岡音楽館AOIのオルガンを活用し、より親しみやすい事業を展開する。	オルガンのコンサートを低料金で提供。	12/20 (全1回)
17	オルガン¥500コンサート スプリング・コンサート 中澤未帆	静岡音楽館AOIのオルガンを活用し、より親しみやすい事業を展開する。	オルガンのコンサートを低料金で提供。	3/20 (全1回)

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	笠岡市立竹喬美術館名品展 うつりゆく自然を描く 小野竹喬の世界	岡山県笠岡市出身の日本画家小野竹喬(おの ちつきょう1889-1979)は14歳で上洛、竹内栖鳳に入門し、以後75年間にわたり一貫して日本の自然の美を描き続けた。大正から昭和に至る竹喬の画業と生涯を通し、多彩な表現に触れる機会を広く市民に提供する。	小野竹喬の出身地の笠岡市立竹喬美術館の所蔵品から厳選した名品を中心に日本画、素描など134件を展示。40年以上にわたる竹喬美術館の調査研究と収集活動の裏付けのもと、日本の自然美を追求した竹喬の画業の変遷を紹介する。	4/12～5/25 (39日間)
2	パウル・クレー展 創造をめぐる星座	20世紀を代表する画家パウル・クレー(1879-1940)は、抽象的でありながら詩情豊かな作品を数多く手掛けた。今日、「孤高の画家」としてのイメージが定着しているクレーであるが、本展では同時代画家との関わりに注目し、クレーの画業とともに、20世紀美術の全般的な知識を深める機会を提供する。	スイス・ベルンのパウル・クレー・センターの協力のもと、国内所蔵品も加え、初期から晩年に至るクレーの画風の変遷を辿る。あわせて、青騎士、キュビズム、ダダ、シュルレアリスム、バウハウスといった様々な画派の画家たちとクレーの作品を比較することで、近代美術史におけるクレーの位置づけを明らかにする。	6/7～8/3 (50日間)
3	柚木沙弥郎 永遠のいま	惜しまれつつも2024年1月に101歳の生涯を閉じた染色家・柚木沙弥郎(1922-2024)。青年期の清水や由比での修行や、静岡市立芹沢銈介美術館の企画委員を務めるなど本市とのゆかりも深い。75年にわたる創作活動の全貌を紹介することにより、優れた表現に触れる機会を市民に提供する。	柳宗悦らの民藝運動との出会いを原点とし、芹沢銈介に憧れて染色家を志した柚木沙弥郎は、型染を主軸に、版画、コラージュ、絵本などジャンルの垣根を超え、国際的に活躍した。初公開となる最晩年の作品を含む約300点を総合的に紹介する。	8/16～10/13 (51日間)
4	きもののヒミツ 友禅のうまれるところ —京都 千總コレクションを中心に	創業470年を誇る千總は法衣商を起源とする京友禅の老舗。美術工芸品や歴史資料約2万点に及ぶ同社のコレクションから厳選し、近世から近代にかけての絵画と工芸の諸相を探ることにより、伝統文化への理解を促す。	平面に描かれた文様が、着装することで立体になる——平面と立体を往来する「きもの」の文様の特性に着目し、日本の伝統工芸の文様の特質を探る。千總コレクションを中心に、国指定品を含む絵画、染織作品のほか陶磁、漆工を交えて展示。	10/25～12/21 (50日間)
5	日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展	累計発行部数1000万部を超える人気絵本「だるまさん」シリーズの作者かがくいひろし(1955-2009)の没後初の回顧展。特別支援学校の教師でもあったかがくいの足跡と絵本の魅力を絵本原画や映像により紹介し、誰もが美術に親しむ機会を提供する。	保育の現場で絶大な支持を得続けている大人気シリーズ「だるまさん」の絵本原画をはじめ、創作の源泉となったアイデアノートなどの貴重な資料や映像・音声記録などにより、子どもと向き合い、子どものために創作したかがくいひろしの世界を紹介する。	1/10～3/22 (62日間)
6	交流事業-展示事業	誰もが無料で気軽に立ち寄れる「交流ゾーン」で開催することで、市民に「偶然に」多様な表現に出会う機会を提供し、芸術文化に対する興味関心を喚起する。	交流ゾーン(主に、エントランスホール、多目的室)の特性を活かした展示の実施。	未定

(静岡市歴史博物館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	企画展示 明治維新と静岡 徳川慶喜、家達と旧幕臣たち	明治維新により静岡に移り、激動の歴史をたどり日本の近代史の行方に大きく影響した、徳川慶喜や家達、旧幕臣の知られざる歩みを紹介する。	館蔵や静岡市内県内の旧幕臣の資料のほか、徳川慶喜や家達に関わる資料をもとに展示を行う。	4/26～6/8 (39日間)
2	地域学習展示 十返舎一九と葛屋重三郎	大河ドラマ「べらぼう」にちなみ、駿府出身で「東海道中膝栗毛」の作者である十返舎一九の軌跡と、江戸の出版文化をけん引した葛屋重三郎について紹介する。	十返舎一九研究会とも連携し、館蔵品や各地の一九関係資料を展示紹介し、江戸文化の楽しさを伝える。	7/5～8/24 (45日間)
3	企画展示 しずおかのお仏たち	霊山寺の仏像修復事業にちなみ、平安鎌倉期の静岡の仏像を展示し、静岡の仏教文化を紹介する。	静岡に残る仏像彫刻の美やすばらしさを伝える。当館で最初の仏教美術展。	10/25～12/7 (41日間)
4	特集展示 田安德川家史料寄託記念 徳川御三卿 田安德川家～静岡藩主家達の生家～	明治に静岡藩主となった徳川家達の生家、田安德川家の歴史資料が当館に寄託されたことを記念して展示事業を実施する。これまで公開されたことのない資料をもとに、知られざる名家の姿に迫る。	明治の静岡藩主で徳川宗家徳川家達の生家である、徳川御三卿田安德川家の資料が寄託されたことを記念して、その資料を展示し、知られざる名家の歴史を紹介する。	1/24～3/8 (40日間)
5	基本展示事業	博物館の基軸となる常設の展示を公開し、研究成果の普及と市民の歴史探求意欲の向上を図る。	基本展示室を活用した歴史資料の展示公開。年4回の展示入替えや、トピック展示を行い、広報により基本展示のリピーター確保をはかる。	通年

2 普及啓発事業(全600事業)

(事務局)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	中勘助文学記念館顕彰事業 「文芸サロン」	中勘助及び中勘助文学記念館についての周知を図り、市民による文学活動の促進の一助とする。	中勘助文学記念館を会場として俳句等を体験する文芸講座。作家の顕彰と、文芸活動の機会を提供する。	5月～7月 (全4回)
2	ショートムービー・マンガコンテスト	静岡にちなんだショートムービーやマンガを公募することにより、メディア芸術・新しい文化のすそ野を広げる。	静岡をモチーフにしたショートムービー等を募集し、受賞作品を用いた上映会・授賞式を開催する。	5月～12月 (全1回)
3	中勘助文学記念館30周年記念事業 絵本の読み聞かせ×子育てサロン	文学記念館で絵本に親しむ機会を創出するほか、地域交流の場(子育てサロン)としての利活用を促す。	四季に合わせた読み聞かせや手遊び歌、自然観察等を実施する。	5月～12月 (全4回)
4	夜店市	法人広報宣伝PRの場としての活用、地域に根差した事業の実施、まちのにぎわい創出へ寄与する。	静岡市中央商店街の夏まつりに出店し、当法人の広報、ならびに施設の前売券の販売等を行う。	8月 (全1回)
5	まちじゅうアート展	障がい者によるアート作品の展示を通じ、市民ギャラリーの存在を市民に広く周知する。	障がい者によるアート作品展を開催する。	8月 (全1回)
6	中勘助文学記念館顕彰事業 「するが文化の散歩道スタンプラリー」	近隣市の類似施設や大学と連携し新たなネットワークを確立する。今後の広報や事業連携に発展するきっかけとする。	静岡県立大学協力のもと、近隣博物館・文学館と連携した事業を実施する。	9月～11月 (全1回)
7	中勘助文学記念館30周年記念事業 フォトコンテスト	中勘助文学記念館の四季折々の自然や建物の趣といった魅力を発信し、新たな来館者の獲得を図る。	中勘助文学記念館敷地内で撮影された写真を公募・審査するコンテストを実施し、優秀作品の展示会を開催する。	9月～2月 (全1回)
8	中勘助文学記念館顕彰事業 「文学講演会」	中勘助の文学作品をテーマとした講演会。同氏を顕彰するとともに、その作品に対する市民の関心を促進する。	中勘助および中勘助文学を題材とした文学講座、講演会を実施する。	10月 (全1回)
9	文化芸術アウトリーチプログラム事業	文化・芸術事業への参加者のすそ野を広げる。	文化・芸術の体験型事業のアウトリーチを実施する。	通年 (全11回)
10	中勘助文学記念館展示入れ替え業務	定期的な記念館の展示物の入れ替えを行い、興味関心を喚起すると共に中勘助文学の顕彰を図る。	中勘助文学記念館の展示入れ替え業務。	通年 (全2回)
11	文化情報発信事業	イベント情報や文化情報を発信することで、市民の文化に関する関心を高め、文化活動を促す。	イベントニュース等を発行、情報発信事業を実施する。	通年
12	中勘助文学記念館30周年記念事業 中勘30周年広報	中勘助文学記念館が開館30周年であることを契機として、館の周知を図る。	チラシ・ノベルティの作成を行う。	通年

(静岡音楽館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	アウトリーチ・コンサート 清水特別支援学校 訪問コンサート	普段クラシック音楽の演奏に触れることが難しい層に鑑賞機会を提供する。	静岡音楽館AOIから離れた地域、医療施設、福祉施設、高齢者施設、更生施設等でのアウトリーチ・コンサート。	6/5 (全1回)
2	学芸員による講演会 作曲家入門:M.ラヴェル	クラシック音楽の作曲家についての理解を深める。	クラシック音楽の作曲家について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	7/3 (全1回)
3	AOIのオープン・デイ2025	施設に対する市民の親しみやすさを培うための事業。	静岡音楽館AOIの諸室でミニ・コンサートや楽器体験などさまざまなイベントを同時開催。	8/2、7 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
4	学芸員による講演会 “この1曲”をとことん語る 美しきマゲ ローネのロマンス op.33	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズで演奏される曲目について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	8/29 (全1回)
5	アウトリーチ・コンサート 蒲原生涯学習交流館	普段クラシック音楽の演奏に触れることが難しい層に鑑賞機会を提供する。	静岡音楽館AOIから離れた地域、医療施設、福祉施設、高齢者施設、更生施設等でのアウトリーチ・コンサート。	9/20 (全1回)
6	学芸員による講演会 作曲家入門:L.v.ベートーヴェン	クラシック音楽の作曲家についての理解を深める。	クラシック音楽の作曲家について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	10/10 (全1回)
7	静岡・室内楽フェスティバル2025 子どものためのコンサート 0歳児からのファミリー・コンサートVol.10	普段クラシック音楽の演奏に触れることが難しい層に鑑賞機会を提供する。	常葉大学短期大学部音楽科・保育科の学生による子どものためのコンサート。	10/25 (全1回)
8	アウトリーチ・コンサート 駿府学園	普段クラシック音楽の演奏に触れることが難しい層に鑑賞機会を提供する。	静岡音楽館AOIから離れた地域、医療施設、福祉施設、高齢者施設、更生施設等でのアウトリーチ・コンサート。	11/12 (全1回)
9	学芸員による講演会 “この1曲”をとことん語る L.v.ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第11番《セリオーソ》へ短調 op.95	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズで演奏される曲目について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	11/20 (全1回)
10	小学校高学年のためのオルガン・コンサート	教育機関との連携による青少年の文化活動の推進。	小学校と連携し、静岡音楽館AOIのオルガンを実際に体感し、子どもの時から音楽館に親しんでもらうためのコンサート。	11月頃 (全1回)
11	学芸員による講演会 “この1曲”をとことん語る L.v.ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 op.131	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズで演奏される曲目について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	12/5 (全1回)
12	学芸員による講演会 “この1曲”をとことん語る J.ハイドン:弦楽四重奏曲第81番 ト長調 op.77-1, Hob. III-81	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズで演奏される曲目について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	12/26 (全1回)
13	講演会「AOI・レジデンス・クワルテット」公演に寄せて	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズ(AOI・レジデンス・クワルテット演奏会)に関連した専門家による講演会。講師:平野昭(音楽学)	1/17 (全1回)
14	第26期「子どものための音楽ひろば」	音楽を中心とした総合的な体験により、子どもたちの豊かな感性を養う(特色ある事業の実施)。	音あそび、リズムあそび、合唱、体操、コンサートの鑑賞などを通じて、子どもたちに音楽の楽しさを体感してもらう全24回の講座を実施。	通年 (全24回)

(静岡科学館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	わくわく科学工作	科学的な原理が分かる手軽な工作体験により、ものづくりの楽しさを学ぶ。工作物を持ち帰ることで家庭でも科学的体験を共有する。	手軽に加工できる材料を使い、しくみや機能に科学的要素を取り入れた工作体験を提供する。テーマは基本的に月替わりとする。	4/6～3/1 (全20回)
2	る・く・る自然観察会	野外で自然や生物のようすを直接観察する機会を提供し、身近な環境への市民の関心を高める。	静岡県自然観察指導員会の協力を得て、市街地周辺のフィールドへ出向いて、各回のテーマに沿って自然観察を行う。	4/12～1/17 (全4回)
3	めばえのかがく	科学あそび等の体験を通して、科学的なものの見方や考え方の基礎を身につける。さらに、育児中の保護者にとってのサードプレイスとなることを目指す。	違いやふしぎさへの興味・気付き力、考える習慣を育むことを意識した科学的な体験プログラムを未就学児と保護者に提供する。	4/13～3/19 (全12回)
4	テーブルサイエンス	対話を重視した実験演示を通して、科学的思考を育む機会を提供する。生活と関連した現象と結び付け、身近な疑問についての気づきを促す。	科学的思考を意識したプログラムを作成し、実験演示を行う。来場者と双方向のコミュニケーションを重視して、対話をしながら進める。	4/26～3/29 (全15回)
5	る・く・る展示トーク	常設展示物や作成展示を活用し、実験やトーク、来場者の体験を交えて、展示物に付随する原理を伝えとともに展示物の新たな魅力を引き出す。	展示物の原理を理解するための補助的な用具を使いながら、新たな興味や疑問を引き出すような体験プログラムを行う。	4/27～3/22 (全24回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
6	サイエンスショー	実験の演示を通して、身近な事物・事象に含まれる科学的な要素を紹介・解説し科学への興味関心を高める。	大型実験を通して、身近な科学的現象を楽しく紹介し、背景となる原理を解説する。	4/29～11/24 (全10回)
7	科学茶房	企業や大学等で行われている研究について、その価値や魅力を市民に紹介し、科学の面白さ、奥深さや科学研究の重要性を伝える。	専門性の高い科学者、研究者を講師として招聘し、サイエンスカフェ、講演会を行い、現在進行形の研究について市民に紹介する。	5/11～3/15 (全6回)
8	科学教室	実験や工作、観察などの活動を通して、科学への理解を深めるとともに、科学的なものの見方や考え方、科学的に探究する能力を養う。	様々な科学分野をテーマとして子どもたちが自然の事物、事象を科学的に探究する実験や工作、観察などの体験プログラムを提供する。	5/24～1/11 (全5回)
9	オトナときめくサイエンス	交流機会の促進とにぎわい創出の1つとして、大人を対象に科学コンテンツを提供し、新たな来館者層の開拓と関心の喚起を図る。	成人層を対象に、子どもがいては体験できない難度の少し高めの実験や工作、体験型のトークなど科学コンテンツを提供する。	6/7～3/20 (全6回)
10	しずおかサイエンスアドベンチャー	実験室や屋外での体験活動を通して、身近な現象や自然への関心を醸成し、科学的に探究する態度を育成する。	静岡サイエンスミュージアム研究会と共催し、館内での実験観察工作、館外での動植物の観察、調査等の探究活動を行う。	6/14～2/21 (全9回)
11	プログラミング教室	プログラミングによる課題解決の体験を通して、プログラミング的思考を育む機会とする。	プログラミング教材を用いた教室形式のプログラムを提供する。	7/5～3/14 (全3回)
12	オトナ楽しむカガクカン	成人層をターゲットとし、年齢層を限定した科学体験の場を提供。子どもだけでなく大人も科学を楽しめる施設であることをPRする。	年齢層に合わせた解説や実験トーク等を実施。通常とは異なる展示物の拡張運用を実施し、体験を通して原理の紹介をする。	7/5～3/20 (全4回)
13	自由研究相談会	夏休みの自由研究に取り組む児童・生徒を支援し、探究的な学びに興味を持つ機会とする。	静岡サイエンスミュージアム研究会の協力の下、自由研究のテーマ探しや進め方についての個別指導を行う。	7/27～8/9 (全3回)
14	る・く・るワークショップ	科学工作や実験演示を行う経験を通して、来館者との科学コミュニケーションについて理解を深める。	双方向なコミュニケーションを意識した科学工作や実験の提供を行う。	8/6～8/14 (全4回)
15	る・く・るロボット工作&コンテスト～入門編～	ロボットの製作を通して、ものづくりの楽しさを伝えるとともに科学的な思考を育むきっかけとする。	子どもたちが自分自身でロボットを工作し、製作したロボットを指定のコースで走行させるコンテストを行う。	8/31～10/5 (全2回)
16	古生代の地球と生きもの(仮)	常設展示物では紹介できない科学的現象について特別展示を行い、市民の科学に対する理解を深め、知識獲得や思考力伸長を目指す。	古生代の生物や当時の地球を紹介し、生物の進化について学ぶ機会を提供するとともに、地学分野への興味関心を促す。	12/20～2/15 (44日間)
17	企画展開連事業	企画展の開催にあわせ、体験や専門家の講演等を実施し、来場者へ展示内容の理解促進や補完を行う。	企画展に関連した、ワークショップ及び講演会、教室を実施する。	12/27～2/11 (全4回)
18	常設展示物の体験支援及び解説	常設展示物の体験を通じて科学の不思議さや面白さを伝え、同時に科学的な原理、科学技術、その科学的な価値などへの理解を促す。	来館者に対して「みる・きく・さわる」をキーワードにした参加体験型展示物の体験支援及び解説等を実施する。	通年
19	アウトリーチ事業	館外において科学の楽しさや不思議さにふれるきっかけづくりを行い、科学館での学習体験を広く市民に紹介する。	当館で開発したショーや工作、科学教室のコンテンツを、外部団体の要請に応じて館外で実施する。	随時
20	科学館学習	学校単位の科学館利用の促進を図るとともに、主体的・対話的な学びを提供することで、児童・生徒の科学への興味関心を高める。	職員が、館を利用する学校団体に対して、主体的・対話的な学びを意識した実験の演示・工作講座や学習相談を行う。	随時
21	移動科学館	疾病や貧困、家庭環境等の影響で学習機会の少ない児童・生徒に対して、科学に触れる多様な機会を提供する。	静岡市内の児童相談所、院内学級、福祉施設など来館困難な施設を職員が訪問し、サイエンスショー、科学工作、実験を行う。	随時
22	オリジナル展示作成及び資料等展示	館内で科学事象や時事ニュースをパネルや標本等を展示し、科学情報を紹介する。	それぞれのテーマに沿った展示作成やパネル・標本等を用いた展示を行う。時期・テーマごとに入替を図る。	随時

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	しずびオープンアトリエ	誰もが気軽に立ち寄れる“交流ゾーン”の特性を活かした事業として、来館者が展覧会の内容をより深めることのできる、創作体験の機会を提供し、次世代の文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	指導員やボランティアを導入し、夏休みや春休みの時期に合わせて10日程度開催するワークショップ。展覧会内容に即したキットを独自開発し、短時間で制作できる体験プログラムを提供。	8月～3月 (全2回)
2	関連事業-ギャラリートーク	学芸員が展示解説を行い、市民の展覧会や作品への理解を深め、さらなる興味関心を喚起し、美術に親しむ層を育成する。	展覧会に対する理解を深めるため、展覧会担当学芸員が展示解説を行う。	会期中 (全5回)
3	関連事業-講演会	参加者に対して展覧会等に関する知識を普及し、美術に関する理解の深化や興味関心を喚起する。	外部講師等による展覧会テーマにちなんだ講演会。	会期中 (全5回)
4	ミュージアム教室	児童、生徒及び学生に対して学芸員が解説を行い、展覧会や作品への理解を深め、美術に対する興味関心を喚起し、次世代の文化の担い手の育成、文化の受容層の拡充に寄与する。	各種学校からの団体を対象に、各展覧会の内容を学芸員がわかりやすく解説する鑑賞教室。一般開館前の午前9時から10時の時間帯を中心に、幼稚園から小中高等学校、大学等に広く利用を呼びかけている。	随時
5	展示解説	学芸員が展示解説を行い、市民の展覧会や作品への理解を深め、さらなる興味関心を喚起し、美術に親しむ層を育成する。	生涯学習センターの各種講座等、社会教育施設からの団体を対象に、各展覧会の内容を学芸員がわかりやすく解説する鑑賞教室。一般開館前の午前9時から10時の時間帯を中心に受け入れている。	随時
6	関連事業-制作等ワークショップ	展覧会テーマにちなんだ体験プログラムを提供することで、作品や作家に対する興味関心を喚起する。	展覧会テーマにちなんだ制作等ワークショップ。	随時
7	暦とあそぶワークショップ	美術館ならではのオリジナル創作体験プログラムを考案・実施することで、広く市民に対して、鑑賞と創作の双方から美術に親しむ機会を提供し、次世代の文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	祭事や年中行事をとおして季節を感じ、それをかたちにする、暦とあそぶワークショップシリーズ。	随時
8	プレゼントワークショップ	美術館ならではのオリジナル創作体験プログラムを考案・実施することで、広く市民に対して、鑑賞と創作の双方から美術に親しむ機会を提供し、次世代の文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	記念日にあわせて、家族や大切な人へのプレゼントをつくる「プレゼントワークショップ」シリーズ。	随時
9	しずびチビッコプログラム	子どもの成長の一助となる良質な体験や、ゆっくりとした鑑賞の機会を望む保護者の潜在的なニーズに応えるため、小さな頃から「アート」、また「美術館」に親しむ機会を提供し、文化の受容層の拡充を図る。	2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。子どもたちに初めての美術館・アート体験の機会を与え、とともに、同伴する保護者には展覧会鑑賞の機会を提供する。	随時
10	Shizubiシネマアワー	誰もが気軽に立ち寄れる交流ゾーンの特性を活かした事業として映画という切り口から美術館への来館を促し、美術館事業に関心を持つ市民層の拡充を図る。	美術館ならではのセレクトで映画上映を行うシリーズ。	随時
11	静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 コンサート事業	“音楽”という切り口から、美術館への新たな来館を促すとともに、美術・音楽・科学等、様々な文化の受容層の拡充を図る。	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館の3館が共同して企画制作するコンサート。	随時
12	静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 講演会事業	音楽館、科学館、美術館が持つそれぞれの専門性を活かした総合的な文化発信のためのプログラムを開発することで文化に触れる機会を拡充し、市民の文化に対する理解を深める。	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館の3館が共同して企画制作する講演会。それぞれの専門分野を横断するカフェトーク。外部から招聘した講師と担当職員との対談スタイル。	随時
13	静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ワークショップ事業	音楽館、科学館、美術館が持つそれぞれの専門性を活かした総合的な文化発信のためのプログラムを開発することで文化に触れる機会を拡充し、市民の文化に対する理解を深める。	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館の3館が共同して企画制作するワークショップ事業。	随時
14	交流事業-展示事業 関連事業	出品作家による展示解説等、展示の関連事業を行うことで、市民の作品への理解を深め、さらなる興味関心を喚起し、美術に親しむ層を育成する。	出品作家本人による作品解説等、関連事業の実施。	未定

(静岡市歴史博物館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	こども博物館	特に親子連れを対象としたフェスティバルイベントを開催し、市民の博物館への期待や親しみを高める。	体験や平易な内容のトークなどを集め、親子連れを主対象としたフェスティバル形式の館内イベントを開催する。	5月、8月、1月 (全3回)
2	学芸員による歴史ガイドツアー	駿府城をはじめ、市内の魅力的な歴史スポットを紹介するガイドツアーを開催し、各地域の魅力再発見を促す。	学芸員の解説付きで歴史スポットを巡るツアーを開催する。駿府城及び企画展に関連した地域を対象として企画する。	5月～3月 (全6回)
3	展示等に係る関連イベント	基本展示および企画展等の普及効果を高めるため、関連テーマでの講演会やイベントを開催する。	基本展示および企画展等に関連するテーマで講演会、館長講演会、周年記念講演会等のイベントを開催する。	5月～3月 (全14回)
4	古文書講座	古文書にふれることを通じて徳川家康および静岡市に関する歴史に親しみ、市民による歴史研究の活性化を図る。	親しみやすい内容の古文書をテキストに、読み方や歴史を解説する。初級者、中級者等のレベルに応じたコース設定を行う。	6月～2月 (全5回)
5	バックヤードツアー	博物館施設の裏側やスタッフの仕事等を紹介し、博物館への理解と期待を高める。	資料保存・環境維持の重要性を伝える座学と合わせ、博物館の事務・収蔵・展示作業等のバックヤードエリアを案内する。	7月、8月 (全4回)
6	地域団体活動支援事業	地域の研究団体等の活動成果を広く市民に紹介し、歴史・地域学習の振興と市民の探求意欲の向上を図る。	地域で活動する各団体等と連携し、活動成果を活かしたパネル展示や講座等を開催し、広くその成果を市民に普及する。	通年 (全12回)
7	歴史出前講座	外部の施設等が企画・準備する市民の学習機会等を活用し、歴史や地域学習に関する普及啓発を図る。	市内の生涯学習施設等が設定する市民講座等の依頼を受け、当館の調査研究成果を活かした講演等を行う。	通年 (全20回)
8	学校団体活動支援事業	高校生、大学生らの研究活動の成果を広く市民に紹介し、歴史・地域学習の振興と市民の探求意欲向上を図る。	高校、大学で活動する歴史・地域学習系の部活動、サークル等の課外活動の支援と発表の機会を提供する。	通年 (全2回)
9	しずれきガイドツアー	市内の歴史スポットを案内するツアーを開催し、市内の魅力再発見を通して観光と交流の活性化を図る。	土日祝日に、当館起点の案内付き歴史スポット探訪ウォークを開催する。	通年 (全170回)
10	学芸員マニアックトーク	学芸員の専門的な知見をふんだんに盛り込んだ普及事業を企画し、市民に歴史探求の魅力を伝える。	専門的な知見をベースとしたテーマ設定のトークを開催する。歴史に強い関心をもつ層を対象として、学芸員と市民がともに歴史探求を深める機会とする。	通年 (全10回)
11	わかりやすい歴史、地域のおはなし	平易な内容で歴史等に関する研究成果やエピソード等を紹介し、市民に歴史探求の魅力を伝える。	1時間程度の多彩なテーマのトークを開催する。子ども向けや一般向けにわかりやすい内容とし、幅広い層の参加を図る。	通年 (全40回)
12	体験ワークショップ	気軽に体験できる工作や体験等により、市民に歴史や民俗などの魅力を紹介する。	短時間で完結する自由参加型のワークショップを開催する。テーマは多彩に設定し、幅広い市民層の参加を狙う。	通年 (全45回)
13	ナイトミュージアム	市街のイベントなどに合わせて開館時間を延長し、街のにぎわい創出と市民の探求意欲向上などを図る。	定期的または駿府城の大規模イベント等に合わせるなどして開館時間を延長し、市民の当館来訪機会を拡大する。	通年 (全17回)
14	基本展示紹介ミニトーク	基本展示室への誘客や、観覧時の理解を深めることを目的に、学芸員等による平易な解説を行う。	定例的な「道と石垣の遺構」解説やギャラリートーク等、各展示物の見どころなどについてわかりやすい解説を行う。	通年
15	自由体験コーナー	来館者が気軽に体験できるコンテンツを提供し、来館時の満足度と学習効果を高める。	学習支援コーナー等で、開館中常時利用可能な体験や映像等学習コンテンツを提供する。	通年
16	歴史観光情報発信事業	館内で静岡の歴史観光情報を積極的に発信し、市内探訪の起点として来訪者に地域回遊を促す。	案内役のコンシェルジュを配した情報コーナーを設置するなど、来訪者のニーズに合わせた歴史観光情報を提供する。	通年
17	博物館にぎわい広場	屋外広場等、館の施設を活用したにぎわいの創出。	他施設、他団体等と協力するなど、施設の屋内外施設を活用しイベントを開催する。	随時

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
18	解説、講座等のコンテンツ配信	通信ツールを活用し、展示資料の紹介や学芸員トーク等のイベントを館外へ配信し、普及効果の拡大を図る。	当館発のコンテンツをインターネット等で配信し、来館できない層に向けても鑑賞・聴講の機会を提供する。	随時

(葵生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	やつやま自然探訪	地元の里山を散策し、実施されている環境保護活動を紹介し地域の自然環境への関心を高める。	谷津山の環境保護活動の紹介およびハイキングコースの散策、自然観察、タケノコ掘りの体験を行う。	4月 (全1回)
2	みのり大学青葉学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代間の交流を通し、豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした、健康づくり、一般教養、時事問題などを取り上げた年間講座。	4月～3月 (全16回)
3	みのり大学城内学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代間の交流を通し、豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした、健康づくり、一般教養、時事問題などを取り上げた年間講座。	4月～3月 (全16回)
4	みのり大学草深学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代間の交流を通し、豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした、健康づくり、一般教養、時事問題などを取り上げた年間講座。	4月～3月 (全16回)
5	共催事業 あおい講座	教養講座、室内スポーツ、料理実習等の体験講座を通して、知的障がい者の居場所づくりを行う。	就労する知的障がい者を対象として、日常生活に必要な知識に関する講義、交流を目的とした体験活動等を実施する。	4月～3月 (全22回)
6	共催事業 おやこ音楽ひろば	乳幼児とその保護者を対象に気軽に音楽に触れられる機会を提供し、子どもの豊かな情操を育み、子育て世代の交流を促す。	子守唄、手遊び唄、クラシック音楽、季節にちなんだ童謡等の鑑賞と保護者同士の交流タイムを実施する。	4月～3月 (全12回)
7	共催事業 ピヨピヨおはなしかご	乳幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやパネルシアター等を通して心豊かな時間を提供する。	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等の鑑賞と親子で実践できるからだ遊びの体験を行う。	4月～3月 (全12回)
8	共催事業 重点事業 自主夜間教室	何らかの理由で義務教育を十分に受けられなかった市民に対し、学びの機会を提供する。	義務教育を十分に受けられなかった市民に対し、個別の状況に応じて主として小中学校で学習する内容を伝達する。	4月～3月 (全24回)
9	共催事業 大人のための水彩画講座	葵生涯学習センターの利用団体と共催し、団体の活性化に寄与する。また市民の余暇活動の充実につなげる。	初心者を対象とした、水彩画の描き方、技法などの基礎講座。活動団体「楽しい水彩画教室」のメンバーがサポートする。	5月 (全4回)
10	日本銀行静岡支店見学会	日本銀行静岡支店の見学と講義を通し、日本の金融システムの仕組みを学ぶ機会を提供する。	日本銀行静岡支店の見学及び日本の金融システムの仕組みや貨幣の流通に関する講義を実施する。	5月 (全1回)
11	あおい家庭教育学級	保護者が家庭教育に必要な現代的課題等について学び、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育む一助とする。	大学教授等を講師に招き、子どもの発達障がいや親子関係、成長とともに必要なサポート等に関する講義を実施する。	5月～6月 (全5回)
12	共催事業 古本リサイクル市	利用団体と連携して事業を実施することにより、幅広い内容の事業を提供し、市民活動を支援する。	いらなくなった古本を持ち込み、新たな持ち主に交換する機会を設け、資源の有効活用を図る。	5月～6月 (全3回)
13	歴史講演会	静岡にゆかりのある人物を中心とした歴史に関する講演を通し、郷土理解の機会とする。	時代考証の第一人者の小和田哲男氏による静岡にゆかりのある人物を中心とした歴史に関する講演を行う。	5月～6月 (全4回)
14	財団連携事業 共催事業 静岡市歴史博物館との歴史講座	静岡市歴史博物館との事業連携により、市民が静岡の歴史に触れる機会を提供する。	歴史の専門家を講師に招き、常設展や企画展に関わるテーマを中心とした静岡の歴史に関する講演を行う。	5月～12月 (全4回)
15	Googleサービス入門	高齢者を対象にGoogleが提供するウェブサービスの活用方法を習得する機会を提供し、デジタルデバイドの解消に寄与する。	講義と実践を通してGoogleが提供するウェブサービスの基本的な操作方法や活用方法を学ぶ。	6月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
16	共催事業 しずおか人形劇フェスティバル	人形劇団へ発表の場を提供するとともに、子ども達に生の人形劇に触れる機会を提供し、豊かな心を育む。	静岡市内で活動するアマチュア人形劇団による人形劇や紙芝居の公演、指人形の工作体験等を行う。	6月 (全1回)
17	財団連携事業 る・く・るのアウトリーチ事業	静岡科学館との事業連携により、地域の子どもたちが身近な科学に触れる機会を提供する。	静岡科学館の職員を講師に招き、近隣のこども園の園児を対象とした体験型の科学講座を実施する。	6月 (全1回)
18	共催事業 ビジネス英会話(Reまなび)	勤労者を対象に、丁寧な英語や英語の自然な会話について学び、ビジネス英会話のスキルアップの一助とする。	仕事の場面を想定した英語の挨拶や会話事例、外国籍の方に接する際に役立つマナーや文化について学ぶ。	6月～8月 (全3回)
19	初めて学ぶ資産運用	NISAやiDeCoなどの金融商品について学ぶ機会を提供し、ライフプラン形成の一助とする。	資産運用について初心者対象の学習講座を実施する。金融商品の基礎知識を学び、将来設計の要素の一つとして知識を提供する。	7月 (全1回)
20	医療講演会(徳洲会病院)	病気を予防する予防医学や健康医学など健康に関することを学び、健康増進に寄与する。	医師等の専門家を講師に招き、市民の関心が高い医療分野(予防医学、健康医学)に関する講義を実施する。	7月 (全1回)
21	重点事業 外国人児童生徒のための日本語教室	日本語を学べる機会を提供し、外国人住民が安心して生活できる環境づくりの一助とする。	日本語を母語としない小中学生に対し、個人の習熟度に応じて、日本語や日本語を通じた教科指導を行う。	8月 (全4回)
22	創ろう!君だけのプラモ	設計図の無いところから自由に部材を組み合わせ作品を作り、想像力と創造力を養うとともに、地域産業への理解を深める。	静岡市の地場産業であるプラモデル産業について学ぶとともに、半端部材を利用してオリジナルのプラモデルを作る。	8月 (全1回)
23	重点事業 スタディールームあおい 夏	小学生の自主的に学ぶとする意識を養う場を提供する。また、学習支援員として教員を目指す若い人材等の社会参加を推進する。	小学生を対象に、宿題など自主学習のための場所を提供する。また学習支援員を配置しサポートを行う。	8月 (全4回)
24	めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集し、種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)
25	共催事業 アース(明日)カレッジ2025	「誰もがセンセイ、誰もがセイト」をテーマに、市民が講師を務めるイベントを実施することにより、人材育成を行う。	様々なジャンルの講師を集め、異文化理解に関する展示や各種ものづくり体験、教養講座を実施する。	9月 (全1回)
26	仕事に活かせるマネジメント力(Reまなび)	仕事のあらゆる場面で必要とされるマネジメントの手法を学び、職業能力を向上させる機会を提供する。	部下の育成やチームの取りまとめなど、あらゆる場面で役立つマネジメント能力を身につけるための講義とワークショップを行う。	9月 (全1回)
27	共催事業 常葉大学共催公開講座(旧石器時代の洞窟壁画にみる宗教観)	旧石器時代の洞窟壁画に描かれたモチーフや信仰に関する講話を通して、旧石器時代の宗教観に触れる機会を提供する。	大学の公開講座として大学教授を講師に招き、旧石器時代における宗教観をテーマとした講義を実施する。	9月 (全1回)
28	家庭教育学級公開講座 テレビ寺子屋録画講演会	子育て支援に携わる方や保護者等に向けて子育てに関する情報を提供するとともに、全センターの家庭教育学級の周知を図る。	子育てや教育の分野で著名なゲストを招聘し、講演会を実施する。「テレビ寺子屋」の公開収録を兼ねる。	9月 (全1回)
29	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再認識するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	10月 (全1回)
30	令和8年度に向けた公募事業	葵生涯学習センターの利用団体を対象に令和8年度に共催する事業企画を公募し、団体の活動の活性化を図る。	葵生涯学習センターの利用団体を対象に令和8年度に共催する事業企画書を募集し、採択に向けて協議を行う。	10月 (全1回)
31	財団連携事業 「静岡の名手たち」によるコンサート	音楽を聴くことにより、豊かな感性を養うとともに、地元ゆかりのアーティストに対する理解を深める。	静岡音楽館AOI主催事業「静岡の名手たち」の合格者を招き、気軽にクラシック音楽に触れられるコンサートを実施する。	10月～11月 (全1回)
32	共催事業 公募事業採用団体との共催事業「はじめての古典」	平安女流文学の魅力に触れ、歴史や文学への理解を深める機会を提供する。また、公募事業採用団体との共催により、団体の活性化を図る。	「あおい歴史塾」と共催し、枕草子に関する講義と尺八等による平安時代の音楽の鑑賞を行う。	10月～12月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
33	共催事業 静岡英和学院大学・静岡英和学院 大学短期大学部「2025年度公開講座」	大学と連携して事業を実施することにより、幅広い内容の事業を提供するとともに、大学との連携を深める。	大学の公開講座として大学教授等を講師に招き、福祉、文学、心理学等の教養講座を実施する。	10月～12月 (全1回)
34	ガラスペン字講座	新規団体の立ち上げを目的に実施する。また、市民の余暇活動の充実を図る。	ガラスペンを使用した美しい文字の書き方に関する講義と実践を行う。	11月～12月 (全4回)
35	こどもの救急(オンライン講座)	家庭でも対応できる救急法を学ぶことで、保護者の不安を軽減し、健全な子育ての一助とする。	小児救急認定看護師を講師に招き、乳幼児の保護者に向けて家庭でできる救急法に関するオンライン講座を実施する。	11月～12月 (全1回)
36	重点事業 スタディールームあおい 冬	小学生の自主的に学ぶという意識を養う場を提供する。また、学習支援員として教員を目指す若い人材等の社会参加を推進する。	小学生を対象に、宿題など自主学習のための場所を提供する。また学習支援員を配置しサポートを行う。	12月 (全3回)
37	パソコン初級講座	パソコン初心者を対象に、操作方法を学ぶ講座を実施することで、情報リテラシー能力の向上に努める。	講義と実践を通してWordを使った文書の作成方法やExcelの表計算、機能等の基本操作等を学ぶ。	12月 (全5回)
38	ハンドクラフト講座	新規団体の立ち上げを目的に実施する。また、市民の余暇活動の充実を図る。	初心者向けの編み物講座を実施する。編み物の基礎を学び、小作品を制作する。	1月 (全2回)
39	しずおか産直!おいしいものパネル展	静岡市産のみかん等の歴史等を紹介するパネルを通して静岡市の産業の魅力を次世代を担う子ども達に伝え、郷土愛を醸成する。	みかん等の静岡市産の農作物の栽培の歴史や品種等をイラストやクイズで紹介するパネル展を実施する。	1月 (全1回)
40	おいしいものパネル関連おやこ料理講座	地域産業への理解を深め、子どもの郷土愛を育むきっかけを提供する。	地域産業への理解を深め郷土愛を育むことを目的に、静岡の食材に関する講義と調理実習を行う。	1月 (全1回)
41	広報事業	施設の利用方法や主催事業等に関する情報を提供し、施設利用および市民の生涯学習活動を促進する。	主催事業や施設の利用に関する情報、利用団体の情報等を発信する。	通年
42	共催事業 団体との連携事業	行政や市民団体等からの要請に基づき、現代的課題に沿った各種講座を実施し、市民の生活課題の解決の一助とする。	行政や市民団体等との共催により、現代的課題に沿った各種講座を実施する。内容については協議により決定する。	随時

(西部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	フラワーアレンジメント講座	市民が親しみやすい文化・趣味・実技などの学びの場を提供し、新しい趣味の発見や仲間づくりの一助とする。	花の選び方や色の組み合わせ、バランスの良い生け方など、初心者でも簡単にアレンジできる実践的な知識や技術を学ぶ。	4月 (全1回)
2	旅行でも使える!かんたん韓国語講座	旅行先として人気の韓国の文化や言語の習得を通じて、他国に親しみ、理解を深める機会とする。	初心者向けに韓国語の基礎と韓国文化を学ぶ講座。ハングルの読み方と旅行やSNSでも使える韓国語のフレーズを習得する。	4月～5月 (全4回)
3	みのり大学西部学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
4	共催事業 生涯学習団体との共催事業① 太極拳初級講座	当施設を利用する団体との共催により初心者向けの太極拳体験講座を開催し、太極拳による運動習慣づくりにつなげる。	初心者向けの太極拳の体験講座。健康増進のために健身養生法として優れた特色ある太極拳を知る。	5月～6月 (全4回)
5	はじめよう!やさしいリラックスヨガ	簡単なヨガのポーズを学ぶ機会を提供し、体を動かすことで代謝の向上による健康増進を図る。	身体が硬い人でも可能なヨガのポーズを学び、血行の促進やインナーマッスルの強化をする。	5月～6月 (全4回)
6	共催事業 西部にほんご・まなびっこ	地域で活動する教育支援活動団体と共催し、地域の外国人児童生徒とその家庭を支援する。	日本語を母語としない小中学生への学習支援、その家族と学校・地域とつながりを作る。	5月～7月 (全6回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
7	共催事業 西部パソコンサロンへようこそ	パソコンやスマートフォンの操作に関する質問や相談にボランティアが応じる。相互学習により、地域交流・社会参加を推進する。	サロン形式で参加者からのパソコンやスマートフォンの操作に関する質問や相談に応じる。	5月～3月 (全4回)
8	田町のふれあい地域食堂「田町食堂」	多世代を対象とした地域食堂により地域コミュニティの形成や社会的包摂を促し、地域住民の社会的孤立を防止する一助とする。	子どもから高齢者までを対象に、地域コミュニティの形成や社会的包摂を意識した地域食堂を開催する。	5月～3月 (全4回)
9	春のカラダよろこぶ!発酵料理講座	発酵食品が健康にもたらす効果を学び、生活に取り入れることで健康的な食生活を推進する。	春の季節に合わせた手作りの発酵調味料を活用した料理の実習を行い、発酵食品が健康にもたらす効果を学ぶ。	6月 (全2回)
10	共催事業 水害を知り地域防災を考える	近年多発している水害から身を守るためにどのような行動をすべきかを学び、水防災を身近なこととして考える機会を提供する。	安倍川の治水事業の歴史や取組と国交省静岡河川事務所の機能や役割等から水害時の避難行動の重要性を考える。	6月 (全2回)
11	共催事業 生涯学習団体との共催事業② 演劇に挑戦	利用団体と共催し、基礎から演劇を学び体験する機会を提供することで、役柄を演じる楽しさや魅力に触れ、演劇への関心を深める。	初心者向けの演劇体験講座。発声の仕方等演劇に必要な知識を学び、ショートストーリーを演じる。	6月～7月 (全6回)
12	重点事業 駿河竹千筋細工体験講座	小学生を対象に駿河竹千筋細工の制作講座を実施する。竹千筋細工の起こり、技術の伝来、特徴を知ることにより郷土理解を深める。	経済産業大臣指定の伝統工芸品である駿河竹千筋細工の起こりや職人の技術、特徴について学ぶ小学生向け体験講座	7月 (全1回)
13	共催事業 静岡市のごみ処理について考える講座	静岡市の廃棄物政策について学ぶことにより、身近なごみ問題を自分事として捉え、静岡市が推進する施策に関し理解を深める。	静岡市のごみの現状や国の最新の動向に加え、プラスチックごみの回収・再資源化の取組について学び、静岡市のごみを考える。	7月 (全1回)
14	重点事業 自分だけの駿河塗下駄制作講座	伝統工芸士である地域の塗下駄職人から地場産業を学び、下駄づくりを行うことで郷土理解を深める。	駿河塗下駄作りの体験。自分で描いたデザイン画を基に塗と鼻緒づけを行い、オリジナルの塗下駄を制作する。	7月～8月 (全4回)
15	めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集して種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)
16	静岡の動物パズル	日本に生息する哺乳類の進化について研究している専門家から静岡に生息する動物について学び、郷土理解を深める。	静岡に生息する動物の骨格標本を使い、動物の生態や進化の過程を学びながら動物の骨を並べる。	8月 (全1回)
17	財団連携事業 アクション俳優さんのオシゴト～殺陣に挑戦!～	舞台上で活躍する現役俳優から殺陣を教わり仕事を知ること、キャリア教育の一助とする。	舞台俳優による指導で舞台や映像で使われる殺陣を実践し、アクション俳優の仕事学ぶ。	8月 (全1回)
18	財団連携事業 静岡科学館科学コミュニケーター育成講座卒業生講座	静岡科学館科学コミュニケーター育成講座卒業生による講座を実施し、小学生の自然科学に対する関心、興味を促進する。	科学コミュニケーターによるワークショップを実施し、自然科学や科学技術などについて学ぶ。	8月 (全1回)
19	共催事業 生涯学習団体との共催事業③ はじめてのバロック音楽～魅惑の古楽器の世界～	当施設を利用する団体との共催によるクラシック音楽に親しむ講座を開催し、市民が音楽文化に触れることができる機会を提供する。	利用団体との共催による古楽器の演奏会。バロック時代の名曲を当時の楽器や奏法で演奏する。	8月 (全1回)
20	災害時の要配慮者支援を考える	災害時に高齢者や障がいのある人等の要配慮者を支援するための知識や方法を学ぶことで、市民の防災意識を高める機会とする。	高齢者、障がいのある人及び日本語のわからない外国人等の要配慮者を災害時に支援するための知識や方法を学ぶ。	9月 (全1回)
21	共催事業 西部ジャズコンサート	利用団体に活動内容の周知を兼ねた発表の場を提供し、市民の生涯学習活動への関心を喚起し、音楽文化振興の一助とする。	利用団体との共催によるジャズコンサートの実施。利用団体を出演者とするスタンダードジャズ等の演奏会	9月 (全1回)
22	家庭裁判所に関する講座	家庭裁判所の仕組みや手続きを学び、家庭や親族の間で様々な問題が生じた場合の対処の一助とする。	家庭内の紛争やその他法律で定める家庭に関する事件を扱う家庭裁判所の仕組みや手順を知る。	9月 (全1回)
23	安倍川から流れる水の働きを知ろう	安倍川を題材に流れる水の働きについて学び、小学生の自然科学に対する関心、興味を高める。	田町小学校5年生を対象に地域資源である安倍川の流路や石の形状から流れる水の働きを学ぶ。	9月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
24	俳句のいろは	俳句作りの手法を学び、地域の風物を題材にした創作体験を通して、教養と郷土愛を深め、俳句に親しむ機会とする。	初心者向けの俳句講座。俳句の基礎を学び、センター周辺を散策しての吟行、作成した俳句を評価する句会を行う。	10月～11月 (全3回)
25	仕事に活かせる質問力(Reまなびパッケージ事業)	仕事のあらゆる場面で必要とされるコミュニケーションの手法を学び、職業能力を向上させる機会を提供する。	社内外において相手の潜在的ニーズをくみ取るのに役立つ質問力(的確な質問を投げかける能力)について学ぶ。	10月～11月 (全1回)
26	暮らしに緑を取り入れる植物雑貨講座	植物を使った作品制作を通して植物の生態や生育方法等を学ぶことにより、自然環境への理解を深める。	ギャザリングやしめ縄等植物を使った作品を制作し、使用した植物の手入れ方法等を学ぶ。	10月～11月 (全3回)
27	ちびっこ絵画展	生涯学習施設を地域の中核施設と位置付け、近隣こども園・幼稚園の園児の作品展示をすることで、市民の交流を促進する。	地域の幼稚園・こども園から、園児が制作した絵画等を出品してもらい、センター内に展示する。	10月～11月 (全1回)
28	英会話講座	外国語や海外の文化を学ぶことで、異なる文化圏の人々との交流に役立つ知識を身に付ける。	異なる文化の人々と自信をもってコミュニケーションをとれるよう、初心者向けの英会話を学習する。	10月～11月 (全5回)
29	高齢者を対象としたデジタルデバイドの解消講座	高齢者を対象にスマートフォンの機能や使い方を学ぶ機会を提供することで、デジタルデバイドの解消につなげる。	情報通信機器の扱いに不慣れな高齢者を対象に、スマートフォンの機能や使い方等を基礎から学ぶ講座を実施する。	11月 (全1回)
30	西部女性学級	女性が現代的課題等を学ぶだけでなく従来の性別役割分担を見直し仲間をつくる機会を提供することで、社会参画意識の向上を図る。	子育て女性が一人の女性としての充実した生き方、自分らしい生き方を考える上で役立つ知識を学ぶ。	11月 (全5回)
31	財団連携事業 静岡市美術館連携事業 しず美出前講座「京都・千總コレクションにみる”きもの”の魅力」	当財団の専門性を活かし美術の要素を取り入れた講座を実施し市民の文化振興を推進する。	静岡市美術館学芸員による特別展「きものヒミツ 友禅のうまれるところ」の美術講演会。2回目は静岡市美術館で鑑賞を行う。	11月～12月 (全2回)
32	愛犬飼育講座	基本的な犬の行動や犬と人にも優しいしつけの方法などを学ぶことにより、人と動物が幸せに共生できる社会の実現に寄与する。	愛犬を育てる上でのミスマッチ解消に向けた観察力、犬とのコミュニケーションを図るトレーニング等、必要な知識を学ぶ。	11月～12月 (全3回)
33	親と子のからだ遊び	未就学児の子どもを持つ親子を対象に、からだ遊びを通じて親子の健康とコミュニケーションを促進する。	未就学児の子どもと保護者が親子でふれあいながら取り組める軽運動や幼児体操等を行う。	11月～12月 (全3回)
34	共催事業 避難所運営講座	災害時にスムーズな避難所運営ができるよう、自治会・町内会役員や防災委員以外の地域住民の意識醸成を図る。	災害時にスムーズな避難所運営ができるよう、避難所運営マニュアルの検証を行い、地域自主防災組織の役割について考える。	12月 (全1回)
35	冬のカラダよろこぶ!発酵料理講座	発酵食品が健康にもたらす効果を学び、生活に取り入れることで健康的な食生活を推進する。	冬の季節に合わせた手作りの発酵調味料を活用した料理の実習を行い、発酵食品が健康にもたらす効果を学ぶ。	12月 (全2回)
36	重点事業 はじめての陶芸	西部生涯学習センターの陶芸窯を用いて作陶体験をすることにより、感受性と創造性を培い、陶芸文化を学ぶ。	成形から釉薬の釉掛けまでの作陶に関する一連の作業を体験し、施設の陶芸窯で焼成する陶器制作講座	1月 (全2回)
37	食と文化の世界紀行～ミラノ・コルティナ編～	2026冬季五輪の開催地であるイタリア・ミラノ地方の伝統料理を学び、食を通じて他国の文化に親しみ理解を深める機会とする。	2026冬季五輪の開催地であるイタリア・ミラノ地方の伝統料理を作り、食を通じて多文化を学ぶ。	1月 (全3回)
38	みのり大学公開講座	市内在住の高齢者を対象にみのり大学の講座の一部を一般公開し、社会教育活動を周知するとともにみのり大学への参加を促進する。	次年度の学級生募集前に、「みのり大学西部学級」の全16回のうちの1回を一般に公開する講座を実施する。	1月 (全1回)
39	Reまなび講座	働く世代を対象に社会人基礎力向上を目的としたスキルを学ぶ場を提供し、大人の学び直しの機会をつくる。	働く世代を対象に変化が激しい今後の時代を生きていくための社会人基礎力向上を目的とした講座を行う。	1月～2月 (全1回)
40	Canvaで実践!WEB制作&画像・動画編集入門	WEBマーケティングの基礎知識やWEB制作のスキルを身につける機会を提供し、就業者や就業希望者の職業能力向上を図る。	無料ツール「Canva」を使用して、WEB制作や画像・動画編集等のスキルを身につける。	1月～3月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
41	静岡歴史探訪～地域の見方・楽しみ方	地域の歴史的資源を題材にアプローチの仕方や研究の楽しみ方を学び、歴史分野における市民の生涯学習意欲を惹起させる。	静岡市内に所在する歴史的資源を題材とする講座を実施し、地域の歴史やその楽しみ方を学ぶ。	2月 (全1回)
42	今から始める!生前整理	生前整理についての知識を学ぶことで、自分や家族の意思を尊重した身辺整理の進め方や今後の生活を考える機会を提供する。	生前整理について必要とされる知識を学び、自分や家族に合った身辺整理の方法や今後の生活を考える。	2月 (全2回)
43	共催事業 西部ふれあいコンサート	静岡県立静岡商業高等学校音楽部の生徒に演奏会の機会を提供し、音楽文化振興の一助とする。	静岡県立静岡商業高等学校との共催による演奏会。同校音楽部による吹奏楽コンサートを実施する。	3月 (全1回)
44	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	3月 (全1回)
45	広報事業	広報紙の発行等を通して地域住民に施設や学習団体の情報を提供し、生涯学習を推進する。	生涯学習センターの施設や取り組み、利用団体の活動等を紹介する広報紙を発行し、地域住民等へ配布する。	通年

(東部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	植物栽培・寄せ植えワークショップ	植物を活用した作品を、自分の手で作り上げることで、楽しさや達成感を得る機会を提供する。	フラワーアレンジメントや寄せ植えなどの植物を利用したオリジナル作品制作を体験する。	4月 (全1回)
2	はじめてのフラダンス	基礎からフラダンスを学び体験する場を提供し、心身の健康を図るとともに、新しい趣味づくりや仲間づくりを促す。	基礎からフラダンスを学び体験する。また、フラダンスで使用する衣装や楽器、ハワイの言語や歴史について解説する。	4月～6月 (全6回)
3	財団連携事業 こども広場プロジェクト	科学工作や実験、ワークショップを通して子どもが科学に関心を持つきっかけを提供する。	子どもを対象に、科学実験や工作、自然素材を使用したワークショップを行い、科学について学ぶ。	4月～12月 (全3回)
4	みのり大学東部学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
5	共催事業 子育て講演会	複合施設と共催して乳幼児の保護者を対象とした子育て講演会を実施し、地域の子育てを支援する。	東部保健福祉センターと共催し、乳幼児の保護者を対象とした、専門家による子育ての講演会を実施する。	4月～3月 (全2回)
6	七宝焼体験講座	ものづくり体験を通して、自分の手で作品を作り上げる楽しさや達成感を体感する機会を提供する。	金属の素地にガラス質の釉薬をのせ、オリジナルの七宝作品を作り、伝統工芸についても学ぶ。	5月 (全3回)
7	地域の歴史講座	静岡県の歴史を学ぶ機会を提供することで、郷土への愛好心や地元の歴史への理解を深める。	蔦屋重三郎が活躍した江戸時代中期から後期に出版された文芸と静岡地域との関わりについて、講演会を実施する。	5月～6月 (全4回)
8	共催事業 はじめての中国語	外国語や海外の文化を学び、異なる文化圏の人々との交流に役立つ知識を身に付けることで、多文化共生推進の一助とする。	初心者を対象に、中国語の文法や発音、また中国の文化、習慣、伝統などについて学ぶ。	5月～6月 (全5回)
9	共催事業 子ども向け地産地消の料理講座	地元の旬の食材を使用した料理を体験する場を提供することで、地産地消や食に関する意識向上を図る。	小学生を対象に、静岡県の旬の食材を使用したしらすピザ、つみれスープ、フルーツゼリーを作る。	6月 (全1回)
10	仕事に活かせるChatGPT	ビジネスに役立つChatGPTの基礎知識について学び、社会人の職業能力の向上を図る。	ChatGPTの機能や仕組み、セキュリティに関する基礎知識、仕事での活用事例や導入手順について学ぶ。	6月 (全1回)
11	思春期子育て講座	家庭教育に必要な現代的課題等について学び、仲間を作ることで、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育む。	思春期の子どもをもつ子育て世代やその関係者を対象とし、子どもの学習方法や家庭教育に関することを学ぶ。	6月～7月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
12	重点事業 麻機自然観察会～水辺の生き物探検隊～	身近な自然や生き物を観察する自然体験活動を通して、地域の自然や環境への興味・関心を育む。	巴川流域に生息する水生生物の観察を通じて、地域に生息する水生生物や自然環境について学ぶ。	7月 (全1回)
13	クラフトバンド講座	クラフトバンドの基本的な技法を学び、体験することで、新しい趣味や仲間づくりにつなげる。	牛乳パックや古紙を再生した手芸用の紙ひもであるクラフトバンドを利用し、作品制作を体験する。	7月 (全3回)
14	生涯学習団体との協働企画講座公募事業	令和8年度に実施する生涯学習団体との協働企画の募集を行い、市民の自発的な学習活動の支援を行う。	令和8年度の実施に向けて、生涯学習団体から協働開催可能な企画を募集し、選考を行う。	7月～9月 (全1回)
15	めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集して種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)
16	重点事業 麻機自然観察会～めざせ!未来の昆虫研究家～	身近な自然や生き物を観察する自然体験活動を通して、地域の自然や環境への興味・関心を育む。	麻機遊水地に生息する昆虫の観察や採集、標本作成などを通じて、昆虫研究の技術を学ぶ。	8月 (全3回)
17	こども美術教室	美術工作を体験する場を提供することで、子どもの個性や豊かな創造性を伸ばす機会を提供する。	小学生を対象に、自由に色付けや模様などを描いたり、立体物を組み立てる美術工作体験を行う。	8月 (全2回)
18	セミの羽化を観察しよう!	身近な自然や生き物を観察する自然体験活動を通して、地域の自然や環境への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミが羽化する様子を観察し、セミの生態や生息環境について学ぶ。	8月 (全1回)
19	夏休み親子プラモデル教室	静岡県のプラモデルの歴史を学び、プラモデルを作ることで静岡県の産業であるプラモデル文化振興の一助とする。	静岡市内に所在するプラモデル会社から話を聞き、親子でミニカーのプラモデルを製作する。	8月 (全1回)
20	職場見学!警察のお仕事	静岡県警庁舎の見学を通じて、警察の仕事への理解を深め、子どもたちの職業選択の一助とする。	静岡県警察の庁舎見学を通じて、警察官の仕事や警察組織について学ぶ。また、防犯に関する講話を実施する。	8月 (全1回)
21	共催事業 夏休みこども市場見学	地元の生鮮食品の流通についての知識を深め、食品に関わる仕事への理解と関心を高める。	親子で静岡市中央卸売市場を見学し、生鮮食品の流通の仕組みや食品に関わる仕事について学ぶ。	8月 (全2回)
22	専門家による文化芸術に関する講演会	専門家による講演会を通じて、市民が文化芸術に親しみ、教養を深める機会を提供する。	大学教員や博物館、美術館学芸員などの専門家による文化芸術に関する講演会を実施する。	8月 (全3回)
23	重点事業 自然に関する展示事業	静岡市内の自然環境に関連する展示を行い、地域の身近な自然に対する保護意識を育む。	静岡市葵区(麻機地区や谷津山など)で観察が可能な、自然に関する写真や標本展示などを行う。	8月～12月 (全2回)
24	東部防災講座	災害発生時の避難生活で役立つ知識や技術を習得することで、市民の防災意識を高める。	地震や大雨災害のメカニズムについて理解を深めるとともに、災害発生時の在宅避難や避難所生活で役立つ知識や技術を習得する。	9月 (全3回)
25	発達障害講座	発達障害・グレーゾーンにある人への寄り添い方について学ぶことで、社会包摂の一助とする。	発達障害について知識を習得し、発達障害・グレーゾーンにある人への寄り添い方について学ぶ。	9月 (全1回)
26	はじめてのピラティス	基礎からピラティスを学び、体を動かす場を提供することで、心身の健康増進につなげる。	ピラティスの基本的な動きとフォームを学び、正しい呼吸法を身につけ、身体の柔軟性や筋力を高める。	9月 (全3回)
27	仕事に活かせるSNS活用講座	効果的なSNSの使い方を学ぶことで、働く人やこれから働こうと考えている人の職業能力の向上を図る。	SNSで伝わる文章や画像の投稿方法など、ビジネスでSNSを活用するための基礎知識を習得する。	9月 (全3回)
28	重点事業 共催事業 谷津山再生協議会との共催事業	谷津山の自然環境やそこで行われている保全活動について学び、身近な自然に対する保護意識を育む。	谷津山の散策を通じて、谷津山の自然環境や放置竹林の問題とその保全活動について学ぶ。	10月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
29	大学教員による講演会	政治、宗教、経済、国際関係、時事問題について講演会を行い、現代的課題についての意識向上を図る。	専門家による政治、宗教、経済、国際関係、時事問題などに関する講演会を行い、現代的課題についての知識を習得する。	10月 (全3回)
30	共催事業 子育て親子交流事業～マザリーズ・カフェ～	マタニティ期から未就学児の子育てをしている母親同士を対象に講座を通じて、子育ての知識を得るとともに仲間づくりを促す。	マタニティ期から未就学児の子育てをしている母親を対象にした情報交流やミニ講座を実施する。	10月～12月 (全5回)
31	キックボクシング	基礎からキックボクシングを学び、体を動かす場を提供することで、心身の健康増進につなげる。	成人を対象に、キックボクシングの基本の動作を学び、筋力や体力を向上させるトレーニングを行う。	10月～12月 (全5回)
32	共催事業 フォークソングコンサート	生涯学習施設利用団体には成果発表の場を、市民には音楽鑑賞の場を提供し、音楽文化振興の一助とする。	生涯学習施設を中心に市内で活動する音楽団体と共催し、フォークソングコンサートを実施する。	10月～12月 (全1回)
33	シニアのフラダンス	基礎からフラダンスを学び体験する場を提供し、心身の健康を図るとともに、新しい趣味づくりや仲間づくりを促す。	基礎からフラダンスを学び体験する。また、フラダンスで使用する衣装や楽器、ハワイの言語や歴史について解説する。	10月～12月 (全6回)
34	重点事業 親子自然観察会	身近な自然や生き物を観察する自然体験活動を通して、地域の自然や環境への興味・関心を育む。	親子を対象に、麻機遊水地に生息する植物、昆虫、動物などの生き物を観察し知識を深める。	11月 (全1回)
35	共催事業 地域の防犯対策	地元自治会等と共催し、防犯対策に関する講習会を実施することで地域の防犯に対する市民意識向上を図る。	地元自治会等と共催し、振り込み詐欺や空き巣など地域で発生した事件を例に、防犯対策に関する講習会を実施する。	11月 (全1回)
36	大人のための日本銀行見学ツアー	銀行の見学を通じて、銀行の業務、日本の金融市場、日常生活でのお金の使い方について学び、金融リテラシーを育む。	日本銀行静岡支店を見学し、銀行の業務、日本の金融市場、日常生活でのお金の使い方など金融に関する基礎を学ぶ。	11月 (全1回)
37	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	笑顔を表した作品を巡回展示することで、豊かな心を育み、静岡の町を構成する人の素晴らしさを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	12月 (全1回)
38	共催事業 地域の交通安全講習会	地元自治会と共催して交通ルールや交通マナーを学ぶ講習会を行い、交通安全に対する市民の意識向上を図る。	地元自治会と共催して、自動車や自転車の交通ルールや交通マナーを学ぶ講習会を行う。	12月 (全1回)
39	財団連携事業 共催事業 静岡音楽館AOI学芸員による講演会	静岡音楽館AOI学芸員による講演会を通して、音楽に親しみ教養を深める機会を提供する。	生誕150周年を迎え、オーケストラの魔術師とも呼ばれる、フランスの作曲家モーリス・ラヴェルに関する講演会を行う。	12月 (全1回)
40	ステンドグラス講座	ものづくり体験を通して、自分の手で作品を作り上げる楽しさや達成感を体感する機会を提供する。	さまざまな色のガラスを組み合わせて絵や模様を表現するステンドグラス作品の制作技法を学ぶ。	12月 (全3回)
41	共催事業 お魚のさばき方講座	近隣の卸売市場と共催し、魚のさばき方や盛り付け方を学ぶことで、地元の旬の海産物や水産業への理解を深める。	静岡市中央卸売市場から仕入れたアジなどの魚のさばき方を学び、刺身の切り方や盛り付け方を学ぶ。	12月 (全2回)
42	重点事業 麻機自然観察会～冬鳥を探そう!～	身近な自然や生き物を観察する自然体験活動を通して、地域の自然や環境への興味・関心を育む。	麻機遊水地に生息する鳥類を観察し、鳥類の種類、習性、生息環境などについて知識を深める。	1月 (全1回)
43	障がい者向け体操教室	障がいのある人やその家族が気軽に参加できる体操教室を実施することで、社会的包摂の一助とする。	障がいのある人やその家族を対象とし、リズムに合わせて体を動かすワークショップを実施する。	1月 (全1回)
44	共催事業 介護に関する講演会	要介護者との付き合い方や公的支援の状況を学び、要介護者や介護者の環境を向上させ、社会包摂の一助とする。	要介護者の対応方法、介護への心構え、公的機関等から得られる支援の種類や手続き等について学ぶ。	1月 (全1回)
45	年金・相続・保険講座	現在の高齢化社会の実情を学び、自分自身が迎えるであろう医療・介護・相続について考えるきっかけづくりとする。	高齢化社会の中で気になる年金・相続・保険の最新情報を知り、ライフプランについて考える。	1月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
46	みのり大学公開講座	「みのり大学東部学級」の公開講座を開催し、高齢者学級の周知と次年度以降の同事業への参加者増加を図る。	今年度実施の「みのり大学東部学級」の講座のうち2回を受講者以外にも公開して実施する。	1月～3月 (全2回)
47	スマホ講座	スマートフォンの機能や使い方を学ぶことで、情報通信技術の活用方法を身に付け、デジタルデバイドの解消に寄与する。	情報通信機器類の不慣れな高齢者世代を対象に、スマートフォンの機能やアプリケーションの使い方について学ぶ。	2月 (全3回)
48	重点事業 自然科学に関する大学教員・専門家による講演会	自然生息地の劣化抑制・生物多様性の損失阻止等の観点から静岡の自然環境を学び、環境保全や自然との関わり方を考えることで、自然保護の意識を高める。	自然生息地の劣化抑制・生物多様性の損失阻止等の観点から静岡の自然環境を学び、環境保全や自然との関わり方を考える。	2月 (全3回)
49	共催事業 職場見学!消防署のお仕事	職場見学を通して消防署の仕事について学ぶ機会を提供し、将来の職業選択の一助とする。	静岡市千代田消防署の見学を通じて、消防士の仕事体験や防災についての講話を実施する。	2月 (全1回)
50	大人の羊毛フェルト講座	ものづくり体験を通して、自分の手で作品を作り上げる楽しさや達成感を体感する機会を提供する。	羊毛を特殊なニードルで突き刺し繊維を絡め合わせることで、フェルト状にした様々な形の作品を制作する。	2月 (全3回)
51	広報事業	地域住民に生涯学習施設や生涯学習施設利用団体の情報を提供し、生涯学習を推進する。	施設利用の基本情報や生涯学習団体の紹介、施設開催事業を集約した広報紙を発行する。	通年
52	共催事業 団体との連携事業	令和7年度に地域団体や施設利用団体と協働して事業を実施し、団体の自発的な活動を促進する。	地域団体や施設利用団体と協働して、現代的課題に沿った連携事業を実施できるよう支援する。	随時

(北部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	資産運用講座	子どもに「お金の大切さ」を伝え、楽しみながら正しい金銭感覚を身につける機会を提供する。	キッズ・マネー・スクール「親子の生き抜く力を育てよう!おみせやさんごっこ」を行う。	4月 (全2回)
2	共催事業 大正琴体験講座	既存サークルと事業を共催し、当該サークルの活動力向上と地域ネットワークの充実を図る。	既存サークル「北部大正琴同好会」の会員と一緒に大正琴の基礎を学び、演奏体験を行う。	4月 (全3回)
3	共催事業 コール・まどか	既存サークルと事業を共催し、当該サークルの活動力向上と地域ネットワークの充実を図る。	既存サークル「コール・まどか」の会員と一緒に、季節のうたの合唱体験を行う。	4月～5月 (全3回)
4	健康ヨガ	基礎体力の向上方法や運動について学習する機会を提供し、市民の健康増進に寄与する。	ヨガを通じて効果的な運動方法や正しい姿勢を体験するとともに、運動を習慣化する方法について学ぶ。	4月～6月 (全7回)
5	共催事業 重点事業 ほくぶおはなしバスケット	地域で絵本や紙芝居の読み聞かせをしている市民団体の人材育成と活用を図る。市民の読書推進に寄与する。	読み聞かせサークルが近隣の子どもたちを対象に、絵本や紙芝居などの読み聞かせ、手遊びなどを行う。	4月～2月 (全8回)
6	重点事業 ゲツワン!子ども寄り道ひろば	子どもや親子が自由に立ち寄ることができる場を設けるとともに、施設利用者や地域ボランティアに活躍の場を提供する。	子どもや親子向けにバルーンアートや科学あそび、ボードゲーム等で自由に楽しめる体験講座を行う。	4月～2月 (全8回)
7	みのり大学北部学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
8	療育支援～ボードゲーム	発達障がい児やその支援者に向けて、療育の一つの方法としてボードゲームを紹介し、コミュニケーションのツールを広げる。	発達支援の現場で実際に使われているカードゲームやボードゲームの説明を聞き、体験する。	5月 (全1回)
9	愛犬とのしあわせ生活の基礎	社会問題化する飼育放棄や無理な多頭飼育を防ぐために飼育知識を深め、飼い主としての責任を考える。	社会問題化する飼育放棄や無理な多頭飼育を防ぐために愛犬を飼育する上で必要な飼育知識を学ぶ。	5月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
10	韓国文化を学ぶ講座	市民が親しみやすい文化・趣味・実技などの学びの場を提供する。受講後は自主グループ化(仲間づくり)を促す。	韓国の言葉や文化を学ぶ。韓国料理を実演し、試食しながら食の違い等についての話を聞く。	5月～6月 (全3回)
11	親子で紙すき体験と和紙でランプづくり	地域の伝統的な日本和紙制作技法を学び、自ら作った和紙でものづくりを行うことで、郷土理解を深める機会とする。	楮を使用した伝統的の日本和紙の紙すき体験を行い、自ら作った和紙でものづくりを行う。	6月 (全2回)
12	文学講座	古典文学や描かれている時代背景等に関する学びを通じて、文学に親しむ機会を提供する。	平家物語の登場人物のひとりに焦点を当て、その人物を中心に物語を解説する全4回の文学講座を行う。	6月 (全4回)
13	防災講座	被災後の生活など有事の際に役立つ知識を得る機会を市民に提供し、防災意識を高める。	防災についての座学と、避難生活等で役立つ生活用品を作成するワークショップを行う。	6月 (全1回)
14	依存症ってなんだろう?	誰もが何かをきっかけにかかる可能性がある依存症の症状や栄養面、日常生活で気をつけるべきことを等、正しい知識を得る機会を提供する。	「好き」と「依存」の違い、依存症の症状や栄養面で気をつけること等、日常生活で予防できることを学ぶ。	6月 (全2回)
15	父子の地のものクッキング	地元食材を使った調理実習を通して、子どもの郷土愛醸成及び食育の一助とする。また、男性保護者の育児参画の機会を提供する。	男性保護者と子どもを対象に、新鮮な地元食材を使った調理実習を行う。	6月 (全2回)
16	文化財で考える北部の歴史	郷土の歴史を知ることで静岡市北部地域の魅力を再発見し、郷土理解につなげる機会とする。	静岡市北部地域の歴史について、文化財を通じて考える講義を全4回シリーズで実施する。	6月～7月 (全4回)
17	仕事に活かせる 観察力	仕事のあらゆる場面で必要とされるコミュニケーションの手法を学び、職業能力を向上させる機会を提供する。	組織活性化のための場づくり、強みを見つけて自分らしく働くための秘訣を学ぶ講義を実施する。	7月 (全1回)
18	夏休み親子プラモデル教室	プラモデルをとおして地元企業が地場産業の魅力を伝え、理解を深め、その良さを見直す機会を提供する。	地元企業の方を講師に迎え、親子で自動車のプラモデルを製作する。また、プラモデルの歴史と魅力についても学ぶ。	7月 (全1回)
19	夏休み!子ども料理教室	子どもたちが料理実習を通じて、一日三食とることや食材の大切さなど食育を学ぶ機会とする。	小学生を対象に、調理する食材(夏の旬の野菜等)の栄養の話と、料理実習を実施する。	7月 (全2回)
20	共催事業 静岡市歴史博物館との連携事業 (江戸時代・武士)	歴史や文化を学ぶことで地域への理解と愛着を深め、地域の魅力を再発見する機会とする。	静岡市歴史博物館の学芸員を講師に迎え、「江戸時代の駿府ではたらく武士たち」をテーマに静岡の歴史を学ぶ。	7月 (全1回)
21	市政出前講座	静岡市の特色ある取組を市の職員から学び、地域についての新しい知識を市民が得る機会を提供する。	市民生活、福祉、観光などの分野から、地域住民の関心が高いものについて学ぶ。	7月 (全1回)
22	親子で車いす体験	車いすを体験することで、車いす利用者が日頃感じている困難等について考え、障がい者への理解を深める。	障がいのある人が、どんなことに困っていて、どんな配慮が必要なのかを、車いす体験を通じて親子で学ぶ。	8月 (全1回)
23	スタンドグラスをつくろう	ものづくりを通し、学ぶことの楽しさや新たな趣味づくりの機会を提供する。仲間づくりを促す。	カラフルなガラスを組み合わせ、季節感を感じられるスタンドグラスを製作する。ものづくりのノウハウを学ぶ。	8月 (全1回)
24	子ども科学教室	科学実験・観察・工作等を通じて、子どもの科学への興味・関心を高める機会を提供する。	生物、気象など様々な分野の講師と一緒に科学実験・観察・工作等を行う小学生を対象とした科学教室。	8月 (全1回)
25	共催事業 団体との連携事業	施設を利用する団体と共催で体験講座を実施し、地域における生涯学習活動促進を図る。	各種団体と連携し市民に学習の機会を提供する。	8月 (全1回)
26	重点事業 ほくぶおはなしフェスタ	親子の触れ合いの場の創出に寄与する。また、市民団体の活動の活性化と技術の向上の機会とする。	近隣に住む未就学児や小学生に向けて、複数の読み聞かせ団体による絵本の読み聞かせや手遊び等を行う。	9月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
27	静岡でぶどうの収穫体験と魅力を学ぶ	地元農産物への理解と愛着を深める機会とし、静岡食材の魅力を再発見する場を提供する。	北部エリアのぶどう園を営む経営者から、静岡でのぶどうの作り方やおいしいぶどうの見分け方を学び、自ら選び、収穫する。	9月 (全1回)
28	楽しく学ぶガーデニング入門	花、緑を愛好する豊かな情操を育てるとともに、市民の自然環境に対する関心を高める。	これからガーデニングに挑戦したい人へ向けて、花の種類や土の扱い方等、ガーデニングの基礎知識を学ぶ講義を実施する。	9月 (全3回)
29	共催事業 静岡市美術館との連携事業（バルセロナ）	芸術に親しむ機会、知識の向上を市民に提供する。財団内他施設との共催により組織内連携強化を図る。	静岡市美術館の学芸員による講義「バルセロナーガウディ、ピカソ、ミロ…巨匠たちを育んだ芸術の都」を行う。	9月 (全1回)
30	重点事業 骨盤調整 ベビー抱っこダンス	ダンスを通じて産後の母親の骨盤を整える。子育て中の母親の仲間づくりを促し、育児不安の解消に寄与する。	ワルツやフラダンスを子どもと一緒に踊りながら母親の骨盤調整を行う。また、受講生同士の意見交流の場を設ける。	9月～10月 (全5回)
31	習字講座	市民が親しみやすい文化・趣味・実技などの学びの場を提供する。受講後は自主グループ化(仲間づくり)を促す。	初心者を対象に墨の濃度を変えて「書」を楽しみながら、毛筆の持ち方等、習字の基礎を学ぶ。	10月～11月 (全3回)
32	共催事業 世界情勢からみた日本経済について	国内外の政治や社会の状況が著しく変化中、市民が国際的な情勢に関する知識と理解を深める機会を提供する。	アメリカ、ヨーロッパ、東南アジア等の国の政治情勢について3回に渡り大学教授から学ぶ。	10月 (全3回)
33	パパとつくろう!ダンボールのおうち	ものづくりを通じて、親子(父子)の交流の場をもうけるとともに、父親の育児への関心を高め男女共同参画を推進する機会とする。	3歳児以上の子どもと父親が共同で、子どもが入ることができる大きさの段ボールを組み立て飾り付けをしておうちを作る。	11月 (全1回)
34	ゼロから始めるパンづくり	初心者が挑戦できるパン作りを通して、パン作りの基礎やおいしく作るコツを伝え、趣味の幅を広げる機会とする。	初心者が家庭で挑戦できるパン作りの基礎やおいしく作るコツ等を学びながら実習する。	11月 (全3回)
35	スマホ活用術講座	スマートフォンの機能や操作方法を学ぶことで、情報通信技術の活用方法を身に付けデジタルデバイドの解消に寄与する。	高齢者を対象に情報へのアクセス拡大のために専門講師によるスマートフォンの基礎からの操作を学ぶ講座を実施する。	11月 (全2回)
36	オカリナコンサート	障がい者やその支援者へ向けてコンサートを実施し、社会とつながるきっかけや機会を提供する。	障がい者やその支援者などが参加しやすいオカリナコンサートを行う。季節に合わせた親しみやすい曲目で構成。	11月 (全1回)
37	スマホやデジカメで素敵に撮れる写真撮影術	写真を上手に撮ることができるカメラ講座を通して、市民の余暇活動の推進の一助とする。	スマートフォンなど身近な機材を使った撮影のコツを地元フリーマガジンの撮影担当者から学ぶ。	11月 (全2回)
38	親子で梅ヶ島紅茶を楽しもう	静岡市北部エリアで栽培されている梅ヶ島紅茶生産者の講演を通じて、郷土の食材に関する知識を深める機会を提供する。	梅ヶ島紅茶の開発にまつわる話を聞き、淹れ方や様々な味わい方を生産者から学び、試飲する。	12月 (全1回)
39	共催事業 男性料理講座	既存サークルと事業を共催し、当該サークルの活動力向上と地域ネットワークの充実を図る。	既存サークル「シェフの会」の会員と一緒に調理実習を行う。受講生は男性限定とする。	12月 (全3回)
40	地のものクッキング	静岡産の食材や地元に残る料理をテーマとした料理実習を通じて、郷土の食文化を見直す機会とする。	18歳以上の成人を対象に静岡の食材の魅力を伝え、地元の食材を使った調理実習を行う。	1月 (全1回)
41	家庭教育学級	子育て中の保護者に対し、子育ての悩み解決の場、仲間づくりの場を提供し、楽しい子育てに寄与する。	子育てに関する講義やワークショップで受講生同士が悩み等を共有し、意見交換を行い、交流を図る。	1月～2月 (全5回)
42	みのり大学公開講座	高齢者を対象にみのり大学の公開講座として社会教育活動を周知するとともにみのり大学への参加を促進する。	高齢者に興味のあるテーマ(歴史・健康・趣味)を検討し、みのり大学の3講座を公開して実施する。	1月～2月 (全3回)
43	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	2月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
44	フラワーアレンジメント	正月飾りなど伝統的なフラワーアレンジメントづくりを通して、市民の余暇活動の推進の一助とする。	講師が用意した材料の中から自分で選んだ花などを用いて、季節のフラワーアレンジメントを作る。	2月 (全1回)
45	環境講座(出前講座)	生物多様性と外来生物についての学習を通して、環境資源の大切さへの理解を深める機会とする。	静岡市出前講座で環境共生課の職員を招き、生物多様性と静岡市の外来生物に関する講義を行う。	2月 (全1回)
46	家族でからだあそび	運動を通じて、親子のコミュニケーションの機会とし、父親の育児参加の促進にもつなげる。	未就学児の親子を対象に、親しみのある音楽に合わせて、親子でリズムをとったり、体を動かす。	2月 (全1回)
47	第一印象が良くなるお顔のヨガと眉メイク	面接や営業など仕事で活かすことのできる、好印象を与える方法を学ぶ場を提供する。	第一印象が良くなるお顔のヨガと、表情が一段と明るく見える眉メイクの方法を学ぶ。	2月 (全1回)
48	ほくぶファミリーコンサート	親子で楽しむことができるファミリーコンサートを通して、音楽鑑賞の機会を提供する。	子育て世代の会員が多数在籍している北部生涯学習センター利用団体によるコンサートを実施する。	3月 (全1回)
49	広報事業	地域住民に施設で実施した講座や、地域との交流、生涯学習団体の情報を提供し、生涯学習を推進する。	地域住民に施設で実施した講座や、地域との交流、生涯学習団体の紹介を行う広報紙を発行する。	通年

(薬科生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	財団連携事業 共催事業 しずび出前講座	法人内連携を強化し、専門的な知識を地域の生涯学習センターで広めることにより、地域での文化振興を図る。	静岡市美術館の学芸員による、しずび出前講座の実施。静岡市美術館と共催で展覧会の見学や講義を行う。	4月～5月 (全2回)
2	綿～種まきからの紡ぎと織り～	綿の栽培から織り方までの一連の作業を学び、手づくりの良さの発見と、綿を取り巻く状況から自然環境について学ぶ機会とする。	綿の栽培方法を知り、綿の紡ぎ方、植物や野菜の皮で紡いだ糸を染める方法から、織り方まで学ぶ。	4月～1月 (全6回)
3	みのり大学薬科学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
4	薬科食育活動 自分で作ろう土曜ランチ	「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、市民が健全な食生活を考える機会を提供する。	静岡市食生活改善推進協議会薬科地区と共催し、小学生を対象とした「食」に関する学習と料理実習を行う。	4月～3月 (全2回)
5	わらしな園芸講座	植物を使った園芸体験を通し、市民が新しい趣味を見つけ教養を深める機会を提供する。	実施時期に適した植物を使用し、フラワーアレンジメントや寄せ植え等の園芸体験講座を実施する。	5月 (全1回)
6	スポーツウェルネス吹き矢を体験しよう!	市民の健康増進に寄与すると共に、施設を定期的に利用する新規団体の立ち上げを促す。	スポーツウェルネス吹き矢について紹介し、吹き方や競技方法を学び、実践する機会を提供する。	5月 (全3回)
7	カメラと写真について学ぼう	デジタル一眼レフカメラの使い方や撮影方法について学ぶことで、市民が趣味を深める機会を提供する。	デジタル一眼レフカメラの使い方、撮影方法について学ぶとともに、写真の印刷を体験する。	5月～6月 (全1回)
8	四季の星座	四季の星空の講義と天体観測をとおして、市民の自然科学に対する興味関心を喚起する。	星座や惑星等の天体観測や、スライドによる星座に関するギリシャ神話等の説明を行う。	5月～2月 (全4回)
9	薬科家庭教育学級	子の保護者が家庭教育に必要な現代的課題等について学び、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育む育児につなげる。	子どもの発達や現代的課題等をテーマに、様々な分野の講師による家庭学習を進めるうえでのヒントとなる講義を実施する。	6月～7月 (全5回)
10	共催事業 キッズフェスタ	服織子育て支援センターと共催し、子どもの健やかな成長と子育て世代の親同士の交流を促進させ、地域の子育て世代を支援する。	薬科地域の未就学園児とその保護者を対象にものづくりや親子遊びなどの交流会を開催する。	6月～9月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
11	共催事業 シニア向けおしゃべり&食育講座	高齢期における健康づくり等のための食育を推進し、家に引きこもりがちな高齢者の集いの場を提供する。	静岡市食生活改善推進協議会藁科地区と共催し、栄養や健康づくり等の講話と料理実習を実施する。	6月～2月 (全2回)
12	重点事業 郷土玩具おかんじゃけ関連事業 作って伝えるおかんじゃけ	服織地域に伝わる郷土玩具「おかんじゃけ」を周知し地域の文化を学び、伝統の伝承を図る。	服織の郷土玩具「おかんじゃけ」を後世に伝えるために、おかんじゃけの歴史や作り方を学ぶ。	7月 (全2回)
13	オンライン事業 金融講演会	お金や金融の働きを理解し、自分の生き方や価値観を見つめながら主体的に行動できる知識を身につける。	資産運用初心者を対象に、NISAとiDeCoを活用した資産運用の基礎知識を紹介するオンライン事業の実施。	7月 (全1回)
14	重点事業 わらしな自然観察	藁科地域の動植物の観察を行うことにより、自然に対する興味関心と子どもの地元への郷土愛を喚起する。	小学生を対象に、藁科生涯学習センター近隣の川の中に入り鳥類や植物、昆虫、水生生物等の観察を行う。	7月～8月 (全1回)
15	重点事業 共催事業 チャレンジ!子ども太鼓教室	伝統文化に触れる機会の提供および児童の協調性を育てる。また、藁科生涯学習センター利用団体の育成・支援を図る。	藁科生涯学習センター利用団体と共催し、小学生を対象とした和太鼓教室。最終回は発表会を行う。	7月～8月 (全6回)
16	重点事業 作ろう!静岡のお茶を使ったお菓子	静岡の特産品について学び、実際に特産品で料理を作る講座を実施することで、郷土理解を深める。	静岡の特産品であるお茶について学び、保護者と子どもでお茶を使ったお菓子や飲み物を作る。	7月～8月 (全1回)
17	大人のボードゲーム講座	市民に新しい趣味の発見や、仲間づくりをする機会を提供する。また、藁科生涯学習センター利用団体の育成・支援を図る。	18歳以上の人を対象に、大人向けに作製されたボードゲームを体験する講座を実施する。	7月～8月 (全6回)
18	団体立ち上げ ヨガ	市民の健康づくりを喚起し健康増進に寄与する。また、藁科生涯学習センター施設利用率向上を目指し、新規団体の立ち上げを促す。	女性を対象に運動不足や体力の向上、また、精神と体のバランスを整えることにより心身ともに健康になるヨガ講座を実施する。	7月～8月 (全6回)
19	はじめて学ぶ韓国文化と韓国語	世界の国々の言語・文化・暮らしなどを紹介し、市民の多文化共生に対する理解促進を図る。	韓国語の初心者向けに、韓国語について学ぶと共に、韓国文化を紹介し理解を深める入門講座を実施する。	7月～8月 (全4回)
20	国際関係講演会	大学と連携し、専門性の高い事業を提供するとともに市民の国際関係に対する興味関心を喚起する。	大学教授等を招き、世界経済と日本経済、外交や国際関係について専門性の高い講演会を実施する。	7月～9月 (全3回)
21	共催事業 めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集して種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)
22	共催事業 夏休み子ども美術教室	服織地域在住の芸術家から、創作活動を学び、芸術活動を通して児童の健全な情操教育に繋げる。	小学生を対象に、芸術家の指導のもと木材や絵の具などの材料、はさみやのこぎりなどの道具を用いて美術作品を制作する。	8月 (全2回)
23	共催事業 団体育成 そば打ち	藁科生涯学習センター利用団体と共催し、利用団体の活動を地域内外に発信することで団体育成・支援を図る。	藁科生涯学習センター利用団体「わらしなそば打ち同好会Ⅲ」と共催し、そば打ち体験事業を行う。	8月～11月 (全3回)
24	健康・医療講演会	専門的な知識を地域の生涯学習センターで広めることにより、地域住民の健康増進を図る。	大学教授等を招き最新の情報を交えながら、健康・医療分野について専門性の高い講演会を実施する。	9月 (全1回)
25	わたしのまちの防災講座	災害発生時に自らの身を守るために役立つ知識を学ぶ機会を提供し、市民の防災意識を高める。	ハザードマップや浸水避難マップ等を活用し、地域の状況に即した防災対策に関する講座を行う。	9月～11月 (全1回)
26	財団連携事業 はじめての科学あそび	自然科学への興味関心を高めるため法人内連携を活かし、専門的な知識を地域の生涯学習センターで広め、地域での文化振興を図る。	静岡科学館職員による、身近な科学について工作等で学ぶ体験型ワークショップを実施する。	9月～11月 (全1回)
27	子ども向けハーバリウム講座	ハーバリウム等を手作りで作製する体験を通し、児童の教養もののづくりへの興味を喚起する機会を提供する。	小学生向けに、フィンランドモスやシリコンオイルを使ったハーバリウムを作製する講座を実施する。	10月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
28	重点事業 郷土玩具おかんじゃけ関連事業 新たなモチーフを創ろう	服織地域に伝わる郷土玩具「おかんじゃけ」を周知し地域の文化を学び、伝統の伝承を図る。	郷土玩具「おかんじゃけ」を周知すると共に、「おかんじゃけ」作製技術を活用した新たな作品を制作する。	10月 (全1回)
29	Reまなび	様々な世代の市民に「大人の学び」の大切を伝えるため、魅力ある学習機会を提供し、生涯を通じて学び続ける意識を高める。	これからの時代に必要な知識やスキルをアップデートする「リスキリング」や「リカレント教育」等の講義を実施する。	10月～11月 (全1回)
30	情報リテラシー講座 はじめてのスマホ講座	高齢者のデジタルに関する技術向上により、情報格差(デジタル・デバイド)の解消に寄与する。	スマートフォンの基本的操作方法、カメラの使い方、ネットワークを利用した機能について学ぶ。	10月～12月 (全3回)
31	初心者のためのスマホサロン	高齢者が継続的にスマホを利用するための支援を行い、情報格差(デジタル・デバイド)の解消に寄与する。	市民ボランティア(スマホサポーター養成講座受講者)を活用し、スマートフォンの操作方法等の相談会を実施する。	10月～12月 (全3回)
32	共催事業 はとりおしゃべり会	持続可能な地域社会の実現のため、地域住民と関係機関の繋がりを強化し、地域福祉の増進を図る。	服織地区社会福祉協議会と共催し、地域在住の高齢者や障がい者を対象に交流会を行う。	10月～3月 (全2回)
33	重点事業 共催事業 中勘助文学記念館文学講座	中勘助及び中勘助文学記念館についての周知を図り、市民による文学活動の促進の一助とする。	静岡市文化振興課と共催し、地域資源である中勘助文学記念館および中勘助文学作品を題材とした文学講座を実施する。	11月 (全4回)
34	共催事業 地域防災講座	服織地区社会福祉推進協議会と共催し、地域の防災について福祉の視点から理解を深める。	センター近隣地域の住民を主な対象とし、地域防災に重点を置いた講演会及びワークショップを実施する。	11月 (全1回)
35	重点事業 てくてくマップ活用ウォーキング講座	藁科地域の歴史や自然環境などに目を向け新しい気づきを得ることにより、郷土愛に繋げる。	当センターで制作した「てくてくマップ」を活用し、藁科地域の名所、旧跡を訪ね、地域について学ぶ。	11月 (全1回)
36	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	11月 (全1回)
37	重点事業 広報事業 わらしなの魅力発信・新聞発行事業	地域住民とともに、藁科地域の地理や歴史について深く知ることにより、郷土愛を育むとともに地域の情報発信に繋げていく。	てくてくマップ活用講座を元に、藁科地域の郷土愛を育むことをテーマにした広報誌を発行する。	11月～3月 (全1回)
38	共催事業 団体支援 企画募集事業	藁科生涯学習センター利用団体の団体育成や具体的な支援策を講じ、団体の活性化に寄与する。	藁科生涯学習センター利用団体に共催で事業を実施する団体を募集し、団体が抱えている課題を解決する講座を実施する。	12月 (全1回)
39	共催事業 クリスマスお楽しみ会～読み聞かせと手遊び～	子どもや親子を対象に読み聞かせや手遊びを行うことにより、健全な情操を育む機会を提供する。	藁科図書館と共催で、クリスマスに関する読み聞かせや手遊びの披露とワークショップを実施する。	12月 (全1回)
40	PPバンドでバッグづくり	物づくりの体験を通して、市民が新しい趣味を見つけ教養を深められる機会を提供する。	市販されているPPバンドを材料として、受講者の手作りによるバッグを作る手法を学ぶ。	12月 (全3回)
41	重点事業 郷土玩具おかんじゃけ関連事業 竹筆書初め	服織地域に伝わる郷土玩具「おかんじゃけ」を周知し地域の文化を学び、伝統の伝承を図る。	服織地域の郷土玩具「おかんじゃけ」を使った竹筆で書初めをする。また、サポーター養成の場とする。	1月 (全1回)
42	仕事で活かせるチャットGPT入門	人生100年時代・予測困難な時代と呼ばれる現代に必要な知識やスキルを習得するため、社会人の基礎力向上を図る。	チャットGPTの機能や仕組み、セキュリティに関する基礎知識、仕事での活用事例や導入手順について学ぶ。	1月～2月 (全1回)
43	共催事業 障がい者のためのコンサート	障がいがある人に向けて、社会的包摂の一環として文化に触れる機会を提供し、豊かな情操を養う。	障がいがある人と、その家族や付添者を対象とした無料の吹奏楽コンサートを実施する。	2月 (全1回)
44	共催事業 福祉・介護系講演会	介護を必要とする人や介護に携わる人に、現代の福祉・介護が抱えている問題について考える機会を提供する。	時事問題にからめて、現代の福祉・介護について考えるテーマを扱う。静岡老人ホームと共催として実施する。	2月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
45	共催事業 ライフプラン講座	人生を長く元気に過ごすための秘訣やポイント・制度を学ぶ機会を提供し、市民のライフプランへの理解を深める。	老後を安心して過ごすために知っておきたい情報や制度について学び、今後のライフプランについて考える。	2月～3月 (全1回)
46	共催事業 古文書基礎講座	地域に関する内容の古文書を取り上げ、読み解くことにより、地域理解に繋げ、教養を深める。	薬科図書館と共催し、古文書を読み解くポイント等を紹介しながら初心者向けの基礎講座を実施する。	2月～3月 (全5回)
47	広報事業	地域住民に生涯学習センターや学習団体の情報を提供し、市民の生涯学習、仲間づくりを促進する。	利用案内の配布、サークルリストの作成、わらしなニュース夏休み号・秋号を発行する。	通年
48	共催事業団体との連携事業	令和7年度に各団体から事業を実施したい旨希望があった際に、この枠を利用して実施する。	各団体が持ち込んでくるさまざまな現代的課題に対応し、協働しながら講座を実施する。	随時

(西奈生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 生涯学習団体との共催事業(中国語)	当施設を利用する団体と共催で体験講座を実施し、地域における生涯学習活動の普及を図る。	当施設を利用する団体と共催で体験講座(初心者向けの中国語講座)を実施し、中国語会話、中国文化について学ぶ。	4月～5月 (全4回)
2	クラフトバンド	工作を通して、モノづくりに親しむ機会を設け、学ぶことの楽しさや新たな趣味や仲間づくりを促す。	市販されているクラフトバンドを材料として、受講者の手作りによるバッグを作る手法を学ぶ。	4月～8月 (全2回)
3	みのり大学西奈学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代間の交流をとおし、豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした、健康づくり、一般教養、時事問題などを取り上げた年間講座。	4月～3月 (全16回)
4	まちあるきで学ぶ防災	自分たちが住む地域を防災の視点で注意しながら歩くことで、普段では気づかない危険箇所などを再認識し、防災意識の向上を図る。	自分たちが住む地域を注意しながら歩き、普段では気づかない危険箇所を再認識し、防災対策を学ぶ。	4月～3月 (全1回)
5	月一ストレッチ講座	月に一度、トレーナーから指導を受ける機会を設けることで、健康維持に繋げる機会を提供する。	月に一度、1時間程度、トレーナーからのストレッチ指導を通じて健康維持に繋げる方法を学ぶ。	4月～3月 (全12回)
6	スマホ・タブレット講座	情報社会において必要とされる技能を習得することで、地域におけるデジタルデバイス解消、情報リテラシーの向上を図る。	標準アプリ、「LINE」「YouTube」「Instagram」といった大人気のアプリ等の活用方法を学ぶ。	5月 (全2回)
7	真田紐で作るアクセサリ	伝統工芸品である真田紐を使用して身近なものを製作することで、真田紐の魅力を知る機会を提供する。	伝統工芸品である真田紐について学び、真田紐を使った身近な小物を製作する。	5月～6月 (全3回)
8	アコースティックコンサート	市民に質の高い音楽に触れる機会を提供する。また、音楽文化の発展を目指す市民団体の活動を支援する。	音楽文化の発展を目指す市民団体による幅の広い音楽を楽しめるコンサートを実施する。	5月～6月 (全1回)
9	郷倉で行う民具講座	昔の機織り機を使った機織り体験や郷倉に収蔵された民具の紹介を通して郷土理解を図る。	種から育てた綿をつむぎ、機織り体験を行う。郷倉に保管されている機織り機などを使用し昔の暮らしについて学ぶ。	5月～10月 (全6回)
10	シニアのヒップホップダンス講座	新規団体結成を目指し、高齢者が気軽に参加できるトレーニングで心身の健康を図る場を提供する。	高齢者を対象とし、ヒップホップの音楽に合わせてダンスやストレッチ等で身体を動かす。	5月～11月 (全5回)
11	着物リメイク講座	古い着物をリメイクして再利用することを通じてリサイクルへの意識を育み、ゴミの削減による環境への影響について理解を深める。	譲り受けた大切な着物や、タンスに眠ったままになっている古い着物等を日常的な品へとリメイクする技術を学ぶ。	6月～7月 (全4回)
12	コミュニケーション講座(心に寄り添うコミュニケーション)	人とのかわり方についてコミュニケーションの観点から学び社会で活用できるスキルを学ぶ機会を提供する。	人とのかわり方についてコミュニケーションの観点から社会で活用できるスキルを学ぶ。	6月～7月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
13	仕事に活かせる対話力(Reまなびパッケージ事業)	仕事のあらゆる場面で必要とされるコミュニケーションの手法を学び、職業能力を向上させる機会を提供する。	組織活性化のための場づくり、リーダーとしてメンバーをまとめる際のコミュニケーションの秘訣を学ぶ。	6月～7月 (全1回)
14	社会的包摂(知的障がい者のためのリズム運動)	障がいのある人を対象に、身体を動かす機会を提供することで、社会的包摂の一助とする。	知的障がいのある人を対象にした、リズムに合わせて体を動かすワークショップを行う。	6月～10月 (全1回)
15	共催事業 常葉大学教育学部小学生向け共催講座(にしなサマーキッズカレッジ)	教員志望の大学生が小学生に授業を題材とした学習活動を提供し、学習活動を通しての異世代交流の機会を創出する。	大学生と一緒に学習や勉強をテーマにしたレクリエーションを実施し、自分で考える力や協調性を養成する講座を実施する。	6月～12月 (全4回)
16	やさしい日本語	多文化共生社会の実現に向け、多言語に対応する手段について学び、交流する機会を提供する。	外国人との相互理解促進のため、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語への言い換えについて学ぶ。	7月 (全4回)
17	小学生向けプログラミング講座	プログラミングを通して、プログラマーの仕事を学び、職業意識を育む機会を提供する。	ゲーム画面を通して、楽しみながらプログラミングの知識を学ぶとともに、プログラマーの仕事を知る。	7月～8月 (全4回)
18	親子季節のお菓子	伝統食や行食の習わしについて学び、食への関心を育むとともに次世代への継承の一助とする。	季節のイベントについて学び、行事を彩るお菓子を保護者と子どもで作る。	7月～8月 (全2回)
19	クリスタルアクセ	工作を通して、モノづくりに親しむ機会を設け、学ぶことの楽しさや新たな趣味や仲間づくりを促す。	市販されているクリスタルビーズを使った身近な小物を製作する体験講座。	7月～9月 (全3回)
20	獣医さんのお仕事を学ぼう(オンライン)	獣医として働く方から話を聞き、動物の生命にかかわる仕事について学ぶ。	日本平動物園とオンラインでつなぎ、動物園で働く獣医から仕事の内容ややりがいについて学ぶ。	7月～10月 (全1回)
21	広報事業(にしなだより発行と夏休みイベント情報)	市民に向けて施設概要や学習段団体の情報を提供し、生涯学習活動を推進情報を発信する。	市民に向けて施設概要や学習段団体の情報生涯学習活動を推進情報を発信するための広報誌を発行する。	7月～3月 (全1回)
22	共催事業 めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集して種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)
23	デザインフラワー	作品制作体験を通して、自分の手で作品を作り上げる楽しさや達成感を感じる機会を提供し、ものづくりへの関心を深める。	デザインフラワー(造花)を使った作品を製作体験を行う。	8月 (全1回)
24	資産運用と終活	人生の終焉に向け準備しておく必要があることについて学び、ライフスタイルについて考える機会を提供する。	親族の死後、自身の終焉を考えることを通じて自分をみつめ、今より自分らしく生きる方法を学ぶ。	9月～10月 (全2回)
25	Googleサービス入門	シニア層を中心とした市民のITリテラシー向上に寄与することで、デジタルデバイドの解消につなげる。	Googleが提供するウェブサービス、またはウェブアプリケーション等について学ぶ。	9月～10月 (全2回)
26	静岡伝統工芸体験	静岡伝統工芸品の職人の指導を受けながら作品製作する講座を実施し、市民の伝統工芸に対する意識の向上を図る。	静岡伝統工芸品の職人の指導を受けながら作品の製作体験を通じて、伝統工芸品の起こりなどを学ぶ。	9月～12月 (全2回)
27	オトナ楽しむ!静岡音楽館AOI探検ツアー	静岡音楽館AOIの施設見学を通じて、文化施設への理解を図るとともに、音楽への関心を育む一助とする。	静岡音楽館AOIの施設見学を通じて、文化施設への理解を図る。	9月～12月 (全1回)
28	共催事業 西奈図書館共催 朗読と音楽の調べ	市民の読書のきっかけを作り、図書館及び生涯学習センター(リンク西奈)の利用促進を図る。	西奈図書館と共催で、静岡にゆかりのある作家の作品を朗読、ギターとマンドリンのコンサートを実施する。	10月 (全1回)
29	思春期子育て講座	家庭教育に関する学習を通じて、保護者同士の交流を促すとともに、子どもたちの健全な育成に寄与する。	保護者同士の交流を促し、子どもたちの健全な育成に寄与するための子育てに関する講座を実施する。	10月～12月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
30	西奈地域の歴史ガイド養成講座	地域の歴史紹介を通して郷土の魅力、歴史や文化に関する知識の伝承環境整備の中核となる人材を養成する。	西奈地域の歴史や文化を紹介する散策ルートを考案し、最終回に歴史散策受講者のガイドを務める。	10月～12月 (全4回)
31	共催事業 大学共催若者向け教養講座	常葉大学の学生と協働で講座を企画した教養講座を開催し、若年層の生涯学習への関心を育む。	常葉大学短期大学部日本語日本文学科の「地域リファイン演習」の講義内で、学生が講座企画を考案した講座を実施する。	11月 (全1回)
32	初心者パソコン講座ステップアップ編	情報社会において必要とされている技能を習得することで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	インターネット検索・閲覧や文書作成をはじめとするパソコン活用の具体的方法を学ぶ。	11月～12月 (全5回)
33	冷え性改善温活講座	健康的な毎日を送るため、運動と食を通じて、「温活」について考える機会を提供する。	代謝をよくする運動や、体を温める食事のコツを普段の生活に取り入れ、健康に過ごすための方法を学ぶ。	11月～12月 (全3回)
34	初心者パソコン講座エクセル編	市民の情報リテラシーの向上を目指し、パソコン操作や活用方法を学ぶ機会を提供する。	求職者や社会人を対象とし、Microsoft Excelの基礎から簡単な計算式、グラフ作成等を学ぶ。	11月～12月 (全5回)
35	重点事業 共催事業 郷倉紹介講座	地域の住民に地域の文化財を知る機会を提供し、郷土理解を図る。また、人材育成事業で育成した講座受講者の活用の場とする。	地域にある指定文化財「瀬名の郷倉及び附属番屋」の紹介を通して、郷土の歴史を過去の生活様式についての理解を深める。	11月～2月 (全1回)
36	共催事業 西奈図書館共催 リンク西奈クリスマス会	季節の行事を通して児童に対して本に親しむ機会を提供することで、図書館及び生涯学習センターの利用を促進する。	西奈図書館と共催で、クリスマスに関する読み聞かせや手遊びの披露とワークショップを実施する。	12月 (全1回)
37	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	1月 (全1回)
38	重点事業 西奈地域歴史散策	西奈地域の歴史文化に対する市民の意識を高める機会を創出する。ガイド養成講座受講者のガイドとして経験の機会とする。	ガイド養成講座受講者のガイドで西奈地域の史跡などを巡りながらウォーキングをし、健康増進を図る。	1月～2月 (全1回)
39	男性料理講座～土鍋ごはんとかんぱんのおとも～	男性を対象に料理実習の機会を設け、料理の楽しさや食事のバランス、栄養について考える機会を提供する	男性を対象にし、料理の楽しさや食事のバランス、栄養について考えた料理を学ぶ。	1月～2月 (全2回)
40	しずび出前講座	静岡市美術館の学芸員が、美術史上に登場する人物や事柄をとりあげ、その時代の美術・文化等を学ぶ機会を提供する。	かがくいひろしの足跡と絵本の魅力を、絵画原画をはじめ、創作の源泉となったアイデアノートなどの貴重な資料などから学ぶ。	2月 (全2回)
41	財団連携事業 共催事業 静岡市歴史博物館連携事業(浅間神社と廿日会祭について)	歴史の専門分野について気軽に学習できる機会を提供し、郷土にまつわる歴史に関する教養を深める一助とする。	450年以上の歴史と伝統がある浅間神社の廿日会祭について静岡市歴史博物館学芸員の解説により学ぶ。	2月 (全1回)
42	共催事業 地域に住む外国人による文化紹介講座	外国の文化に触れる機会を提供することで、異文化への理解を促し、もって国際交流促進の一助とする。	外国の文化に関する講演と民族楽器のコンサートを行う。	2月～3月 (全1回)
43	共催事業団体との連携事業	施設を利用する団体と共催で体験講座を実施し、地域における生涯学習活動の促進を図る	令和7年度実施の公募事業採用団体と共催で体験講座を実施する。	随時

(南部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 既存団体入会促進囲碁講座	生涯学習活動団体への支援を目的として、既存団体入会促進のため、共催事業を実施する。	既存団体入会促進のため、活動団体と共催し、解説や対局を通じて囲碁の基礎を学ぶ講座を実施する。	4月 (全3回)
2	みのり大学南部学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
3	共催事業 南部郷土史大学だより委員会	郷土の歴史を調査・学習し、その結果を広く発信する人材を育成し、学びのサイクル形成の一助とする。	郷土の歴史を伝える人材育成として、郷土の歴史を調査し、郷土史大学だよりの発行と配布準備を行う。	4月～3月 (全12回)
4	やさしい日本語ってなに?中級編	多文化共生社会の実現に向け、多言語に対応する手段について学び、交流する機会を提供する。	外国人との相互理解促進のため、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語への言い換えについて学ぶ。	5月 (全3回)
5	デジタル一眼レフカメラ	趣味・教養の向上や交流・仲間作りの機会をつくり、市民の生涯学習活動の充実を図る。	情報発信や記録を残す貴重な情報源となる、デジタル一眼レフカメラの使用方法などについて学ぶ。	5月 (全4回)
6	楽しく学ぶ百人一首	百人一首の起源・由来や和歌の背景を学ぶことで教養を深め、古典文学への興味関心を高める機会とする。	百人一首成立の歴史を学び、数首の和歌を取り上げて、その句の表す世界や作者の思いを楽しむ。	5月 (全2回)
7	展示事業	生涯学習活動団体やその他の地域団体が情報を発信する場を提供し、活動の成果を広く社会に還元する「学びの循環」に寄与する。	生涯学習活動団体やその他の地域団体が作成または管理する作品や写真等をロビー展示する。	5月 (全1回)
8	重点事業 フラワーアレンジメント講座1	市民が花に親しむ機会を提供する。また、「なんぶ花いっぱいプロジェクト」の活動を周知する機会とする。	春・夏の花材を使って、ガーデニングテクニックを活かしたフラワーアレンジメントやヨーロッパアートを製作する。	5月 (全1回)
9	やさしい日本語ってなに?初級編	多文化共生社会の実現に向け、多言語に対応する手段について学び、交流する機会を提供する。	外国人との相互理解促進のため、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語への言い換えについて学ぶ。	5月 (全1回)
10	共催事業 スクエアボッチャを楽しもう	社会的包摂を目指し、パラスポーツの啓発と障がい者同士の交流を目的とした体験会を実施する。	障がい者を対象とし、パラスポーツであるスクエアボッチャの体験会を実施し、受講者同士の交流を図る。	6月 (全2回)
11	共催事業 既存団体入会促進ウクレレ入門	生涯学習活動団体への支援を目的として、既存団体入会促進のため、共催事業を実施する。	既存団体入会促進のため、活動団体と共催し、ウクレレを基礎から学ぶ講座を実施する。	6月 (全2回)
12	スマートフォン講座	スマートフォンの扱い方や機能を学ぶことでデジタルデバイドの解消の機会を提供する。	スマホ初心者を対象とし、基本操作やアプリの種類と使い方、情報の活用方法等について学ぶ。	6月 (全1回)
13	自然観察教室 ～ビオトープで学ぼう～	身近な生き物や植物について学ぶ機会を設け、生物多様性や環境問題について関心を持つ機会を提供する。	ビオトープを見学し、外来生物や植物を観察することで、生態系を維持する大切さについて学ぶ。	7月 (全1回)
14	親子体操	健康促進・子育て世代の交流のため、親子を対象とした体操講座を実施し、新規団体立ち上げを目指す。	体操による心身の健康向上と交流を図り、継続した生涯学習活動のため新規団体立ち上げを支援する。	7月 (全4回)
15	共催事業 南部の郷土史1	利用団体との協働企画事業。利用団体の活動への支援や助言を行い、成果発表による学びの循環に寄与する。	静岡市南部の地域の歴史、文化財を通して、静岡市の知られざる歴史を掘り起こし、学ぶ機会とする。	7月 (全4回)
16	ペットと防災	防災について、身近なテーマを取り上げ危機意識を喚起し、知識の習得及び防災意識の向上を図る。	ペットと暮らす上で飼い主として災害の備えに必要なことや静岡市のペット災害対策について学ぶ。	7月 (全1回)
17	日本銀行静岡支店見学会	銀行の見学を通じ、お金にまつわる技術や歴史、金融政策について学ぶ機会を提供する。	子どもと保護者を対象に日本銀行静岡支店を見学し、最先端の偽造防止技術や銀行の仕事について学ぶ。	7月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
18	未経験でも簡単にアプリが作れるノーコード開発講座	社会人としての新しい基礎力習得やリスクリングの機会を提供し、地域経済を担う人材養成の一助とする。	社会人としての新しい基礎力習得やリスクリングの機会を提供し、地域経済を担う人材の育成を図る。	7月 (全5回)
19	共催事業 既存団体入会促進事業	生涯学習活動団体への支援を目的として、既存団体入会促進のため、共催事業を実施する。	既存団体入会促進のため、活動団体と共催し、趣味実技等について基礎から学ぶ講座を実施する。	8月 (全2回)
20	食育講座	調理実習や講話を通じ、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための支援を行う。	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、講話と調理実習を行う。	9月 (全1回)
21	子ども郷土理解講座	子どもが静岡市の地場産業や伝統に触れ理解を深める機会を提供し、郷土に対する愛着心を育む。	子どもが静岡市の地場産業や郷土史などに触れ、伝統について理解を深める講座を実施する。	9月 (全1回)
22	パソコン講座 パワーポイント編	社会人としての新しい基礎力習得やリスクリングの機会を提供し、地域経済を担う人材養成の一助とする。	社会人や求職者を対象とし、Microsoft PowerPointの使用方法を学ぶ。	9月～10月 (全3回)
23	パソコン初級講座 エクセル編	市民の情報リテラシーの向上を目指し、パソコン操作や活用方法を学ぶ機会を提供する。	求職者や社会人を対象とし、Microsoft Excelの基礎から簡単な計算式、グラフ作成等を学ぶ。	9月～10月 (全5回)
24	共催事業 ミニうんどうかい	近隣の子育て支援施設と連携し、保護者と幼児を対象とした事業を実施することで子育て世代の交流を促進する。	保護者と幼児を対象とした室内運動会を行い、競技を楽しみながら家族間あるいは保護者間で交流する。	10月 (全1回)
25	重点事業 フラワーアレンジメント講座2	市民が花に親しむ機会を提供する。また、「なんぶ花いっぱいプロジェクト」の活動を周知する機会とする。	秋・冬の花材を使って、ガーデニングテクニックを活かしたフラワーアレンジメントやヨーロッパアンアートを製作する。	10月 (全1回)
26	共催事業 登呂遺跡で田下駄作り	国の特別史跡である登呂遺跡の歴史や価値について体験を通して学び、子どもの郷土愛を育む。	登呂遺跡の米づくりの歴史を学び、道具の一つである田下駄づくり体験を通して、米づくりの大変さや弥生人の思いを知る。	10月 (全2回)
27	共催事業 石包丁で登呂米を収穫してみよう	国の特別史跡である登呂遺跡の歴史や価値について体験を通して学び、子どもの郷土愛を育む。	登呂遺跡の米づくりの歴史を学び、道具の一つである石包丁作りや稲の収穫体験を通して、米づくりの大変さや弥生人の思いを知る。	10月 (全1回)
28	シニアのヒップホップダンス	新規団体結成を目指し、気軽に参加できるトレーニングで心身の健康を図る場を提供する。	高齢者を対象とし、ヒップホップの音楽に合わせてダンスやストレッチ等で身体を動かす。	10月 (全5回)
29	共催事業 財団連携事業 静岡市歴史博物館企画展開連事業	文化施設と共催し、文化施設の見学や事業の紹介を行い、文化活動普及啓発の一助とする。	静岡市歴史博物館の企画展について現地で学芸員の解説を聞き理解を深め、展示会場を見学する。	10月 (全1回)
30	南部家庭教育学級	座学やワークショップ等を通じて家庭教育について学ぶ機会を創出し、子どもたちの豊かな人間性を育む育児につなげる。	保護者を対象として、座学やワークショップを行い、子どもの生きる力を育てるヒントを学ぶ。	10月 (全5回)
31	仕事に活かせるカラーコーディネート	社会人としての新しい基礎力習得やリスクリングの機会を提供し、地域経済を担う人材養成の一助とする。	社会人や求職者を対象にビジネスや生活シーンに合わせた色彩心理効果について専門家から学ぶ。	10月 (全1回)
32	共催事業 健康講座	近隣の施設や学校との連携を推進すると共に、地域住民の健康維持及び増進に寄与する。	近隣の施設や学校と連携し、主として地域住民を対象とし、健康相談や食事相談、体力計測等を行う。	11月 (全1回)
33	水引細工で作るお正月飾り	日本の伝統工芸である水引を使った作品作りをととして、その技術に触れる機会を提供し、伝統工芸への理解を深める。	伝統工芸への理解を深める機会として、水引を使ってお正月飾りを作製し、その技術に触れる講座を実施する。	11月 (全3回)
34	共催事業 南部の郷土史2	利用団体との協働企画事業。利用団体の活動への支援や助言を行い、成果発表による学びの循環に寄与する。	静岡市南部の地域の歴史、文化財を通して、静岡市の知られざる歴史を掘り起こし、学ぶ機会とする。	11月 (全4回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
35	駿河消防署見学会	近隣の消防署を見学し、業務や役割について学ぶことで子どものキャリア観形成の一助とする。	駿河消防署において、消防隊員による仕事の内容や防火・消防機材について解説の解説を聞く。	11月 (全1回)
36	重点事業 人材育成PR事業	人材育成事業である「なんぶ花いっぱいプロジェクト」の活動の周知機会を創出し、市民主体のまちづくり実現の一助とする。	なんぶ花いっぱいのメンバーが産業フェアしずおかに参加し、日頃の活動成果をPRする。	11月 (全3回)
37	ゼロからはじめる韓国語	多文化共生社会の実現に向け、世界の国々の言語や歴史、文化等を学ぶ機会を提供する。	初めて韓国語を学ぶ人を対象とし、韓国の歴史や文化についても学べる入門講座を実施する。	11月 (全4回)
38	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	1月 (全1回)
39	静岡空襲を聴く	戦後80年の機会に戦争について身近に感じ次世代に継承することを目的とした講演会を開催する。	戦後80年の機会に地域の方から静岡大空襲の体験談を聴き、戦争と平和について考える。	1月 (全1回)
40	共催事業 南部にこにこ子育て相談会	近隣の子育て支援施設と連携し、相談事業を実施することで地域における子育て支援への一助とする。	地域子育て支援センターと連携し、未就園児の保護者を対象とした専門家による子育て相談を行う。	1月 (全1回)
41	オンライン科学講座	オンラインを利用し、科学に関する団体や施設の最新情報等について学ぶ機会を提供する。	科学関連施設または企業と会場をオンラインでつなぎ、最新科学や生活科学について学ぶ。	1月 (全1回)
42	共催事業 なんぶ模型ひろば	地域産業である模型の製作を主とする利用団体の活動周知と会員数拡大を図ると共にプラモデルのまち静岡をPRする。	模型教室や作品展示を通して、団体活動及び施設の周知とプラモデルのまち静岡のPRを行う。	1月 (全2回)
43	歴史講座	世間で注目の日本の歴史題材を取り上げ、当時活躍した人物やその背景を学ぶことで教養を深める。	ドラマや書物で話題となっている旬の日本の歴史について学び、興味関心を高める講座を実施する。	1月 (全5回)
44	広報事業	地域住民に施設や利用団体の情報を提供し、生涯学習を推進するとともに施設の認知度向上を図る。	施設や生涯学習団体及び講座について紹介を行う広報紙の発行やSNSの発信等を行う。	通年

(長田生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	障がい者スポーツを体験してみよう	障がい者スポーツの楽しさや効用を体験することで、障がい者スポーツについて理解と共感を深める。	パラスポーツ選手からと一緒にボッチャなどの障がい者スポーツを体験する。	4月 (全4回)
2	重点事業 おさだの海シリーズ用宗でビーチコーミングとクラフト体験	ビーチコーミングを通して地元の海洋環境に関心を持ち、海洋ゴミがもたらす影響について理解を深める。	ビーチコーミングで拾ったものを使った工作と海洋ゴミについて座学で学ぶ。	4月 (全1回)
3	なぎなたを習ってみよう	体を動かす機会を提供することで、健康の促進を図る。	なぎなたの持ち方や動かし方などを学ぶ。	4月 (全4回)
4	はじめて学ぶ韓国文化と韓国語	世界の国々の言語・文化等を学ぶ機会の提供を通じて、多文化共生への意識を高める。	初心者向けに、韓国語並びに韓国文化を学ぶ入門講座を実施する。	4月～5月 (全4回)
5	みのり大学長田学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
6	共催事業 日本語教室「おさだ」	外国から移住等してきた外国人に対し、地域に根差した国際交流を図ることで多文化共生の一助とする。	市内在住外国人への日本語学習指導、生活悩み相談を行う。	4月～3月 (全12回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
7	社会人向けパソコン技術向上講座	社会人として必要なパソコン技術を身に付ける機会を提供する。	タイピングやパワーポイントの活用方法を学ぶ。	5月 (全4回)
8	財団連携事業 共催事業 しずび出前講座 浮世絵にみる江戸の猫ブーム 飼い猫、化け猫、招き猫!	法人内連携を強化し、専門的な知識を地域の生涯学習センターで広めることにより、地域での文化振興を図る。	静岡市美術館の学芸員による、しずび出前講座の実施。静岡市美術館と共催で講義を行う。	5月 (全1回)
9	長田家庭教育学級	保護者が家庭教育に必要な現代的課題等を学び、仲間をつくることで子の健やかな成長を促し、豊かな人間性を育む。	家庭教育に係る知識の習得と仲間づくりをする。	5月～6月 (全5回)
10	はじめての健康マージャン	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進すると共に、仲間作りを支援する。	初心者の方のみの健康マージャン体験を行う。	5月～8月 (全8回)
11	簡単レッスン!スマホ講座～LINE編～	情報社会において必要とされる技能を習得することで、情報格差の改善に寄与する。	スマートフォンアプリ「LINE」の操作方法や活用方法に関する実技講座を実施する。	6月 (全3回)
12	PPバンドでバッグづくり	物づくりを通し、制作の楽しさや新たな趣味や仲間づくりを促す。	PPバンドを使ってバッグを作る。	6月～7月 (全3回)
13	共催事業 元気で長生き栄養講座	生活習慣を改善するための行動変容に繋げる支援をする。	健康な食生活を送るための栄養指導と料理実習を行う。	6月～2月 (全2回)
14	重点事業 おさだ海のシリーズ駿河湾に生息する生き物を学ぼう	駿河湾に生息する生き物について理解を深め、海の環境について考える。	駿河湾に生息する生き物について学ぶ。	7月 (全1回)
15	子ども向け夏休み科学講座	理科の実験を通して自然科学への関心を高める。	身近なものを使った理科実験教室を行う。	8月 (全1回)
16	重点事業 共催事業 おさだの海シリーズ子ども郷土愛講座 用宗漁港でシラスを知ろう	長田地区にある用宗漁港を訪ね、シラスや漁業などの地域産業の理解を深める。	用宗漁港を訪ね、海産物の説明や競り等を見学する。	8月 (全1回)
17	小学生向けオンライン講座	小学生向けにオンライン講座を実施し、企業から多様な学習機会を受け得た情報の理解を深める。	遠隔地と結び食育に関するオンライン講演会を行う。	8月 (全1回)
18	職業体験講座～左官編～	職業理解につながるような体験活動を通じてその職業について理解を深める。	左官職人から工作等を通じて左官の仕事を学ぶ。	8月 (全1回)
19	共催事業 長田WELL-BEING教室「おさだっぶ」	社会的に孤立する高齢者に対して新たな知識を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代間の交流を通し、豊かな人生を送る手助けをする。	長田地域包括支援センターと共催し、社会的に孤立する高齢者に対して仲間づくりや異なる世代間の交流や学習を行う。	8月～2月 (全8回)
20	財団連携事業 静岡歴史博物館講座「安倍川に関するはなし」	歴史博物館の専門分野について気軽に学習できる機会を提供し、地域における文化振興の発展に寄与する。	静岡市歴史博物館学芸員からの解説による歴史講座を実施する。	9月 (全1回)
21	スープづくり講座	静岡市特産の食材を使用してスープづくりを行うことで、地元特産物の紹介と、料理を通して地産地消を推進する。	静岡市特産物の紹介と、その食材を利用した料理を作る。	9月 (全2回)
22	共催事業 長田地域に関する防災講演会	長田地域の自治会と協力し、長田地域の防災意識向上を図る。	地震や水害などの防災に関する講演会を行う。	9月 (全1回)
23	パソコン初級講座 ステップアップ編	市民の情報リテラシーの向上を図る。	「ワード」を中心に、文書の作成～応用や「エクセル」との連携など、パソコン初心者が見え見えするための技術を学ぶ。	9月～10月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
24	パソコン初級講座 エクセル編	市民の情報リテラシーの向上を図る。	エクセルの基礎から簡単な計算式、グラフ作成などを学ぶ。	9月～10月 (全5回)
25	共催事業 食生活サポート講座	生活習慣を改善するための行動変容に繋げる支援をする。	健康な食生活を送るための講義と料理実習を行う。	9月～11月 (全2回)
26	長田地域の農業体験	長田地域で栽培されている農作物について学び、郷土愛を育む。	長田地域で栽培される農作物の収穫体験をする。	10月 (全1回)
27	傾聴力アップ講座	自己啓発と、コミュニケーションスキルの向上を図り、市民の職業能力の向上やキャリア観形成の一助とする。	日常会話、ビジネス会話等で活用できる「発声」、「滑舌」、「傾聴法」を受講者同士実践しながら学ぶ。	10月 (全2回)
28	豆腐屋さんから習う美味しいお豆腐作り	日本古来の食文化を学び、食の安心安全について考える。	国産大豆を利用した昔ながらの豆腐づくりなどを習う。	10月 (全1回)
29	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	11月 (全1回)
30	季節を楽しむフラワー講座	作品を作り上げる楽しさや達成感を感じる機会を提供し、ものづくりへの関心と植物への親しみを深める。	植物を使ったものづくり体験を実施する。	12月 (全3回)
31	愛犬飼育講座	社会問題化する飼育放棄を防ぐために飼育知識を深め、動物愛護の精神を学ぶことで、飼い主としての責任を考える一助とする。	しつけ方法や愛犬の食事など必要な飼育知識を深め、飼い主としての責任を学ぶ。	12月 (全2回)
32	iDeCoと新NISA活用講座	資産運用、投資信託について専門家から学び、今後のライフスタイルを見直す機会とする。	iDeCoと新NISAを活用した資産運用の方法を学ぶ。	12月 (全3回)
33	みのり大学公開講座	高齢者を対象にみのり大学の講座を体験する機会を提供し、社会教育活動の周知とみのり大学参加を促進する。	みのり大学の音楽コンサート歴史講座などを一般に公開する。	12月～2月 (全3回)
34	韓国食文化講座	他国の食文化を学ぶことで、異文化に対する知識を得て、多文化共生への理解を深める。	韓国の伝統料理を調理し、風習や文化について学ぶ。	1月 (全1回)
35	重点事業 共催事業 おさだの海シリーズ男性向け魚のさばき方講座	魚のさばき方等を通して、男性の料理への関心を高め、男女共同参画の意識向上に繋げる。	普段料理をしない男性向けに魚のさばき方等を習得させる。	1月 (全2回)
36	共催事業 どうする入園?赤ちゃんに参加の座談会	静岡市と共催し、地域の親子を対象に子育て支援センター及び生涯学習センターの周知と子育て支援を行う。	駿河区子ども未来サポーターと共に子育て座談会を行う。	2月 (全1回)
37	広報事業	地域住民に施設や学習団体の情報を提供し、生涯学習を推進する。	施設や生涯学習団体の紹介を行う広報紙を発行し、配布する。	通年

(大里生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	スマートフォン講座 基礎編	スマートフォンの機能や使い方を学ぶことで、高齢者のデジタルデバイドの解消に寄与する。	文字入力の方法、メールの送り方、インターネットの検索方法など、スマートフォンの基本操作を学ぶ。	4月 (全2回)
2	発酵講座	免疫機能を向上させるために必要な発酵食品の取り入れ方と作り方を学び、健康に関する知識を提供し、健康増進に寄与する。	免疫機能を向上させる発酵食品の手づくり体験を行い、調理等日常生活への活用方法について学ぶ。	4月～6月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
3	共催事業 男の料理教室	男性向けに料理に関する知識を深める機会を提供し、男女共同参画について考える機会とする。	男性を対象に、料理初心者でも挑戦しやすく、家庭で手軽に実践できる内容の料理実習体験講座を実施する。	4月～7月 (全2回)
4	共催事業 生涯学習センター利用団体支援事業①スポーツ吹矢同好会	地域活動団体との事業を共催することでまちづくり活動実践の機会を提供し、団体の活動力の向上と地域ネットワークの充実を図る。	地域活動団体と地域住民によるスポーツウェルネス吹矢体験。吹矢の基本動作や呼吸法を学び、吹矢を体験する。	4月～12月 (全4回)
5	みのり大学大里学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
6	放課後サークル活動将棋やろうぜ	指導ボランティアより将棋を学び、小学生以上の様々な世代と対局することにより、世代間交流を図る機会とする。	小学生以上の様々な世代が指導ボランティアから将棋を学び、将棋の対局を楽しむ将棋体験講座。	4月～3月 (全16回)
7	ベビーマッサージ講座	子育て中の母親の仲間作りを促し、育児不安の解消に寄与する。地域の親子交流を促進する。	ベビーマッサージ体験と、産後の母親のためのエクササイズを行う。また、子育てについての情報交換の場を提供する。	5月～6月 (全2回)
8	グーグルサービス入門	シニア層を対象に市民のITリテラシー向上を目的とする講座を実施し、デジタル技術の活用を促進する。	グーグルを使用する上で基本的な内容であるアカウントの作成方法やログイン方法、画面の見方や各アプリの使用法について学ぶ。	5月～7月 (全2回)
9	シニアディスコダンス	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進し健康寿命の延伸を目指す。市民の健康増進に寄与する。	シニア向けダンス講座を実施、ダンスに触れる機会を提供し、ソウルダンス文化への理解を深める。	5月～2月 (全3回)
10	共催事業 大里心の乙女塾～女性のための教養講座～	女性が一般教養や現代的課題等について学び仲間をつくることにより、より一層社会に参画する。	静岡市在住の女性を対象に、一般教養や現代的課題等、様々な分野の学習の場と、学級生の仲間づくりや地域活動の機会提供を行う。	5月～3月 (全11回)
11	共催事業 大里中学校支援学級書道講座	静岡市立大里中学校特別支援学級生徒への文化活動提供を通じた交流を行うことで地域住民の社会的包摂理解促進の一助とする。	静岡市立大里中学校特別支援学級の生徒を対象に、当センター利用団体ボランティアによる文化教育事業を行う。	5月～3月 (全8回)
12	共催事業 大里中学校吹奏楽部コンサート	誰もが気軽に音楽に親しめるコンサートの開催を通して地域における異世代交流を促進する。	センターに隣接する静岡市立大里中学校吹奏楽部による地域の方向けコンサート。午前・午後の2回開催。	6月 (全2回)
13	今こそ!資産運用	特定の金融機関や金融商品に偏らない中立的な立場の専門家から資産運用について学び、今後のライフスタイルを見直す機会とする。	若年層を対象とし、iDeCoとNISAを中心に資産運用について学ぶオンライン講座の開催。	6月 (全1回)
14	腸活とヨガ	健康に関する正しい知識を提供し、市民の健康増進に寄与する。新規生涯学習団体の立ち上げを促し、利用団体の増加を目指す。	団体発足を目指し、腸活の基本知識と体調管理方法、整腸に効果的なヨガについて学ぶ。	6月 (全3回)
15	財団連携事業 共催事業 静岡市美術館「しずび出前講座 絵画にみる『平家物語』の世界」	当財団の専門性を活かし美術の要素を取り入れた講座を実施し市民の文化振興を推進する。	静岡市美術館学芸員から、絵画に見る平家物語についての解説を受ける美術講演会の開催。	6月 (全1回)
16	共催事業 生涯学習センター利用団体支援事業②大里そば打ち同好会	当センター利用団体の支援の一環として、団体への新規会員獲得を目的に講座を実施し、団体の活性化を図る。	当センター利用団体「大里そば打ち同好会」の新規会員獲得を目的とした共催講座の実施。そば打ち体験。調理実習・試食。	6月～7月 (全2回)
17	PPバンドでバッグづくり	ものづくりを通し、学ぶことの楽しさや新たな趣味づくりの機会を提供する。仲間づくりを促す。	プラスチック製の梱包用バンドであるPPバンドを用いて使い勝手の良いバッグをつくる。ものづくりのノウハウを学ぶ。	6月～8月 (全3回)
18	仕事で活かせるチャットGPT入門	チャットGPTの基礎知識を習得し、仕事での活用事例を学ぶことで、勤労者の基礎力向上を図ることを目的とする。	チャットGPTの機能や仕組み、セキュリティに関する基礎知識、仕事での活用事例や導入手順について学ぶ。	7月 (全1回)
19	重点事業 大里地域探訪プロジェクト夏休み!子ども「かるた大会」	大里地域や安倍川に関する調査活動の成果発表を通じて、市民の地域への理解・愛着を涵養する。	夏休みの児童生徒を対象にした、大里地域の歴史や文化などを紹介した『大里かるた』を用いたかるた大会。	7月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
20	共催事業 上下水道モニター事業	静岡市の上下水道施設を見学してその役割等を学ぶことにより、環境問題、自然保護についての理解を深める一助とする。	上下水道施設の見学を通じて、その仕組みと環境保護への取り組み等を学ぶ親子向けの講座。	8月 (全1回)
21	日本銀行静岡支店見学会	銀行の見学を通じ、経済や金融について学ぶ機会を提供し、日本の経済情勢に対する興味を喚起する。	日本銀行静岡支店を児童とその保護者で見学。日本銀行の役割や業務内容などについて学ぶ。	8月 (全1回)
22	アクアリウム講座	アクアリウム制作を通して生態系の物質循環の基礎を学び、自然保護について考える機会とする。	小学生以上を対象とした、魚やエビなど水生生物の飼育環境を作り出すアクアリウムの制作体験講座。	8月 (全1回)
23	財団連携事業 共催事業 大御所家康が築いた駿府のまち「家康が築いた駿府城と駿府城下町」	当財団の専門性を活かし歴史の要素を取り入れた講座を実施し市民の文化振興を推進する。	静岡市歴史博物館学芸員から、駿府城築城440年にちなんだ解説を受ける、夏休み歴史講演会の開催。	8月 (全1回)
24	共催事業 エシカル消費について学ぶ	人や社会、地球環境に配慮した商品や、静岡の地産地消について考えるきっかけづくりとする。	エシカル消費について学び、人や社会、地球環境に配慮した倫理的に正しい消費行動の知識について学ぶ。	8月 (全1回)
25	パソコン初級講座 ステップアップ編	情報リテラシーの向上とデジタルスキルの習得を目指し、市民に学びの機会を提供する。	Wordを中心に、文書の作成～応用、Excelとの連携など、初心者がステップアップするための技術を学ぶ。	9月～10月 (全5回)
26	共催事業 大里中学校特別支援学級連携講座 「クラフトバンドでリースづくり」	静岡市立大里中学校と連携し、地域住民が特別支援学級生と交流する機会を通じて社会的包摂の理解を深める機会とする。	大里中学校特別支援学級との連携によるクラフトバンドを利用したリース作りを通じた市民交流講座。	9月～11月 (全3回)
27	全身で歩く!ノルディック・ウォーク	ノルディック・ウォークを学ぶことで健康増進に寄与するとともに、地域散策によって大里の地域性に触れる機会を提供する。	手軽にできる全身運動であるノルディック・ウォークの正しい歩き方について実践を交えて学び、大里地域を散策する。	10月 (全2回)
28	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	11月 (全1回)
29	我が家と地域の防災対策	防災講座を行い、地域住民の防災意識の向上を図る。防災について学び、有事に役立つ知識を得る機会を提供する。	地域住民を対象として、地域の実情に即した実践的防災対策講座を実施する。災害時の被害想定や避難地の確認などを行う。	11月 (全1回)
30	季節の寄せ植え・秋	寄せ植え作りを通じて、フラワーデザイン及び植物に興味を持つ機会を提供し、暮らしの中で植物に親しむ機会を促進する。	ヨーロッパのガーデニングテクニックを活かした季節の草花の組合せや色のバランス等について学び、寄せ植え制作を体験する。	11月 (全1回)
31	はじめてのグラフィックレコーディング	職業能力の向上を目的としたスキルを学ぶ場を提供し、大人の学び直しの機会をつくる。	会議やプレゼンテーションの議事録を、文字やイラストを使ってリアルタイムに記録する方法を学ぶ。	11月 (全1回)
32	スマホ初心者体験講座	スマートフォンの機能や使い方を学ぶことで、高齢者のデジタルデバイドの解消に寄与する。	実際に体験機を使って、スマートフォンの基本操作や、LINE等のアプリケーションの使用方法について学ぶ。	11月～2月 (全1回)
33	共催事業 昭和フォークライブ ～あの素晴らしい青春をもう一度～	昭和フォークライブコンサートを生涯学習センターで実施することで、市民が気軽に音楽文化に触れる機会を提供する。	地域の高齢者の健康増進と生きがいづくりを目指して活動する市民団体との共催で実施する昭和フォークソングのコンサート。	12月 (全1回)
34	国際社会を考える	国際情勢を知る機会を創出し知見を養う。地域住民が国際社会や時事問題について学ぶ機会を提供する。	各国の外交や時事問題、国際情勢等を取り上げた、大学教員等の専門家による講演会の開催。	12月 (全1回)
35	共催事業 ハートフルコンサート	静岡市立大里中学校特別支援学級の生徒による音楽発表会を通じ、地域との交流を深め、社会的包摂を推進する。	センターに隣接する静岡市立大里中学校の特別支援学級生徒による音楽発表会。楽器演奏と合唱などを行う。	12月 (全1回)
36	共催事業 大里中学校放課後サークル活動ファシリテーター養成講座	学校の「授業」とも「部活動」とも異なる学びの場「大里中学校放課後サークル活動」を実施、中学生の自主・協働の力を育む。	大里中学校放課後サークル活動の一環としてのファシリテーターに必要なノウハウを学ぶ体験講習会。	12月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
37	共催事業 大里中学校放課後サークル活動 読み聞かせのコツを学ぼう	学校の「授業」とも「部活動」とも異なる学びの場「大里中学校放課後サークル活動」を実施、中学生の自主・協働の力を育む。	静岡市立大里中学校図書専門委員会の活動の一環として地域在住の読み聞かせのプロから読み聞かせの技術を学ぶ。	12月 (全1回)
38	共催事業 大里中学校放課後サークル活動 アナウンサーの話を聞こう	学校の「授業」とも「部活動」とも異なる学びの場「大里中学校放課後サークル活動」を実施、中学生の自主・協働の力を育む。	フリーアナウンサーからアナウンサーの仕事やその仕事につくまでの経緯などを聞き、聞き取りやすい発声方法などを学ぶ。	12月 (全1回)
39	重点事業 大里地域探訪プロジェクト『大里かるた』大会	大里地域や安倍川に関する調査活動の成果発表を通じて、市民の地域への理解・愛着を涵養する。	大里地域の名所・旧跡や歴史、伝説、風俗、習慣などを紹介した『大里かるた』を用いたかるた大会。	1月 (全1回)
40	共催事業 親子でかがくあそび	児童とその保護者への科学遊び体験を通じて、児童が科学を身近で興味深いものと考ええるきっかけを提供する。	実験と工作を通じて科学に興味を持ってもらう、児童とその保護者を対象とした体験型科学普及講座。	1月 (全1回)
41	季節の寄せ植え・冬	寄せ植え作りを通じて、フラワーデザイン及び植物に興味を持つ機会を提供し、暮らしの中で植物に親しむ機会を促進する。	ヨーロッパのガーデニングテクニックを活かした季節の草花の組合せや色のバランス等について学び、寄せ植え制作を体験する。	1月 (全1回)
42	共催事業 大里JAZZフェスティバル	センター利用団体に発表の場を提供し団体の活動を支援する。市民が気軽に音楽に触れる機会を設け、音楽文化の振興に寄与する。	当センターで活動する大人数編成によるジャズのビッグバンド3団体による合同ジャズコンサートの開催。	1月 (全1回)
43	重点事業 大里地域探訪プロジェクト大里かるた普及事業	大里地域や安倍川に関する調査活動の成果発表を通じて、市民の地域への理解・愛着を涵養する。	大里地域の歴史や文化などを紹介した『大里かるた』を活用し、旧大里村地域内にある教育機関等に赴きアウトリーチ活動を行う。	1月 (全2回)
44	みのり大学大里学級公開講座	地域の高齢者に社会教育活動の周知、普及を図るとともにみのり大学大里学級への参加を促進する。	静岡市内在住の高齢者を対象にみのり大学大里学級講座全16回のうち、2回を一般の高齢者に公開する講座。	1月～2月 (全2回)
45	重点事業 大里地域探訪プロジェクトカルタで巡る「大里歴史ウォーキング」	地域ボランティアガイドが市民の地域理解と愛着を深めるウォーキング講座を通じて育成・実践の機会を提供する。	大里地域探訪プロジェクトを通じて育成したボランティアガイドによる『大里かるた』を用いたウォーキング講座。	2月 (全1回)
46	データサイエンスを学ぶ	社会人の職業基礎能力向上を目的としたスキルを学ぶ場を提供し、学び直しの機会をつくる。	「アンケート調査」から統計の基礎とデータ活用法を学び、業務効率改善のためのリサーチ力を身につける。	3月 (全1回)
47	広報事業	地域住民に施設や実施講座、利用団体の情報等生涯学習に関する情報を提供し、生涯学習を推進する。	複合施設内事業を紹介する「おおざとカレンダー」の発行(月1回)。施設や生涯学習団体の紹介を行うセンターだより等の発行。	通年

(駿河生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	グーグルサービス入門	シニア層を中心とした市民のITリテラシー向上に寄与することで、デジタルデバイドの解消につなげる。	Googleが提供するウェブサービス(Gmailやグーグルマップなどのアプリケーション)について学ぶ体験講習会。	4月 (全2回)
2	共催事業 障がい者のためのコンサート	障がいがある人とその家族に向けて、社会的包摂の一環としてコンサート事業を実施することで、文化に触れる機会を提供する。	静岡吹奏楽団による障がいがある人とその家族や付添者を対象としたコンサート事業を実施する。	4月～9月 (全1回)
3	ステンドグラス講座	本場の材料を用いたステンドグラス作品の作製を通じて、工芸を楽しむ機会を提供する。	富士山、グリーンリーフ、ネコ、クリスマスツリーなどのステンドグラス作品を作製する。	4月～3月 (全4回)
4	暮らしを楽しむ季節の手しごと	季節の素材を活かしたものづくりの体験を通じて、豊かな四季を実感し、楽しむ機会を提供する。	天然素材を用いて、はちみつ石けん、蜜蝋キャンドルづくり、染色等を行うものづくり講座。	4月～3月 (全12回)
5	重点事業 共催事業 来・て・こでラジオ体操	ラジオ体操指導士の指導による正しい動きを習得する機会の提供を通じて、市民の健康増進を図る。	ラジオ体操指導士による、ラジオ体操の正しい動作を学ぶ実技指導講習会を月一回実施する。	4月～3月 (全12回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
6	共催事業 子ども食堂に学ぶ社会的包摂	子ども食堂の実践を通じて、子どもに関する諸課題への関心を高め、その解決を目指す地域コミュニティの形成を図る。	子どもに関する諸課題の解決を目指す地域コミュニティ形成を企図した、子ども食堂の運営を行う。	4月～3月 (全11回)
7	共催事業 サークルとの共催事業	令和7年度に各サークルから事業を実施したい旨希望があった際に、この枠を利用して実施する。	各サークルが持ち込んでくるさまざまな現代的課題に対応し、協働しながら講座を実施する。	4月～3月 (全1回)
8	重点事業 マタニティヨガ講座	女性の社会進出により、出産直前になっても出産に向けての体づくりが整っていない女性が多いため、その解決の一助とする。	マタニティヨガの実践と併せて出産前後の体調変化、生活の変化等について助産師でもある講師から学ぶ。	4月～3月 (全12回)
9	重点事業 産後ママのための骨盤底筋体操	産後のマイナートラブルの対処法を学ぶことで、より充実した子育て環境を整える一助とする。	骨盤底筋を引き締めるエクササイズを学び、実践する。また、子育ての情報交換等を行い仲間づくりを促す。	4月～3月 (全10回)
10	団体との連携事業	令和7年度に各団体から事業を実施したい旨希望があった際に、この枠を利用して実施する。	各団体が持ち込んでくるさまざまな現代的課題に対応し、協働しながら講座を実施する。	4月～3月 (全1回)
11	共催事業 活動団体による南部特支での文化事業	利用団体の経験や能力を活かし、地域で役割を担う機会として特別支援学校の児童生徒と交流すると共に障がい者理解の場とする。	静岡県立静岡南部特別支援学校の児童生徒に対し、健康文化交流館の利用団体による文化事業を実施する。	4月～3月 (全2回)
12	重点事業 心と体を整えるヨガ	市民の健康づくりを喚起すると共に健康増進に寄与する。また、駿河生涯学習センターで活動する新規団体の立ち上げを促す。	日頃の運動不足やストレスの解消、体力の向上など心身に働きのあるヨガ講座を実施する。	5月～6月 (全5回)
13	重点事業 子育てママのリフレッシュ体操	子育て世代の仲間づくりと育児不安の解消に寄与する。また、利用者団体「すきっぷ」への新規加入を促し活動支援とする。	ストレッチや軽運動を実施し、リフレッシュする機会を提供する。子育てについての情報交換の場を設ける。	5月～2月 (全8回)
14	みのり大学小鹿学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	5月～3月 (全16回)
15	財団連携事業 る・く・るのアウトリーチ事業	静岡科学館との事業連携により、地域の子どもたちが身近な科学に触れる機会を提供する。	静岡科学館の専門性を活かした工作や実験など、未就学児向けの体験型科学普及事業の実施。	6月 (全1回)
16	共催事業 生活に活かすマネープラン	資産運用について専門家から学ぶ機会を提供し、より一層豊かな生活設計への一助とする。	相続・信託・遺言の基礎を学びたい方を対象に、オンラインシステムを利用し遠隔に所在する専門家による講座を実施する。	7月 (全1回)
17	めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集して種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)
18	仕事に活かせる質問力講座(Reまなび)	仕事のあらゆる場面で必要とされるコミュニケーションの手法を学び、職業能力を向上させる機会を提供する。	組織活性化のための場づくり、リーダーとしてメンバーをまとめる際のコミュニケーションの秘訣を学ぶ。	8月 (全1回)
19	重点事業 共催事業 県大生と健康づくり	地域の高等教育機関との協働で学生主体の健康増進事業を実施することで、学生の社会参画機会と市民の健康づくりの場を提供する。	静岡県立大学による校外実習活動の一環として実施する、地域住民向けの健康づくり講座。	8月 (全1回)
20	夏休み親子プラモデル教室	静岡におけるプラモデルの歴史を学び実際に作ることを通して、静岡の産業を理解し誇りに思うことで子どもの郷土愛を育む。	静岡市内に所在するプラモデル会社からその歴史等について学び、親子でプラモデルを作る。	8月 (全1回)
21	お茶の魅力を知ろう・お茶スイーツをつくろう	静岡の主要な農産物である緑茶を味わう機会を提供することで、子どもの郷土愛を育む。	子どもが静岡の特産である緑茶について学び、緑茶を使ったクッキーなどのお菓子作りをする。	8月 (全1回)
22	女性学級 0歳児ママの仲間づくり	女性が子育てについて学びながら仲間を作る場を提供し、より一層の女性の社会参画を促す。	子どもとできる運動体験や、静岡市美術館、日本平動物園、静岡のお茶栽培の現場等を訪問する。	9月～11月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
23	チャットGPT講座	チャットGPTの基礎知識を習得し仕事での活用事例を学ぶことで、勤労者の基礎力向上を図ることを目的とする。	チャットGPTの機能や仕組み、セキュリティに関する基礎知識、仕事での活用事例や導入手順について学ぶ。	10月 (全1回)
24	ふわふわ!おいしいパンづくり	材料の選び方からパン作りを学び、材料の安全性や品質などの観点から食品を選択する方法を身につける。	発酵の種を用いる中種法によるパンづくりを行う。塩パン、チョコレートブレッド等をつくる。	10月～11月 (全2回)
25	重点事業 食べて動いて温活キレイ女子に!	冷えなど女性によくみられる体調不良解決のための運動等を実施することで、市民の健康増進を図る。	女性が悩みやすい冷え解消に役立つエクササイズの実施や、食生活に関するアドバイスを行う。	10月～11月 (全3回)
26	政治時事問題について学ぶ講座	地域住民を対象に、時事問題について学ぶ機会を提供することで市政や身の回りの課題に意識を持つ市民を醸成する。	地域住民を対象に、その時話題となっている時事問題を中心に取り上げた講演会の実施。	10月～3月 (全1回)
27	体験型防災講座	災害への対応について具体的に学ぶ機会を提供しながら、「市民の防災意欲」を高める。	防災に役立つ備えについて、火起こしや木の伐採など実践的な体験を中心に学ぶ講習会。	11月 (全1回)
28	おやこ歴史散歩	親子で地域に残る史跡を巡るウォーキング事業を実施することで、子どもの郷土愛を育む機会を創出する。	親子で専門家の解説を受けながら、駿河生涯学習センター周辺地域の史跡をウォーキングで巡る。	11月 (全1回)
29	新時代のくだものの楽しみ方	くだものの多様性とその開発等について学ぶことで、農産物への理解と愛着を深める機会を設ける。	くだものの多様性とその栽培方法や開発等について、試食を交えつつ楽しみながら学ぶ。	12月 (全1回)
30	地域歴史さんぽ	地域に残る史跡を巡るウォーキング事業を実施することで、地域の歴史文化に対する市民の意識を高める機会を創出する。	専門家の解説を受けながら、駿河生涯学習センター周辺地域の史跡をウォーキングで巡る。	12月 (全1回)
31	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	1月 (全1回)
32	重点事業 発酵食品を日々の生活に取り入れよう	発酵調味料の活用法を学び、それを用いた料理を作り試食することで、健康増進に寄与する。	しょうゆ麹、ネギ塩麹、玉ねぎ麹をつくる。また、それぞれの特長を生かした料理をつくり試食する。	1月～3月 (全3回)
33	共催事業 来・て・こおはなしの森	地域で活躍する読み聞かせ団体との協働による読み聞かせの場を提供することで、乳幼児の情操教育の一助とする。	地域で活躍する読み聞かせ団体が協働し、子ども向けのおはなし会を企画して実施する。	3月 (全1回)
34	広報事業	地域住民に対して、施設の利用方法や生涯学習団体の活動情報を提供し、生涯学習を推進する。	駿河生涯学習センター、南部勤労者福祉センター、小鹿老人福祉センターを紹介した広報紙を発行する。	通年

(美和生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 団体支援 美和健康太極拳サークル	利用団体の支援の一環として、「美和健康太極拳サークル」への新規会員獲得を目的に講座を実施し、団体の活性化を図る。	利用団体「美和健康太極拳サークル」との共催により市民向けの太極拳講座を開催し、団体への加入を促す。	4月～5月 (全4回)
2	共催事業 団体支援 オル・オル(フラダンス)	利用団体の支援の一環として、オル・オル(フラダンスサークル)への新規会員獲得を目的に講座を実施し、団体の活性化を図る。	利用団体「オル・オル」との共催により市民向けのフラダンス講座を開催し、団体への加入を促す。	4月～5月 (全2回)
3	シニアのヒップホップダンス	シニア向けにプログラムしたヒップホップダンスの練習を通して、適度な運動を促し、高齢者の健康を増進する。	高齢者の身体能力に併せたヒップホップダンスを実践し、運動を通じた健康づくりを促す。	4月～6月 (全5回)
4	団体立ち上げ 男性料理教室	料理を通じて、食事のバランスについて考える機会を提供するとともに、新規団体の立ち上げを図る。	男性向けにお弁当作りなどの料理実習を実施する。併せてサークル活動について案内し、サークル結成を促す。	4月～2月 (全6回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
5	重点事業 アカデ美和こどもカレッジ	児童を対象に連続講座を通じて現代的課題などを学ぶ機会を提供するとともに、将来の地域リーダーとなる人材を育成する。	現代的課題の解決や地域理解など、年間を通して幅広い分野を児童が学習する連続講座を実施する。	4月～2月 (全13回)
6	みのり大学美和学級	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通じて豊かな人生を送る。	60歳以上の高齢者を対象とした連続講座。講義や実技を通して、歴史、文化、経済、健康、環境、防災など幅広い分野について学ぶ。	4月～3月 (全16回)
7	重点事業 親子で体験!!!リトミック	親子交流を促進し、子育て世代の仲間づくりと子育てに関する意見交換の機会を提供する。	親子を対象として、リトミックを中心とした、親子・親同士の交流を促すプログラムを実施する。	5月～6月 (全4回)
8	重点事業 子ども英会話	多文化共生の社会を実現するため、外国語や海外の文化について学び、異文化への理解を深める機会を提供する。	英語を用いた基礎的な表現能力を身に付けるとともに、異文化受容の素地として海外の文化に親しむ講座。	5月～10月 (全8回)
9	共催事業 団体支援 癒しのヨガセラピー	利用団体の支援の一環として、利用団体「癒しのヨガセラピー」への新規会員獲得を目的に講座を実施し、団体の活性化を図る。	利用団体「癒しのヨガセラピー」との共催により市民向けのヨガ講座を開催し、団体への加入を促す。	6月 (全2回)
10	ゼロからはじめる韓国語入門講座	世界の国々の言語・文化等を学ぶことにより、多文化共生への意識を高める機会を提供する。	韓国語の基礎的な言語学習と、映像やシチュエーション別の会話練習から韓国文化についての学ぶ。	6月 (全4回)
11	Reまなび事業 ビジネス英会話	勤労者を対象に、丁寧な英語や英語の自然な会話について学び、業種のスキルアップの一助とする。	丁寧な英語表現や英語圏のマナー・文化など、ビジネスシーンで役立つ英会話の知識について学ぶ。	6月～8月 (全3回)
12	共催事業 美和農業体験	農業体験を通じ、消費者が農作物や生産者について学び、農業と食に対する理解を深める。	受講者自身が畑作業を行って野菜を栽培し、農業に必要な基礎的な知識を身に付ける講座。	6月～12月 (全7回)
13	小学生お小遣い講座	小学生が、将来役立つ金銭の価値や、金銭の社会的役割に関する知識と感覚を身に付ける機会とする。	小学生にとって身近な「お小遣い」を題材にお金について理解を深め、金銭の価値について学ぶ。	7月 (全1回)
14	共催事業 防犯講演会	地域団体との連携により、地域活動に携わる住民に向けた防犯講演会を行い、防犯意識の向上を図る。	美和地域に関する犯罪傾向や、防犯に関する知識の提供と対策についての講演会の実施。	7月 (全1回)
15	SDGsカードゲーム	小学生に対し、わかりやすいプログラムを通して時事問題について学ぶ機会を提供する。	世界の様々な人の立場になり、政治や経済、環境の時事問題を捉え、多角的な視野を学ぶカードゲームを実施する。	7月 (全1回)
16	重点事業 イラストレーターのオシゴト	イラストレーターの仕事についてワークショップを通して学び、職業への理解を深める。	外部からの受注や自己販売などのワークショップ形式で、イラストレーターの仕事を実験学習する。	8月 (全2回)
17	重点事業 財団連携事業 こカレ公開講座	子どもの科学についての興味関心を喚起し、理解を深める機会とするとともに、こどもカレッジへの参加を促進する。	主催事業「アカデ美和 こどもカレッジ」の一般公開講座を実施する。静岡科学館のSC講座卒業生による講座を実施する。	8月 (全1回)
18	重点事業 型染め	科学染料による水質汚染について学ぶとともに、汚染の少ない草木染を体験し、地球環境の保全意識を高める。	藍染による作品づくりを通して、自然由来の草木染と化学染料の水質への影響について学ぶ講座。	8月 (全1回)
19	財団連携事業 学芸員のオシゴト	静岡市歴史博物館職員から学芸員の仕事について学ぶことを通して、職業観形成の一助とする。	静岡市歴史博物館職員による、学芸員の一部の業務の体験学習や歴史に関する考え方の講話を行う。	8月 (全1回)
20	重点事業 子ども科学教室(プラネタリウム)	プラネタリウムを工作し、その構造を理解することを通して、科学への興味関心を喚起する。	工作用紙と電球、スイッチを用いて、物の仕組みを学習しながらプラネタリウムの製作を行う小学生を対象とした工作講座。	8月 (全2回)
21	めざせ!セミのぬけがら博士	身近な昆虫であるセミのぬけがらを採集、観察する自然体験を通して、市民の自然への興味・関心を育む。	センター近隣の公園でセミの抜け殻を採集して種類の見分け方を学び、種類別の数を調べる。	8月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
22	重点事業 共催事業 子ども向けものづくり講座(児童館共催)	美和児童館との連携したものづくり講座を通して、児童の健全な育成に寄与する。 また、地域施設との連携を深める。	美和児童館と連携し、美和地域の子どもの中心とした児童を対象にものづくり講座を実施する。	9月 (全1回)
23	美和焼講座	焼き物の体験を通して、ものづくりの楽しさに触れ、新たな趣味をつくる機会を提供する。	講師が美和地域において制作している焼き物である「美和焼」の技法を用いた作品作りを体験する。	9月 (全2回)
24	団体立ち上げ 蕎麦打ち(仮)	センターの利用率向上策の一環として、蕎麦打ちを通じた仲間づくりを行い、新規団体の立ち上げを図る。	蕎麦打ち体験講座の実施を通して、講座中にサークル活動について案内し、新規サークル結成を促す。	9月 (全2回)
25	団体立ち上げ 折り紙(簡単工作)団体講座	季節の置物や部屋のデコレーションのための小物づくりを通じた仲間づくりを行い、新規団体の立ち上げを図る。	折り紙を使用したものづくり講座を実施するとともに、講座中にサークル活動について案内し結成を促す。	9月 (全3回)
26	情報枠講座	情報化社会の中で、子どもが使うスマートフォンの取り扱いについて見直すことで、メディアリテラシーを高める。	子どもの情報の取り扱いについて学び、家庭内でスマートフォンの取り扱いについてルールを考える。	9月 (全1回)
27	社会包摂 ボッチャ体験講座	障がい者スポーツに対する関心を高め、障がい者が社会参画しやすい環境の醸成に寄与する。	障害者支援団体である静岡県ボッチャ協会協力のもと、ボッチャ(障害者スポーツ)の体験講座を実施する。	9月 (全1回)
28	はじめてのスマートフォン	高齢者の情報リテラシーを向上させることにより、デジタルデバイドの解消に寄与する。	スマートフォン初心者向けのスマートフォンの機能や使い方の学習及び情報通信技術の活用方法を身に付ける。	10月 (全2回)
29	社会包摂 手話講座	ろう者の講師から手話を学び、一部の聴覚障がい者にとっての情報の獲得やコミュニケーション手段への理解を深める。	ろう者の講師から手話の基礎知識や表現方法、あいさつや名字の実技を行い、聴覚障がい者の生活を学ぶ。	10月 (全2回)
30	アカデ美和家庭教育学級	子の保護者が家庭教育に必要な現代的課題等を学び、仲間をつくることで子の健やかな成長を促し、豊かな人間性を育む。	子の保護者を対象に、子育てにおいて必要な様々な事柄を学ぶ機会を提供する。 また、受講者の仲間づくりを促す。	10月～12月 (全5回)
31	Reまなび事業 広報チラシデザイン講座	勤労者を対象に、デザインや色彩学の専門家から視覚情報やデザインの考え方について学び、業種のスキルアップの一助とする。	デザイン学や色彩学を基盤とした平面構成の演習を通して、チラシや広告デザインについて学ぶ。	10月～12月 (全3回)
32	重点事業 せかい!動物かんきょう会議	小学生に対し、わかりやすいプログラムを通してSDGsについて学ぶ機会を提供する。	世界の動物の視点に立ち、政治、経済、環境などの影響を、パネルディスカッションを通して学ぶ。	11月 (全1回)
33	共催事業 読み聞かせ会	人材育成事業「心育む読み聞かせボランティア人材育成」講座の受講生及び修了生に実践機会を提供する。	中央図書館美和分館の共催で実施する「心育む読み聞かせボランティア人材育成」講座の受講生及び修了生による読み聞かせ会。	12月 (全1回)
34	地元の食材を使った料理講座	地元の特産品について学び、実際に調理する事を通して、市民が郷土理解を深める機会とする。	地元の特産品について解説し、理解を深めるとともに、これを用いた料理講座を実施する。	12月 (全1回)
35	みのり大学公開講座	地域の高齢者に社会教育活動を周知、普及を図るとともにみのり大学への参加を促進する。	みのり大学美和学級の講座のうち3回を、次年度のみのり大学の対象となる市民に向けて公開する。	12月～2月 (全2回)
36	重点事業 共催事業 美和地区合同美術展	地域の教育機関と連携して、作品展示を通して地域の住民と子どもとの関わりを深める機会を提供する。	美和地区の幼保小中学校の園児・児童・生徒の美術・図工作品を展示し、地域住民に向けて発表する。	1月 (全1回)
37	社会包摂 美和社協とのレクリエーション事業	美和地域に在住する独居の高齢者や障がい者に対し、レクリエーション等を通じて地域との繋がりを深め、学ぶ場を提供する。	美和地域に在住する独居の高齢者や障がい者がレクリエーションを通じて地域との繋がりを深める。	1月 (全1回)
38	美和歴史巡り	美和地域の歴史や文化について、現地へ赴く事を通して学び、郷土理解を深めることを目的とする。	美和地域の史跡等を歩いて巡り、各地において実物を見ながら解説を受けるウォーキング講座。	2月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
39	共催事業 終活講座(あいネット)	「終活」を通して高齢期に発生する様々な事柄に関する知識を身に付け、人生設計に対する関心を高める。	高齢期に発生する、医療・介護問題、遺産相続等の諸問題について、適切な知識を身に付ける講座。	2月 (全1回)
40	財団連携事業 共催事業 こどもの笑顔写真コンテスト受賞作品 巡回展	こどもの笑顔をテーマとした作品を巡回展示することで、笑顔溢れる日常の大切さを再確認するきっかけとする。	こどもの笑顔写真コンテストで入賞した作品を、各生涯学習センターにて巡回展示する。	2月 (全1回)
41	広報事業	地域住民に向けて施設や学習団体の情報を提供することで、地域の生涯学習活動の活性化を図る。	生涯学習センターの施設や活動団体の紹介を行う広報誌を発行し、地域団体等を通して配布する。	通年
42	共催事業団体との連携事業	地域・行政施設等との連携を深めるため、外部団体からの要望に応じて共催事業を実施する。	現代的課題に沿った連携事業を実施する。詳細については外部団体との調整により決定する。	随時

(南部勤労者福祉センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	パソコン講座	勤労者等のパソコン技術の向上及び余暇利用の充実を図る。	初心者から中上級者までを対象として、オフィスソフトの機能等を学ぶパソコン講座。	通年 (全193回)
2	重点事業 フィットネス講座	勤労者等の健康増進、体力向上及び余暇利用の充実を図る。	初心者から中級者までを対象とする、ヨガ、エアロビクス等のエクササイズ講座。	通年 (全298回)
3	重点事業 トレーニング指導	勤労者等の健康増進、体力向上及び余暇利用の充実を図る。	トレーニング機器やダンベルの使用方法など、効果的なトレーニング方法について指導する。	通年 (全152回)
4	重点事業 パンチキックエクササイズ	勤労者等の健康増進、体力向上及び余暇利用の充実を図る。	主に初心者を対象として、パンチやキックなどを組み合わせた効果的なエクササイズの指導を行う。	通年 (全50回)
5	共催事業 CD音楽サロン	市民との連携事業により、勤労者等の文化教養の向上及び余暇利用の充実を図る。	各回ごとテーマに沿って選盤したCDによる音楽鑑賞会。	通年 (全6回)
6	来・て・こトークシリーズvol.7	勤労者等の文化教養の向上に資することで、余暇利用の充実を図るとともに、若年層や新規利用者獲得の一助とする。	ポップカルチャー、サブカルチャー、生活文化などを題材とするトークイベント。	1月 (全1回)
7	来・て・こトークシリーズvol.8	勤労者等の文化教養の向上に資することで、余暇利用の充実を図るとともに、若年層や新規利用者獲得の一助とする。	ポップカルチャー、サブカルチャー、生活文化などを題材とするトークイベント。	2月 (全1回)
8	現代短歌講座	勤労者等の文化教養の向上に資することで、余暇利用の充実を図るとともに、若年層や新規利用者獲得の一助とする。	現代短歌の味わい方、作り方を学ぶ講座。	7月 (全4回)
9	広報事業	施設や事業の紹介を行い、施設の利用を促進する。	施設や事業について紹介する広報紙等を発行する。	通年

(小鹿老人福祉センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 はじめての墨筆	学習機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間づくりを支援すると共に、利用団体の活性化を図る。	書道の基礎を学び、作品を製作する。	4月～6月 (全5回)
2	はじめてのクラフトバンド	学習機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間づくりを支援する。	クラフトバンドを使った作品作り。	4月～6月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
3	はじめての楽器	学習機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間づくりを支援する。	初心者向けの楽器演奏体験を実施する。	4月～9月 (全12回)
4	季節のガーデニング・寄せ植え	学習機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間づくりを支援する。	季節の寄せ植えやフラワーアレンジメントの製作を行う。	4月～12月 (全4回)
5	重点事業 はじめてのすこやか体操	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	筋トレやストレッチなどの軽運動を行う。	4月～3月 (全24回)
6	重点事業 みんなで歌おう!月1カラオケ	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進すると共に、仲間づくりを支援する。	カラオケ機器を使用した軽体操及び歌唱を行う。	4月～3月 (全12回)
7	重点事業 しぞ〜かでん伝体操講座	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	しぞ〜かでん伝体操の一般開放を行い、来館者への支援を行う。	4月～3月 (全48回)
8	健康生活ミニ講演会と相談会	健康、生活に関する情報提供を行い、高齢者の生活の充実を図る。	健康、生活に関する講演会を実施し、質問や相談を受け付ける。	4月～3月 (全12回)
9	重点事業 輝く!シニアのフレッシュエアロ	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進すると共に、育成した人材の活力を地域の高齢者の健康推進に還元する。	音楽やリズムに合わせて身体を動かす。	5月～8月 (全8回)
10	重点事業 健康体操	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	音楽、マット、イス等を使ったエクササイズを行う。	5月～2月 (全16回)
11	重点事業 やさしいヨガ教室	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	ヨガの基本を学ぶ。	5月～2月 (全16回)
12	スマホ写真講座	デジタルデバイスの利便性と安全性を学び、高齢者の生活の充実や生きがいづくりに役立てる。	スマホでの写真の撮り方やアプリなどを利用した加工とデータの送受信について学ぶ。	6月 (全1回)
13	スマホとアプリの基礎講座	現代的課題(情報リテラシー)に対応し、高齢者の生活の充実や生きがいづくりに役立てる。	スマホの基本機能やアプリの使い方を学ぶ。	7月～2月 (全4回)
14	小泉八雲に関する公演	身近な地域で文化に触れる機会を提供し、高齢者に生きる楽しみ、喜びのきっかけを提供する。	焼津にゆかりのある小泉八雲に関する公演会を実施する。	8月 (全1回)
15	ボランティア参加事業	社会活動への参加機会を提供し、高齢者の生きがいや役割をもって暮らすことを支援する。	子ども食堂のボランティアに参加する。	8月～11月 (全3回)
16	共催事業 PC講座	現代的課題(情報リテラシー)に対応し、高齢者の生活の充実や生きがいづくりに役立てる。	ワードの基本、文章入力、イラスト挿入を学び、はがきを作成などを行う。	8月～2月 (全10回)
17	重点事業 シニア向け運動講座①	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	高齢者向けの運動講座を実施する。	9月～10月 (全4回)
18	重点事業 セルフネイル講座	高齢者の人生を楽しみながら自分らしく暮らすための生きがい創出や仲間づくりを支援する。	自宅でできる簡単なセルフネイルについて学ぶ。	9月～3月 (全6回)
19	はじめての声のワークショップ	学習機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間づくりを支援する。	呼吸法や発声法を学び、音読、のどの体操、歌唱等を楽しむ。	10月～12月 (全5回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
20	はじめての健康マージャン	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進すると共に、仲間作りを支援する。	初心者向けの健康マージャン体験を実施する。	10月～12月 (全5回)
21	はじめての語学	学習機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間作りを支援する。	初心者向けの語学講座を行う。	10月～3月 (全12回)
22	高齢者の旅行支援	学習の機会を提供し、高齢者の生きがい創出や仲間作りを支援する。	旅行に関する座学講座を実施する。	11月 (全2回)
23	重点事業 3B体操でいきいき健康!	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	ボール、ベル、ベルター等の用具を使い、音楽に合わせた運動を行う。	11月～2月 (全8回)
24	スマホのできる各種諸手続き	現代的課題(情報格差)に対応し、高齢者の生活の充実や生きがいづくりに役立てる。	年末調整や各種電子申請など、スマホを利用した手続きについて学ぶ。	12月 (全1回)
25	重点事業 シニア向け運動講座②	高齢者の健康意識の向上や自主的な健康づくりを促進する。	高齢者向けの運動講座を実施する。	12月～1月 (全4回)
26	パーソナルカラーと印象メイク	高齢者の人生を楽しみながら自分らしく暮らすための生きがい創出や仲間作りを支援する。	パーソナルカラー診断と自分にあったメイクについて学ぶ。	1～3月 (全2回)
27	共催事業 健康生活介護相談	福祉医療の専門家による相談窓口を設けて情報提供を行い、高齢者の生活の充実を図る。	月2回、健康、生活、介護等に関する相談を受け付ける。	通年 (全12回)
28	広報事業	小鹿老人福祉センターの情報を提供し、施設の利用を促進する。	広報紙「小鹿だより」の毎月発行及びホームページへの掲載等を行う。	通年

3 市民の自発的な文化活動促進事業(全36事業)

(事務局)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	文化振興事業費助成事業	市民の文化活動の推進・活性化を図る。	公共性のある文化振興事業を実施する個人または団体に対し、助成金を交付する。	通年
2	静岡市民文芸	市民の文芸活動の場を設け、日々の文芸活動の充実を図る一助とする。	市民の文芸振興を図るための、市民投稿による文芸コンクールと文芸誌の発行。	通年

(静岡科学館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	サイエンスフェスティバルinる・く・る実行委員会・高校生運営委員会	教員等と連携した科学祭運営を通して、市民文化活動の促進に寄与する。また次世代を担う高校生の科学コミュニケーション能力の向上を図る。	実行委員会、高校生運営委員会を開き、サイエンスフェスティバルの安全で効果的な運営や中高生出展者の交流について協議する。	4/12～9/27 (全8回)
2	科学コミュニケーター育成講座関連事業 卒業生企画及び事後研修	科学コミュニケーター育成講座を終えた受講生OBがブラッシュアップする研修や活動する機会を設ける。	科学コミュニケーター育成講座を終えた受講生OBが企画した教室やワークショップを館内で行うほか、受講後の勉強会等を行う。	5月～3月 (全7回)
3	科学コミュニケーター育成講座関連事業 夏のサイエンス屋台村	科学コミュニケーター育成講座を終えた受講生OBが主体となって企画し、活動する機会を設け、学んだことを市民に還元する。	科学コミュニケーター育成講座を終えた受講生OBによる実験や工作、観察など体験ワークショップをブース形式で市民に提供する。	8/17 (全1回)
4	る・く・るナビゲーター関連事業 おもしろ科学フェスティバル	科学館ボランティア有志が自ら事業の企画・運営を体験する機会を設け、ノウハウの体得による活動分野・機会の拡充を促す。	科学館ボランティアが主体的に企画・運営にあたる科学イベント。来場者に対して多様な科学実験や工作の体験を提供する。	3/22 (全1回)
5	る・く・るナビゲーター支援事業	当館事業・運営への市民参加を促すための手立てとしてボランティアを募り、科学普及の場で多彩な活動を展開できるよう支援する。	①展示物支援 ②「わくわく科学工作」支援 ③科学イベント支援 ④参加希望者への説明会 ⑤登録者への研修会等のボランティア活動支援を行う。	随時

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	学生ボランティアの育成	美術館の教育普及活動に興味のある大学および専門学校等に在学する者などに対し、美術館での活動の機会を提供する。	しずびオープンアトリエの参加者に対し、制作補助が可能な学生ボランティアを育成すべく、アトリエ事業開催前に、制作指導マニュアルを作成、研修を実施する。オープンアトリエ事業をボランティアを活用して運営する。	8月～3月 (全2回)

(葵生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	こどもの笑顔写真コンテスト	こどもの笑顔の写真コンテストを実施することで、子どもとの日常を振り返り、家族のつながりを考えるきっかけとする。	こどもを被写体とした笑顔の写真およびコメント募集を行う。審査会を行い賞を選定する。	6月～7月 (全1回)
2	共催事業 アイセルわいわい祭り(まつり)	幅広い世代が参加できる催しを通して、地域における市民の交流機会を促進する。	幅広い世代を対象に各種体験・相談コーナー等を実施する。また、回遊性を高めるためにスタンプラリーを実施する。	2月 (全1回)
3	共催事業 アイセルわいわいまつり(学習発表会)	葵生涯学習センター利用団体に学習成果発表の機会を提供するとともに利用者同士の交流を促す。	葵生涯学習センター利用団体による作品展示、ステージ発表、体験コーナーの運営等を実施する。	2月 (全1回)

(西部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	西部センターまつり	地域における市民の交流機会の提供、地域団体、利用団体の活動支援、活動発表の場を提供する。	利用団体等が日頃の団体活動やその成果を紹介する機会を設定し、体験ブース、売店の出店等を実施する。	10月 (全1回)
2	西部センター学習発表会	地域における市民の交流機会の提供、地域団体、利用団体の活動支援、活動発表の場を提供する。	利用団体等が日頃の団体活動やその成果を紹介する機会を設定し、舞台発表会、作品展示等を行う。	10月 (全1回)

(東部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 東部ふれあいまつり	地域住民の交流の機会を設けるとともに、施設利用団体による発表を通じて、地域の中核施設とする。	施設利用団体や自治会、市民による展示やステージ発表、ワークショップなどを実施する。	11月 (全1回)
2	学習成果発表事業	生涯学習施設利用団体による学習活動の成果を発表する機会を提供し、団体の支援を行う。	施設利用団体を中心として、学習成果の発表や作品の展示、ステージ発表などを地域に公開できる会場で行う。	11月 (全1回)

(北部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 ほくぶ文化祭・健康まつり	施設利用者に学習成果の発表機会を提供し、学習意欲の向上を促す。地域の中核施設として、市民の交流の場を提供する。	利用団体による展示やステージ発表、一日体験教室等を実施する。共催する北部保健福祉センターでは、健康相談等を行う。	12月 (全1回)
2	学習発表会事業	地域住民や利用団体にステージや展示スペース等で学習の成果を発表する場を提供し、学習意欲の向上を促す。	活動を紹介するパネルや絵画、能面等作品展示、合唱や楽器演奏等のステージ発表を行う。	12月 (全1回)

(藁科生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 文化祭	藁科生涯学習センター利用団体の生涯学習活動の発信と成果発表を行い、地域の文化振興に寄与する。	藁科生涯学習センター利用団体の日頃の成果を披露するステージ発表、展示、体験会等を実施する。	10月 (全1回)
2	学習発表会事業	地域住民や藁科生涯学習センター利用団体に日頃の学習の成果を発表する場を提供する。	藁科生涯学習センター利用団体の活動を紹介するパネルや作品展示、ステージ発表を行う。	10月 (全1回)

(西奈生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 にしな文化祭	市民が生涯学習に触れる機会を提供し、地域の中核施設として地域における市民の交流の場を設ける。	西奈生涯学習センター利用団体の活動を紹介するパネルや作品展示、ステージ発表を行う。	11月 (全1回)
2	学習発表会事業	センター利用団体等が学習活動の成果を発表する場を提供し、地域の中核施設として地域における市民の交流の場を設ける。	市民が生涯学習に触れる機会を提供し、地域の中核施設として地域における市民の交流を行う。	11月 (全1回)

(南部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	なんぶフェスタ	地域における市民の交流機会、地域団体、当施設を利用する団体の活動支援、活動発表の場を提供する。	地域における市民の交流機会、地域団体、利用団体の活動支援、活動発表の場として祭りを実施する。	10月 (全1回)
2	南部生涯学習センター成果発表会	地域団体や当施設を利用する団体の活動支援、日ごろの学習成果を発表の場を提供する。	地域団体や当施設を利用する団体の活動支援、日ごろの学習成果発表としてステージ発表や作品展示を行う。	10月 (全1回)

(長田生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	おさだ生涯学習センターまつり	地域における市民の交流機会、日頃の学習成果を発表する場を提供する。	学習成果の発表と交流機会を提供する。	7月 (全1回)
2	利用団体による成果発表	利用団体に日頃の学習成果を発表する場を提供する。	活動を紹介するパネルや作品展示、ステージ成果発表等を行う。	7月 (全1回)
3	重点事業 おさだの海シリーズおさだ海の絵作品展	海の魅力を再発見するような展示を行い、海の環境について考える。	地域の園児が描く海をテーマにした絵の作品展を行う。	7月～8月 (全1回)

(大里生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 おおざとフェスティバル(まつり事業)	生涯学習センター利用団体と中学生による成果発表、保健福祉センターによる健康まつりとの連動により、相互交流の場を創出する。	生涯学習センター利用団体・大里中学校生徒・複合施設内団体等による舞台発表・作品展示・活動体験・ワークショップ等の実施。	10月 (全1回)
2	共催事業 おおざとフェスティバル(学習発表会事業)	生涯学習センター及び大里複合施設で活動する地域住民に活動成果発表の場と機会を提供する。	生涯学習センター利用団体及び大里複合施設で活動する団体・個人が参加、日ごろの学習成果を来場者に発表。	10月 (全1回)

(駿河生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 来・て・こ祭	健康文化交流館3センター利用者の交流機会、日頃の学習成果発表の場を提供し、地域活性化を図る。	健康文化交流館3センターの利用者等と連携・協働し、一日体験教室、活動発表会、展示、模擬店等を実施する。	12月 (全1回)
2	学習成果発表事業	健康文化交流館3センターで活動する利用団体等に、学習活動の成果を発表する機会を提供する。	健康文化交流館3センターで活動する生涯学習団体等による作品展示やステージ発表等を行う。	12月 (全1回)

(美和生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 アカデ美和まつり	地域において様々な活動をする市民の交流の機会を設け、生涯学習センターを地域の中核施設とする。	利用団体、地域団体と協働して様々な分野の展示・体験ブースを同時に展開し、地域住民の交流機会を創出する。	11月 (全1回)
2	美和ふれあいのつどい	地域において様々な活動をする市民の交流の機会を設け、生涯学習センターを地域の中核施設とする。	利用団体および地域団体に対し学習成果を発表する機会を提供する。観覧者と団体、団体同士の交流機会を提供する。	11月 (全1回)
3	重点事業 アカデ美和こどもの祭典	子どもや親子を主な対象に、市民の交流の場を提供すると共に施設の活性化と地域づくりを図る。	子どもや親子を対象に、「こどもの祭典用工作」で育成する「こども先生」によるものを含めた複数の体験イベントを開催する。	2月 (全1回)

(南部勤労者福祉センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 来・て・こ祭	利用者等の交流機会、日頃の学習成果発表の場の提供し、地域活性化を図る。	利用者等と連携・協働し、一日体験教室、活動発表会、展示、模擬店等を実施する。	12月 (全1回)

(小鹿老人福祉センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 来・て・こ祭	利用者等の交流機会、日頃の学習成果発表の場の提供し、地域活性化を図る。	利用者等と連携・協働し、一日体験教室、活動発表会、展示、模擬店等を実施する。	12月 (全1回)
2	展示事業	高齢者の生涯学習活動を支援する。	小鹿老人福祉センター内を利用者の活動成果発表の場として提供する。	通年

4 支援育成事業(全60事業)

(静岡音楽館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	第29回「静岡の名手たち」オーディション	地域の新しい人材の発掘。	静岡の音楽家の登竜門として、開館以来実施しているコンサート出演のためのオーディション。今年度は、打楽器、声楽、弦楽器、アンサンブルの4部門で実施。	5/3～5/4 (全2回)
2	どこでもAOI	地元の音楽家の活動支援及び教育機関との連携による青少年の文化活動の推進。	静岡市内の小・中学校を会場に、芸術監督や企画会議委員、「静岡の名手たち」オーディション合格者等が生徒たちに向けた演奏を行う。	6月下旬 (全2回)
3	第29回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート	発表の機会の提供による地域の音楽家の支援。	5月に実施するオーディションの合格者によるコンサート。次代を担う静岡ゆかりの音楽家の演奏を地域に届ける。	9/13 (全1回)
4	静岡・室内楽フェスティバル2025 静岡音楽館AOI×東京文化会館 連携事業 ランチャイム・コンサート「静岡の名手たち」「東京音楽コンクール」ジョイント・コンサート	発表の機会の提供による地域の音楽家の支援。	東京文化会館との連携事業として、双方のコンクール、オーディション合格者による演奏会。若手演奏家への発表機会の提供。	10/4 (全1回)
5	「静岡の名手たち」によるコンサート(名手派遣事業)	「静岡の名手たち」合格者を支援・育成しながらクラシック音楽の鑑賞の機会を提供。	「静岡の名手たち」合格者が静岡音楽館AOI以外のコンサートに出演。	10月～1月 (全1回)
6	第51回 静岡リコーダー・アンサンブル・コンテスト	発表の機会の提供、および、市民と一体となった文化事業の推進。	静岡リコーダー教育研究会との共催。金賞受賞者は全日本リコーダー・コンテスト(全国大会)に推薦される。	1/25 (全1回)
7	サークル“この1曲”をとことん語る	地域の文化活動を担う個人、団体に係る情報提供及び交流事業。(共催事業)	クラシック愛好者がともに学び、楽しむサークルを設立し支援する。	通年 (全12回)
8	Facebook「静岡の名手たち」	地域の文化活動を担う個人、団体に係る情報提供及び交流事業。	「静岡の名手たち」合格者の活動状況を情報発信する。	通年

(静岡科学館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	科学コミュニケーター育成講座	最先端の情報を含む科学・技術を適切に伝える人材を育成する。科学を伝えるためのイベントの企画や発表をするスキルを養う。	科学コミュニケーターに必要なスキルの習得を目指す育成講座。プレゼンテーションや科学体験の企画運営など実践的な内容を提供する。	5/17～9/7 (全9回)
2	理数大好き教室	理科の自由研究を進めることで児童・生徒の探究的・問題解決的な能力を育てる。また、論文作成の過程で言語活動の充実をはかる。	身近な自然現象等に疑問や問題意識を持つ児童・生徒を対象に、科学領域における主体的で探究的な学びを年間講座でサポートする。	5/18～3/1 (全11回)
3	職場体験学習	静岡市教育委員会が取りまとめた公立中学生や私立中学生などに、科学館の仕事を体験させ、各学校の「職場体験学習」を支援する。	科学館運営の理念についての講話や展示物支援、事業補助業務など科学館職員の仕事を体験する活動を行う。	6月、10月 (全6回)
4	る・く・る子どもナビゲーター	科学館ボランティアの活動を通じ、子どもたちが科学を伝える担い手となることを支援する。	子どもを対象としたボランティアを募り、科学を伝える担い手としてワークショップの実施など館内で科学を広める活動を行う。	7/21～8/17 (全3回)
5	博物館実習	学芸員資格取得を希望する大学生に対して、博物館系の職業についての理解を図り、必要な知識や技能の習得ための場を提供する。	科学館の運営や事業の企画等について、講話や体験の場を提供する。実習の一環として対話を意識したワークショップを行う。	8/5～8/18 (全10回)
6	静岡県教育委員会連携担い手育成事業	静岡県の理科教育推進事業の一環として、理科に対する興味・関心、意欲などを高め、理科好きの子どもたちの裾野を広げる。	未来の科学技術を担う小学生に対し、体験を伴う講演を通して科学・技術・工学・数学などの最先端の研究の紹介を行い、興味・関心を深める。	9/23 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
7	科学館・博物館若手職員向けグローバル研修交流会	全国の科学館・博物館の若手職員を対象に、当館をはじめとする各館で抱える課題をテーマとし、課題解決への糸口を考える機会とする。	科学コミュニケーションや科学館が提供すべきプログラムについて等テーマに沿った、グループワークを行い、参加者が主体的に考える。	9/25～9/26 (全2回)
8	静岡県高等学校生徒理科研究発表会県大会	高校生の科学研究に対する意識の向上を図るとともに、人材と研究成果の交流の場を設けて理数系の優れた人材育成を支援する。	県内の自然科学系部活動を行っている高校生による研究結果の口頭発表及びパネル発表。上位大会に向けた審査を行う。	11/9 (全1回)
9	学校等研修支援	幼保小中高大などの教員や生徒、関係者、科学教育に携わる団体向けに科学を題材とした研修や社会体験研修を行い、科学教育の振興を図る。	館で開発した実験工作・科学コミュニケーションプログラムや展示等を活用した研修を行うことで、学校等における教育活動を支援する。	随時

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	博物館実習	博物館相当施設として、博物館法施行規則第1条により、学芸員資格取得を目指す大学生に対して、博物館実習を実施する。学芸員の養成と文化施設への理解促進に努める。	博物館実習生を受け入れ、見学、座学、実地・取り扱い研修など5日間のカリキュラムを行う。美術作品の保存、展示公開、普及について文化財保護、文化振興に資する内容となっている。	8月 (全1回)

(静岡市歴史博物館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	ボランティア育成事業	歴史知識の普及の場で活躍する市民を増やすため、人材育成の視点を持って市民ボランティアを養成する。	当館で活動する市民ボランティアを募集し、研修や学習・活動機会の提供により、探求心と普及活動に意欲を持った人材を育成する。	通年
2	観光ガイド団体への支援事業	調査研究の成果を活用し、地域で活動する観光ガイド等のスキルアップを推進する。	ガイド団体の希望に合わせた研修等を実施する。	随時
3	学校教育への支援事業	小・中・高・大学生の歴史に関係した教育カリキュラムに沿った学びを支援し、歴史や地域をテーマとする探求意欲を高める。	学校見学の受け入れ、出張授業やカリキュラム開発、授業支援・相談対応、職場体験・教員研修、教員のための博物館の日や博物館実習等に対応する。	随時

(葵生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	旅のユニバーサルおもてなしサポーター養成講座	誰かの助けがないと旅や飲食、買い物等が難しい方々をサポートし、非日常を一緒に楽しむ旅仲間としてのサポート人材を養成する。	車いす使用者や視覚障がい者、聴覚障がい者等の旅や外出での困りごとを理解し、サポートするノウハウを学ぶ。	7月～8月 (全4回)
2	専門用語を使わないマーケティング入門講座	能力やスキル、キャリアを向上する学びから、地域経済を担う活躍やチャレンジをしていく人材を養成する。	マーケティングの概要や場面ごとの活用方法等に関する講義を通して、ビジネスの現場ですぐに使えるスキルを学ぶ。	9月～11月 (全5回)
3	人材養成講座 重点事業学習支援指導者育成事業	様々な困難を抱える子どもに対し学習支援を行う指導者を養成する。	学習支援活動の基礎に関する講義と、活動の実践手法を考えるワークショップ等を実施する。	10月～2月 (全5回)
4	しっかり伝わるコンセプト設計講座	能力やスキル、キャリアを向上する学びから、地域経済を担う活躍やチャレンジをしていく人材を養成する。	商品やサービスの価値やターゲットを明確にし、競合との差別化やブランディングにつなげるコンセプト設計について学ぶ。	11月～12月 (全3回)

(西部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 静岡オレンジカフェ「いいとこカフェ・ふらっと」	認知症の理解と支援する人材の育成を目的に、認知症カフェを通じ認知症の方とその家族が地域の人たちとつながる場を提供する。	認知症の方、家族、地域住民、地域の介護や医療の専門職など様々な方が集い、皆で認知症に向き合う。	4月～3月 (全12回)
2	人材養成講座 共催事業 地域支えあい隊プロジェクト	認知症をテーマに地域で支え合える活動を推進する人材を養成する。高齢者の居場所づくり等、社会的孤立を防ぐ活動を活発化する。	認知症の現状や予防のための取り組み等について学び、地域での支え合い活動について考える。	5月～3月 (全5回)
3	生涯学習団体との協働企画講座公募事業	事業化を目指し、生涯学習団体からの協働企画提案を募ることで、市民の自発的な学習活動の発表や生涯学習活動の支援を行う。	令和8年度共催事業の実施に向け、生涯学習団体等から協働企画提案を募集し、事業化を検討する。	7月～8月 (全1回)

(東部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 市民生きもの調査員 カヤネズミ調査	絶滅危惧種の生息状況調査に学習活動の成果を生かして協力することで、環境保護の面から市民主体のまちづくりを促進する。	麻機遊水地に生息するカヤネズミについて、営巣状況や植生の調査、生息環境の整備活動を行う。	6月～11月 (全2回)
2	重点事業 共催事業 カヤネズミのくらしを学ぼう	静岡県に生息する絶滅危惧種について学び、身近な自然環境に対する保全意識を高める。	カヤネズミの生態や生息環境である麻機地域の自然を学び、自然を活用したワークショップなどを体験する。	10月～1月 (全3回)
3	重点事業 共催事業 カヤネズミの生息できる豊かな環境を目指す講演会	地域に生息する絶滅危惧種やその生息環境を守る手段について学ぶことで、地域の環境保全活動への関心を高める。	環境学習の専門家を招聘して、絶滅危惧種であるカヤネズミの生態やその生息環境を守る手段について学ぶ。	2月 (全1回)

(北部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	重点事業 英会話講座	簡単な英会話を通して、地域の子どもや親に対して子育て支援ができる人材を育成する。	英語を使った簡単なゲームを行う。日常的に子どもが英語に親しめる家庭環境づくりについて学ぶ。	8月 (全3回)
2	重点事業 きれいなシャボン玉の作りかた講座	シャボン玉遊びを通して、地域の子どもや親に対して子育て支援ができる人材を育成する。	きれいで大きいシャボン玉を作る配合や使いやすい道具を学ぶ。最終回は地域の子どもを招いて一緒にシャボン玉を作り、交流する。	9月～10月 (全3回)
3	重点事業 楽器を作って演奏しよう	楽器づくりを通して地域の子どもや親に対して子育て支援活動ができる人材を育成する。	身近にあるものを使った楽器の作り方を学び、最終回は地域の子どもを招き一緒に演奏する。	11月～12月 (全3回)

(藁科生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	人材養成 わらしな地域探訪サポーター養成講座	センターと協働し、市民主体のまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成する。	藁科の歴史について学び、藁科生涯学習センターとともに情報収集・発信をサポートする人材を養成する。	7月～10月 (全3回)
2	重点事業 人材養成 郷土玩具おかんじゃけ関連事業 サポーター養成	地元に伝わる郷土玩具作製を通して地域の文化を学び、伝統の伝承と自ら行動できる人材養成を図る。	服織地域の郷土玩具「おかんじゃけ」事業の企画運営や講師の補助として受講者の理解を高めることに寄与する。	7月～3月 (全5回)
3	人材養成 わらしなスマホ市民サポーター養成講座	デジタル機器に不慣れな方に寄り添い、困りごとの解決と一緒に取り組むことできるシチズンシップに富んだ人材を養成する。	スマホの基本的操作ができる人材を養成し、市民ボランティア(スマホサポーター)としてボランティア活動を実践する。	10月～12月 (全7回)

(西奈生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 団体との共催講座(フラ)	センター活動団体との共催事業を通して、団体活動の促進を図る。フラダンス体験を通して、体を動かす機会を提供する。	基礎からフラダンスを学び体験する。また、フラダンスで使用する衣装や楽器、ハワイの言語や歴史について学ぶ。	4月～7月 (全2回)
2	共催事業 人材養成 常葉大学人材養成講座	学生が企画した講座の支援を通し、地域における生涯学習活動の推進に貢献できる人材を育成する。	常葉大学短期大学部日本語日本文学科の講義内で、学生が講座を考案し、センターと協働して企画した講座の実施・運営を行う。	4月～12月 (全4回)
3	重点事業 共催事業 にしな歴史人プロジェクト郷倉紹介人材養成講座	市指定文化財「瀬名の郷倉と附属番屋」の管理保全に取り組む「郷倉保存会」の活性化をはかるための支援を行う。	市指定文化財の瀬名郷倉及び附属番屋を紹介する人材を養成し、地域住民に郷倉や地域の歴史について周知する方法を学ぶ。	9月～2月 (全3回)
4	重点事業 共催事業 地域の古文書に関する研究成果発表会	地域住民主体の研究活動を支援し、郷土史の調査及び発信を通じて、地域における歴史文化の振興と保全を図る。	地元の歴史研究団体が地域に残された古文書を調査研究した成果を発表する。	2月 (全1回)

(南部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	重点事業 なんぶ花いっぱいプロジェクト	花と緑を愛し、地域の花壇づくりに貢献できる人材を育成し、まちの活性化につなげる。	花壇づくりボランティア育成のため、園芸や花壇の作り方、育て方の基本を学び、実践する。	4月～3月 (全12回)
2	重点事業 地域の花壇づくり情報交換会	地域の花壇整備に携わるグループ同士で交流や情報交換を図り、各地域で活躍する人材を育成する。	地域の花壇整備に携わるグループ同士で活動発表や市の都市計画に関する情報交換会を実施する。	10月 (全1回)

(長田生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	共催事業 生涯学習団体への新規入会促進講座(着物リメイク)	生涯学習団体の活動支援を行い、新規入会を促す。	生涯学習団体と協働企画を行い、講座を実施する。	5月～6月 (全4回)
2	共催事業 生涯学習団体への新規入会促進講座	生涯学習団体の活動支援を行い、新規入会を促す。	生涯学習団体と協働企画を行い、講座を実施する。	9月～10月 (全4回)
3	共催事業 生涯学習団体への新規入会促進講座	生涯学習団体の活動支援を行い、新規入会を促す。	生涯学習団体と協働企画を行い、講座を実施する。	11月 (全2回)
4	共催事業 ちょこっとボランティアになろう!	地域人材を発掘し、地域で活躍するボランティアの育成及び情報交換の場を提供する。	地域の活動事例の紹介の講義やボランティアの体験、情報交換をする。	11月～12月 (全3回)
5	共催事業 Good at プロジェクト	高齢者にやりがいや居場所を見つける手助けを行う。	長田地域包括支援センターと共催して社会的に孤立する高齢者の認知症予防や、生きがいを見つける手助けを通して地域や活動場所の結びつけを行う。	2月 (全2回)
6	地域人材情報交換会	情報交換や活動方針などを話し合い、地域の人材育成の一助をする。	地域に住む住民、自治会、社会福祉法人など様々な団体が集い地域人材について情報交換を行う。	2月 (全1回)

(大里生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	大里まちづくりガーデニング講座	緑化ボランティア活動の実践体験を通じて、受講者の花と緑を用いたまちづくりへの意識を高め、参画を促す。	花壇の整備、ガーデニングの技法の学習などを通じて緑化ボランティアの養成・交流・花と緑のまちづくりへの啓発を行う。	4月～3月 (全13回)
2	将棋講師養成講座	将棋の対局を通じ世代間交流を図る講座「将棋やろうぜ」にて市民に将棋を指導する支援者を育成する。	「将棋やろうぜ」における指導ボランティアになるための心構えや注意点の講義、及びボランティア実践。	4月～3月 (全3回)
3	重点事業 人材養成講座大里地域探訪プロジェクト『大里かるた』ガイド養成講座	『大里かるた』を用いた実地調査、地域ガイドボランティアの育成を図る活動を通じて、地域理解促進に貢献する市民を育成する。	『大里かるた』を用いたフィールドワーク及びボランティアガイドとしての知識と意識の向上を図る人材育成講座。	11月～2月 (全4回)

(駿河生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	重点事業 運動でつながる～スキルを活かそう～	運動に関するスキルを活かすための方策と契機を提供することで、地域で活動する人材の発掘と育成を図る。	受講者同士でディスカッションをしながら「運動」をテーマに企画書を作成し、シミュレーションと実践を行う。	5月～7月 (全5回)
2	重点事業 スキル講座卒業生の勉強会	人材育成事業卒業生の交流の場を創出し、更なるシチズンシップを育むとともに、育成した人材のネットワーク形成を図る。	今までに駿河生涯学習センターの人材育成事業を卒業した人材を対象に、成果を地域に還元する方策等について話し合う場をつくる。	9月 (全1回)
3	重点事業 人材育成講座受講生による実践講座	運動に関するスキルを活かすための方策と契機を提供することで、地域で活動する人材の発掘と育成を図る。	講座「運動でつながる～スキルを活かそう～」受講生が企画した講座を実践し、研鑽を積むための講座。	2月 (全1回)

(美和生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	美和地域防災人材育成講座	地域住民が地域性に適した防災対策法を身に付けることで、地域住民の安全に貢献する人材を育成する。	地域住民で防災に携わる方を対象とし、地域性に合わせた防災知識を身に付ける講座を実施する。	6月 (全2回)
2	共催事業 読み聞かせボランティア養成講座	図書館と共催し、読み聞かせボランティアの人材育成を行い、地域で活躍する人材を育成する。	絵本の読み聞かせのコツや本の選び方などを座学と体験を通して学び、最終回において実践する。	10月～12月 (全6回)
3	重点事業 こどもの祭典用工作①	子ども向け工作を実施し、工作に対する興味関心を深め、「アカデ美和こどもの祭典」での講師となる人材育成を行う。	工作を体験するとともに他者への指導法を学び、「アカデ美和こどもの祭典」へ出展する。	1月～2月 (全2回)
4	重点事業 こどもの祭典用工作②	子ども向け工作を実施し、工作に対する興味関心を深め、「アカデ美和こどもの祭典」での講師となる人材育成を行う。	工作を体験するとともに他者への指導法を学び、「アカデ美和こどもの祭典」へ出展する。	1月～2月 (全2回)
5	重点事業 こどもの祭典用工作③	子ども向け工作を実施し、科学に対する興味関心を深め、「アカデ美和こどもの祭典」での講師となる人材育成を行う。	科学に関するワークショップの実施と併せて他者への指導法を学び、「アカデ美和こどもの祭典」へ出展する。	1月～2月 (全2回)

5 連携事業(全18事業)

(事務局)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	市民ギャラリーPR事業	市民ギャラリーの存在を市民に広く周知することで、市民の文化活動の環境整備の一助とする。	市民ギャラリーの広報活動や、PRを兼ねた絵画展等を行う。	通年
2	中勘助文学記念館活用事業	中勘助文学記念館の活用法を周知し、モデルとなる事業を誘致することで、施設の活用を促進する。	学校や各種団体等に誘致をし、中勘助文学記念館を活用した事業を実施する。	通年

(静岡音楽館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	生涯学習センター連携事業 はじめてのAOI	生涯学習施設を地域における文化普及の拠点とした連携事業の展開。	静岡音楽館のバックステージツアー。	5/24 (全1回)
2	静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ミュージアム・コンサート	音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間を創造する。	静岡市美術館で開催。	6/29 (全1回)
3	特別支援学校・学級の子どものための見学会	ハンディキャップを持つ子どもたちが静岡音楽館AOIの存在を享受できる機会を設ける。	静岡市および近隣の特別支援学校・学級の子どものために施設を案内、オルガンのデモンストレーションなどを実施。	6月～9月 (全2回)
4	静岡県立美術館連携事業 「静岡の名手たち」ロダン賞コンサート	「静岡の名手たち」合格者を支援・育成しながらクラシック音楽の鑑賞の機会を提供。	「静岡の名手たち」合格者が静岡音楽館AOI以外のコンサートに出演。静岡県立美術館で開催。	9月 (全1回)
5	静岡・室内楽フェスティバル2025	文化活動拠点のネットワーク化を図り、都市空間を活かした事業の実施により街かどの芸術空間を創出。	静岡音楽館AOIほか市街地を中心に多くの室内楽のコンサートを集中的に展開。	秋頃 (全4回)
6	静岡市立小中学校音楽発表会等	学校のカリキュラムとの連携による子どもたちの文化活動の充実。	小・中学校の合唱コンクールや音楽鑑賞教室などの会場として静岡音楽館AOIのホール等を共催により提供。	通年 (全2回)
7	静岡・音楽館×科学館×美術館×歴史博物館 共同事業 チケットでスマイル	地域との連携、文化による中心市街地の活性化。	静岡・音楽館×科学館×美術館×歴史博物館 共同事業。4館のチケットにより加盟店で特典を受けることができる。	通年

(静岡科学館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	る・く・る×ラボ	地元企業・研究機関・学校と連携し、研究や技術を究める姿を紹介すると共に、研究成果や科学技術、地域の大学企業への興味・関心を高める。	企業や大学等研究機関を招聘し、館内でワークショップ等体験を行うほか、参加者が館外の研究室等を訪れて見学や体験を行う。	4/20～2/23 (全6回)
2	サイエンスフェスティバルinる・く・る	科学体験を通し、思考力に富み創造性豊かな青少年の育成を図る。	民間・企業・教育機関等から多様な科学分野に関する体験ブースの出展を受け入れ、自由参加型の科学祭を行う。	8/9～8/11 (全3回)
3	静岡市こども園・保育園 こどもたちの絵画展	市内のこども園・保育園児らの作品を展示し、絵画表現から自然・科学等への興味関心につなげる教育活動を支援する。	静岡市のこども園・保育園の園児及び支援センターの子どもたちが制作した絵画や造形物を展示する。	10/4～10/19 (13日間)
4	静岡県児童生徒木工工作コンクール作品展	木材による優れた工作や設計のアイデア、樹種ごとの木材の特徴、静岡県の林業の紹介を通して、木材を使ったものづくりへの興味関心を高める。	静岡県内から出品された児童・生徒の優れた木工作品を展示する。木を使ったものづくり体験も提供する。	10/25～11/1 (6日間)
5	サイエンスピクニック	地域で活動する自然・科学系の市民、学校、公共施設等が活動発表や情報交換を通じ、取組を楽しみ、深めるための機会とする。	科学普及に関する活動する県内外の団体が出展し、ブース形式でポスターやミニ体験を中心とした活動発表を行い、団体同士の交流を行う。	3/7～3/8 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
6	駅前3館プラス1共同事業	駅前三館及び歴史博物館の特性を活かし専門分野を横断した文化事業を展開し、文化空間としての駅前のにぎわい創出を目指す。	音楽館、美術館、科学館、歴史博物館で行う公演、展示会、ワークショップのテーマと関連付けた科学的体験を財団職員などが提供する。	随時
7	他団体等連携事業	地域の他団体や財団管理施設と、それぞれの特性を活かした連携事業を行うことで、地域とのネットワーク構築と多様な内容の事業展開を行う。	生涯学習センター等財団管理施設や、まあある等の他団体と、それぞれの特性を活かした連携事業を試行し、多様な科学体験を模索する。	随時

(静岡市歴史博物館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	駿府城施設連携事業	駿府城内の各施設と連携して、普及効果の高いイベントを企画、実施する。	当館と駿府城内各施設の強みを活かし、駿府城に関連する歴史普及イベントを開催する。	6月～12月 (全3回)
2	地域連携による歴史観光活性化事業	市民の探究活動の成果を活かした企画により、歴史探求や観光交流の活性化を図る。	市民団体の持つ歴史観光情報の収集及び発信。また、各種団体等と協働しての観光活性化事業の実施。	随時

6 調査研究事業(全8事業)

(静岡音楽館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	音楽に関する調査研究事業	広く市民に対して、学芸員(音楽専門員)の専門性を活かした研究成果を公表し、主に音楽文化に関する知識を普及するとともに新しい知見の誕生を促すことで、市民の文化レベルの向上を図る。	音楽文化を中心とした日常的な調査研究と、それらを活用した普及方法を開拓し、講演会や執筆等のかたちで市民に還元する。	通年

(静岡科学館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	科学に関する調査研究事業	広く市民に対して、研究成果を公表し、科学文化に関する知識を普及するとともに新しい知見の誕生を促す。	各種科学事業の実施に係る調査研究。	通年

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	美術に関する調査研究事業	広く市民に対して、研究成果を公表し、芸術文化に関する知識を普及するとともに新しい知見の誕生を促す。	各種美術鑑賞事業の実施に係る調査研究。	通年

(静岡市歴史博物館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	外部研究者との共同研究	館外の研究団体等とネットワークを築き、共同で調査研究を進めることで多角的な歴史探求を図る。	外部の研究者らと連携して研究を進め、成果を共有するとともに、共通テーマでの討論会等を開催する。	4月～3月 (全4回)
2	資料調査活動	調査研究活動の一環として、徳川家康及び静岡市に関する歴史資料の調査を行う。	市内・市外を問わず、調査研究に資するもの、新たな資料収集および企画展等に関する資料調査を行う。	通年
3	家康公研究室の活用と研究成果の発表	徳川家康および静岡市に関する歴史研究を進展させ、探求意欲を持った市民の育成を図るとともに、その研究成果を発表する。	家康公研究室を調査研究の中核として位置づけ、家康をはじめ静岡市の歴史研究を推進し、講座や紀要等の形で研究成果を発表する。	通年
4	収蔵資料の保存管理と発信	収蔵資料の調査と整理を進め、展示・研究等の活用を図るとともに、情報発信により文化情報資源としての社会的な共有を図る。	収蔵資料を適切に管理するとともに、調査・整理を進め、情報管理システムへの登録により情報発信を進める。また、静岡市の文化財保護活動の支援もおこなう。	通年

(静岡市生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	生涯学習に関する調査研究事業	広く市民に対して、研究成果を公表し、地域文化等生涯学習に関する知識を普及するとともに新しい知見の誕生を促す。	各種生涯学習事業の実施に係る調査研究。	通年

(参考) 文化振興財団が管理運営する施設

1 静岡音楽館

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

Tel054-251-2200

静岡音楽館は、人の集まるまちづくりと地域文化の振興を図るために平成7年に建設された音楽専用ホールで、静岡中央郵便局との合同建物は全国で初めてのものです。パイプオルガンが設置されている618席のシューボックスタイプのホールと最大300人収容可能な講堂、リハーサル室、楽屋等があります。ここでは、全国的にみても質の高い自主事業開催と貸館事業を通して音楽のすばらしさを創造する拠点となるよう努めています。また、コンサートや講座等を通して感性豊かな青少年の育成にも力を入れています。平成21年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞。

(財団の管理受託の開始＝平成7年4月、平成18年4月より指定管理者)

2 静岡科学館

〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号

Tel054-284-6960

静岡科学館は、「市民自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力および感性の向上に資すること」を目的に、平成16年3月に静岡駅南口再開発ビル エスパティオ8～10階に設けられた施設です。約60点の常設展示物はいずれも参加体験型となっており、それらを生かした展示支援と多彩かつ豊富な事業展開で、全国でも有数の地方科学館としての地位を確立しています。科学を核とした小さな市民のための文化の発信基地として、また、体験を通じて科学の魅力に触れ、科学的な能力を育む場として、多くの市民が集う施設となるよう努めています。

(平成16年3月より指定管理者)

3 静岡市美術館

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17番地の1

Tel054-273-1515

静岡市美術館は、JR 静岡駅北口の25階建ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念とし、展覧会、教育普及、調査研究活動を行っています。展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。

駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

(平成22年5月より指定管理者)

4 静岡市歴史博物館

〒420-0853 静岡市葵区追手町4番16号

TEL054-204-1005

静岡市歴史博物館は、駿府城の三の丸 城代屋敷跡に位置し、地上4階建て、延べ床約5000㎡に、基本展示室や企画展示室、講座室、家康公研究室、収蔵庫などを有した博物館です。「歴史文化から静岡の未来をつくる。～静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える。～」の基本理念のもと、「駿府の歴史を語る－歴史探求」「『学び』のコーディネート地域学習」「集客の核となり、地域に誘う－観光交流」の3つの方針により事業を展開しています。

1階は無料の「私たちが暮らす土地の記憶を感じるエリア」として、発掘されたままの遺構を露出展示し、地域の歴史資源の紹介や、講演会などのイベントやワークショップの場として機能しています。2～3階の有料の基本展示室では、「静岡が誇る徳川家康と今川氏の歴史に触れるエリア」と、「まちと人の道のりをたどり、未来へ歩むエリア」に約130点の資料を展示しています。また、企画展や歴史にとどまらない観光交流事業により誘客と市内回遊を高め、静岡市の魅力発信と交流人口の増加によるまちのにぎわい創出に取り組んでいます。

(令和4年7月より指定管理者)

5 静岡市生涯学習センター(11館)

葵生涯学習センター

〒420-0865 静岡市葵区東草深町3番18号

TEL054-246-6191

葵生涯学習センターは、葵区の中心市街地に位置し、行政機関や商業施設などが集積する地域と、周辺住宅地とが交わる場所に立地しています。施設が大きく機能も充実しており、交通の便も良いため、地元住民のほか市街地に集う勤労者や学生など、市内全域から多様な目的を持った市民に利用されています。

この現状を踏まえ、行政や関係各機関との連携のもと、教育や子育て、健康、環境など市民全般に関わる課題を取り上げた事業を実施しています。施設を活動拠点としている団体の数も多いため、団体像を的確に把握した上で目的が合致すれば連携し、団体の専門性をまちづくりに活かすことを目指した事業も積極的に推進しています。同時に、周辺の史跡や里山の自然、地域の人材などを活用し、地域性を重視した事業にも取り組んでいます。地域社会で活躍する意欲的な人材を養成する事業を通して、市民主体のまちづくりを支援しています。

西部生涯学習センター

〒420-0068 静岡市葵区田町三丁目46番地の5

TEL054-255-3960

西部生涯学習センターは、葵区の中心市街地西側に位置し、田町・新富町を核とした地場産業を中心とする職人町をサービスエリアに持ち、地域のまとまりや協力性があるのが特徴です。地場産業や伝統工芸、歴史を紹介・継承する事業を展開することで、地域の魅力の再確認とその発信に努め、まちづくりの推進に努めています。

東部生涯学習センター

〒420-0803 静岡市葵区千代田七丁目8番15号

TEL054-263-0338

東部生涯学習センターは、葵区の中心市街地東側の住宅地にあり、周辺には遊水地や田園風景も見られます。地域住民の学習意欲が強く、サークル活動が活発で市内の文教地区とも呼ばれています。それらの特徴を活かした各種事業を展開し、文化の発信・継承と魅力あるまちづくりの推進に積極的に取り組んでいます。

北部生涯学習センター

〒420-0871 静岡市葵区昭府二丁目14番1号

TEL054-271-5111

北部生涯学習センターは、葵区の中心市街地北側に位置し、井川・梅ヶ島など北奥に広いエリアをもちます。安倍奥の歴史には山岳信仰にまつわる伝承のほか、地域特有の風習や祭事などの歴史ある文化が今も数多く残っています。また、南アルプスなど豊かな自然環境にも恵まれた地域です。これらの特性を踏まえ、地域間の活発な交流と魅力発信を軸とした事業に積極的に取り組んでいます。

藁科生涯学習センター

〒421-1217 静岡市葵区羽鳥本町5番9号

TEL054-278-4141

藁科生涯学習センターは、居住人口が増加する服織地域周辺と、従来からの農山村地域の境目に位置し、清流・藁科川や、まわりの山々が身近に感じられる地域です。また、木枯らしの森をはじめとした名所旧跡等、歴史的、文化的資産も充実しています。これらの地域資源を活用した体験重視の講座を精力的に実施し、地域のすばらしさの再認識と交流を生むまちづくりへとつながるような事業展開を図っています。

西奈生涯学習センター

〒420-0911 静岡市葵区瀬名二丁目32番43号

TEL054-265-2468

西奈生涯学習センターは、清水区と隣接する葵区の東端に位置し、幼稚園から大学までが集積する文教地域にあり、地域の文化団体の活動も活発です。これらの特色を活用し、教育機関や地域の団体と共催事業を積極的に展開しています。また、長尾川や梶原山など豊かな自然に恵まれており、自然体験講座など地元の魅力を発信する事業にも取り組んでいます。

南部生涯学習センター

〒422-8074 静岡市駿河区南八幡町25番21号

TEL054-281-2184

南部生涯学習センターは、駿河区の中心部に位置し、区役所や消防署、大型ショッピングセンターなど新しい市街地が形成された地域にあります。地元住民をはじめ駿河区全域から利用者が集まっています。登呂遺跡をはじめとした著名な施設が豊富にあり、古さと新しさの同居する地域の特性を市民に紹介し、まちづくりにつながる事業展開に努めています。

長田生涯学習センター

〒421-0137 静岡市駿河区寺田131番地の1

TEL054-257-0780

長田生涯学習センターは、駿河区の西側、安倍川右岸の郊外住宅地にあり、地元住民に多く利用されています。ここは地域住民のつながりが強い地域であり、まちづくりも活発です。また、古事記の時代からの歴史的風景が数多く残り、風光明媚な場所でもあります。この特性を活かし、地域を誇りに思い、一層愛着を持つ人が増えるような事業の展開に積極的に取り組んでいます。

大里生涯学習センター

〒422-8051 静岡市駿河区中野新田57番地の5

TEL054-283-1698

大里生涯学習センターは、駿河区の安倍川東側に位置し、近年は著しい宅地化の見られる地域に立地しています。施設は、全国的にも稀な中学校との複合施設です。そのような特色を活かし、次世代を担う子どもたちや地域住民が交流、連携をすることで、新しいまちづくりの動きにつながるような事業の実施に努めています。

駿河生涯学習センター

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目25番45号

TEL054-202-4300

駿河生涯学習センターは、駿河区の東側にあり、近年の急速な都市開発により、住民の流動性が高い地域です。また、勤労者福祉センターと老人福祉センターとの複合施設であり、地域住民のほか、多様な市民が集まるため、事業にも多様性が求められます。静岡大学をはじめとする高等教育機関の充実した地域であることから、これらの機関と連携し、専門的な分野についても学習機会を提供するとともに、学生等、若い世代の社会参加を促し、地域とつながる事業展開に取り組んでいます。

(以上10館、平成21年4月より指定管理者)

北部生涯学習センター美和分館

〒421-2113 静岡市葵区安倍口団地5番1号

TEL054-296-7122

北部生涯学習センター美和分館は、葵区郊外・安倍川右岸美和地区の新たな「知の拠点」となること、また住民に親しまれ地域のランドマークとなることを目指した施設です。図書館・市民サービスコーナーとの複合施設になっており、「アカデ美和」(※アカデミー・アカデミック・アカデミアのそれぞれの意味に美和地区の学びの拠点になることを祈願した造語)の愛称を冠して、美和地区住民のふれあいの場として、またまちづくりのための学習やコミュニティ活動の拠点となる事業を実施しています。

(平成21年9月より指定管理者・当法人内における組織名は「美和生涯学習センター」)

6 静岡市南部勤労者福祉センター

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目25番45号

TEL054-202-4300

勤労者をはじめとした市民を対象に、文化教養の向上、健康増進、余暇利用の充実を図るための施設です。エアロビクス講座やパソコン講習などの開催、トレーニング機器を利用した健康づくりやインターネットに接続したパソコンの個人利用ができます。

(平成21年4月より指定管理者)

7 静岡市小鹿老人福祉センター

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目25番45号

TEL054-202-4300

60歳以上の方を対象に、健康で生きがいを持った明るい生活を送っていただくための、健康の増進・教養の向上・仲間づくりの支援の場です。ちぎり絵や囲碁など各種講座の開催や、利用者が自主的にグループをつくり様々な活動を行っています。

(平成21年4月より指定管理者)